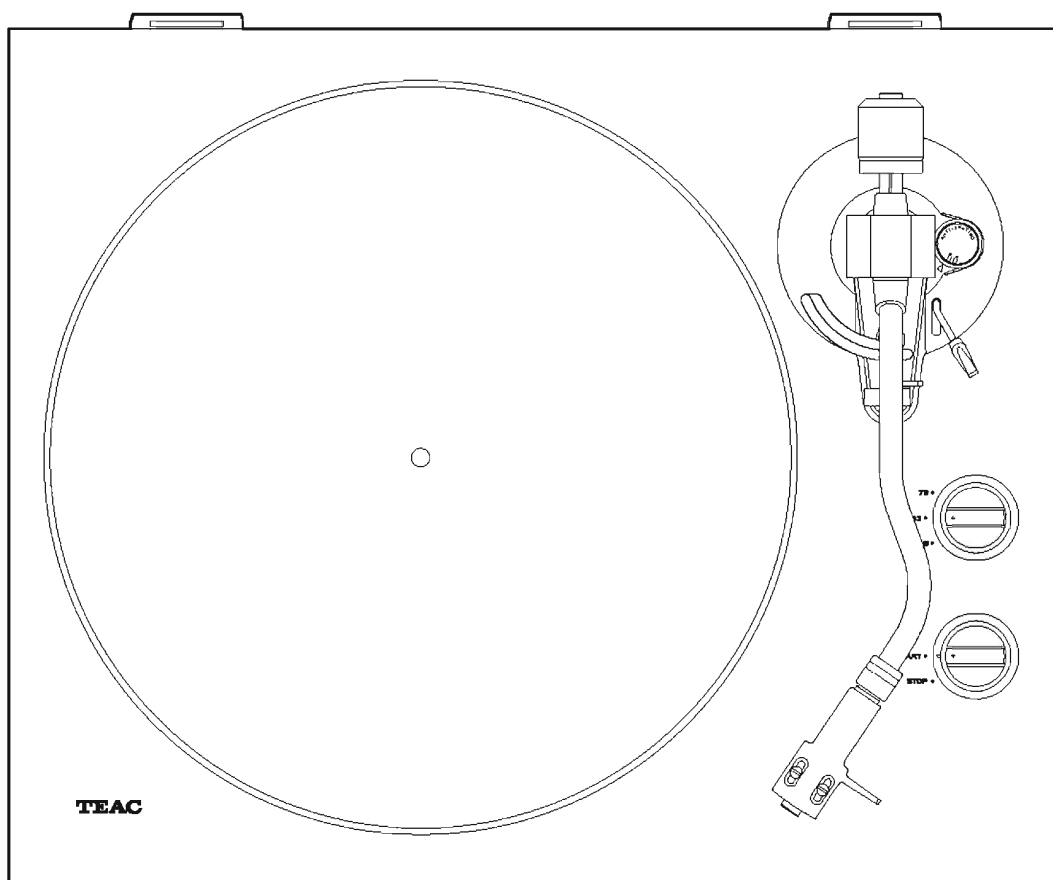


TEAC

TN-400S

アナログターンテーブル ANALOG TURNTABLE



取扱説明書
OWNER'S MANUAL
MODE D'EMPLOI
MANUAL DEL USUARIO
BEDIENUNGSANLEITUNG
MANUALE DI ISTRUZIONI
GEBRUIKSAANWIJZING
BRUKSANVISNING

日本語

ENGLISH

FRANÇAIS

ESPAÑOL

DEUTSCH

ITALIANO

NEDERLANDS

SVENSKA

目次

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
未永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

安全にお使いいただくために..... 2
お使いになる前に..... 3
レコードの取り扱い..... 3
設置..... 4
ダストカバー..... 5
レコード針について..... 5
カートリッジ交換..... 5
各部の名称..... 6
接続..... 6
基本操作..... 7
パソコンで録音するには..... 8
困ったときは..... 8
仕様..... 9
保証とアフターサービス(よくお読みください)..... 67

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。適切な音量を心がけ、窓を開めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



Apple, Mac, OS X and macOS are trademarks of Apple Inc.

Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.


その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

| | |
|---|--|
| 警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 | |
| 電源プラグをコンセントから抜く | 万一、異常が起きたとき <ul style="list-style-type: none"> ● 煙が出たり、変なにおいや音が出るとき ● 機器の内部に異物や水などが入ったときは ● この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。 |
| 禁止 | AC アダプターのコードを傷つけない AC アダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きしない AC アダプターのコードを無理に曲げる、ねじる、引っ張る等の行為や加工、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、AC アダプターのコードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)をご依頼ください。 |
| | 付属の AC アダプターを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。 |
| | 交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流 100 ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。 |
| | この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は 20cm 以上離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から 35cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあけてください。すきまをあげないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。 |
| 指示 | この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。 |
| | この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。 |
| 禁止 | AC アダプターの電源プラグにほこりをためない AC アダプターの電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。定期的(年 1 回くらい)に AC アダプターの電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。 |
| | 機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。 |
| 分解禁止 | この機器のカバーは絶対に外さない カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご依頼ください。 |
| | この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。 |

| | |
|---|--|
| <p>注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p> | |
| <p>電源プラグをコンセントから抜く</p> | <p>移動させる場合は、電源をスタンバイにし、必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜き、通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となる場合があります。</p> |
| <p>指示</p> | <p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する また、接続は指定のケーブルを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となる場合があります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、AC アダプターの電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、付属の AC アダプターを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p> |
| <p>禁止</p> | <p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となる場合があります。</p> <p>AC アダプターの電源プラグを抜くときは、AC アダプターの電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p> |
| <p>禁止</p> | <p>濡れた手で AC アダプターの電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となる場合があります。</p> |

 **愛情点検**

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社 AV お客様相談室（裏表紙に記載）にご連絡ください。

- フェルトマット x 1
- ドーナツ盤用アダプター x 1
- カウンターウエイト x 1
- ヘッドシエル x 1
- オーディオテクニカ製 VM 型 (デュアルマグネット) ステレオカートリッジ (AT100E 同等品) を装着済み
- ターンテーブル (プлатター) x 1
- ダストカバー x 1
- ダストカバー取付用ヒンジ x 2
- GND 端子付き RCA オーディオケーブル x 1
- AC アダプター (GPE053A-V120050-Z) x 1
- 取扱説明書 (保証書付き) (本書) x 1

使用上の注意

- ダストカバーの上には物を置かないでください。特に再生中は、振動でノイズが発生したり、物が落下する恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

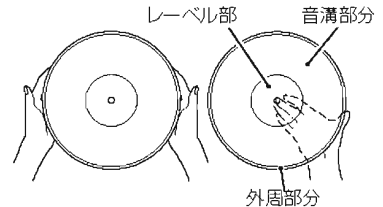
ユーザー登録について

TEAC のウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。
<https://teac.jp/jp/signup>

レコードの取り扱い

レコードの持ち方

レコードを持つとき、レコードジャケットから取り出すときは、音溝部分に手を触れないようにレーベル部と外周部分を支えて持つか、両手でレコードの外周部分をはさむようにしてください。



お手入れ

- 指紋やほこりがつくと、雑音や音飛びの原因となり、レコードや針を傷めます。市販のレコードクリーナーなどでクリーニングしてください。レコードクリーナー以外のベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- レコードクリーナーを使用する場合は、音溝に沿って円を描くように拭き取ってください。



使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には置かないでください。長時間放置すると、そりやカビが生えるなどの原因となります。
- レコードは、何枚も積み重ねたり、重いものをのせたりしないでください。また、斜めにして長時間放置しないでください。そりや破損の原因となります。
- 音溝部は、硬いものに直接触れないようにしてください。傷の原因となります。
- 再生が終わったレコードは、必ずレコードジャケットに入れて保管してください。そのまま放置すると、そりやキズの原因となります。
- ヒビが入ったレコードは使用しないでください。

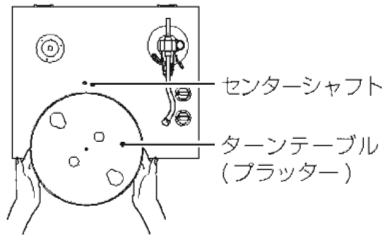
電源はスタンバイの状態で行ってください。
(6 ページ F)

1 水平な場所に置く。

レコードを正しくトレースするため、水平な場所に設置してください。

2 ターンテーブル(プラッター)を取り付ける。

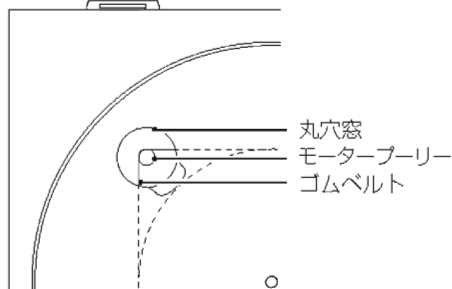
ターンテーブル(プラッター)をセンターシャフトに合わせて取り付けます。



3 ベルトをモータープリーにかける。

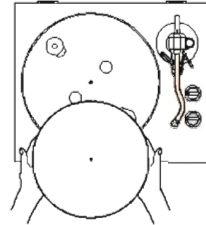
ターンテーブル(プラッター)の内周に巻きつけてあるゴムベルトを丸穴窓より指で引き出し、モータープリーにベルトをかけます。

- ゴムがねじれないように注意してください。
- ターンテーブル(プラッター)を数回転して、ゴムベルトをなじませてください。



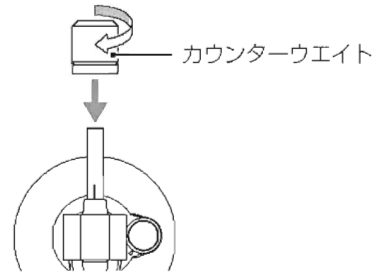
4 フェルトマットをターンテーブル(プラッター)に載せる。

付属のフェルトマットをターンテーブル(プラッター)に載せて使用してください。



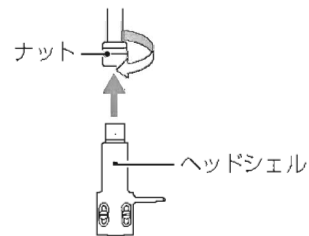
5 カウンターウェイトを取り付ける。

トーンアームの後部にカウンターウェイトを差込み、右に回しながらゆっくり押し込んで装着してください。

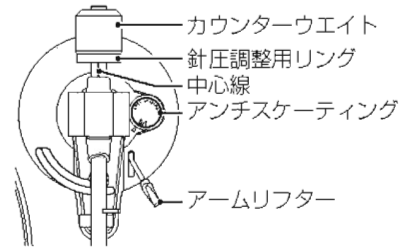


6 ヘッドシェルを取り付ける。

トーンアームの先端にヘッドシェルを差込み、ナットを回して固定してください。

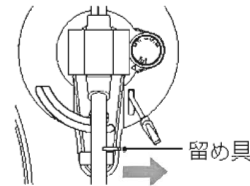


トーンアームのバランス、針圧の調整



1 アンチスケーティングの目盛を0にセットする。

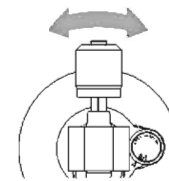
2 トーンアームの留め具を右にずらして外す。



3 アームリフターを上げ、トーンアームを左に少しずらす。

4 アームリフターを下げる。

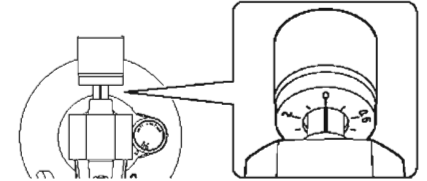
5 カウンターウェイトを回して、トーンアームが水平になるように調節する。



- カートリッジの針を痛めないようにプロテクターを下げた状態で調節してください。
- カートリッジの針が本機に当たらないように注意してください。

6 トーンアームを元の位置に戻し、留め具を使ってトーンアームをロックする。

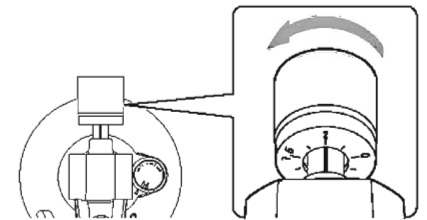
7 針圧調整用リングを回して目盛の0を中心線に合わせる。



- リング部のみを回します。カウンターウェイトが回らないように注意してください。

8 針圧調整用リングの目盛をカートリッジ指定の針圧になるようにカウンターウェイトを回す。

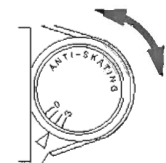
- 付属のカートリッジの針圧は 1.4g です。カウンターウェイトの目盛を 1.4 に合わせるように回転させます。



- 0→0.5→1.0のように右方向に回します。

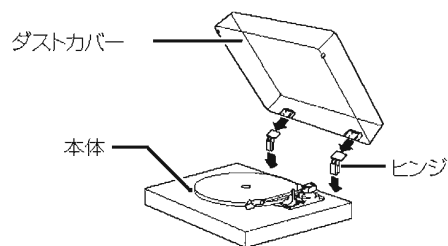
9 アンチスケーティングの目盛を調節する。

目安として目盛を 1.4 にセットし、レコードを再生(7 ページ)して、左右の音量のバランスがとれた位置に調節してください。



ダストカバー

ダストカバーの取り付け



1 本体背面の左右両端にあるヒンジ差し込み部にヒンジを合わせて、奥まではめ込みます。

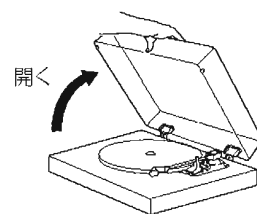
2 ヒンジの上部にダストカバーのヒンジ差し込み部を合わせ、はめ込みます。

- 再生中はダストカバーを開めてください。不用意な接触による針飛びや、外来音圧から針先を守ります。
- レコードの再生中に開閉しないでください。針飛びなどの原因となります。
- ホコリがかぶらないように、通常は開めてください。

ダストカバーの外し方

ダストカバーの両端を持ち、ゆっくり上へ引き、ヒンジごと本体から外します。さらにダストカバーからヒンジを外します。

ダストカバーの開閉



開くとき

ダストカバーの前端を持って、カバーが止まるまで軽く持ち上げて開きます。ダストカバーは開いたままの状態になります。

閉めるとき

ダストカバーをゆっくりと下ろします。

⚠ **ダストカバーを開閉するときは、指などを挟まないようにご注意ください。**

レコード針について

- レコード針が曲がる（破損する）と、音溝を正確にトレースできなくなります。レコード盤を傷めたり、故障の原因にもなりますので、レコード針は丁寧に取扱ってください。
- レコード針のお手入れは、市販のレコード針専用クリーナーを必ずお使いください。レコード針専用クリーナー以外を使った場合、レコード針が破損する恐れがあります。

レコード針の交換

レコード針の針先が摩耗すると、音質が劣化するだけでなくレコード盤を傷める原因となります。再生時間 300 時間を目安に当社指定の交換針にお取替えください。

オーディオテクニカ製交換針（ATN100E）をお求めください。

- 本機に装着されているカートリッジは、オーディオテクニカ製「AT100E」（VM 型）と同等品です。（装着しているカートリッジの交換針本体色は緑色になります。オーディオテクニカのマークは付いていません。）
※ VM 型は MM 型と同じ特性です。
- 交換方法は、交換針の取扱説明書に従って交換してください。

注意

- 突然大きな音が出ることがありますので、機器の電源を切ってから交換してください。
- 手や機器を傷付けないよう、ご注意ください。
- 小さなお子様があやまってレコード針を飲み込まないよう、ご注意ください。
- お客様の不注意や外部要因による針折れなどは、保証の対象外となりますのでご注意ください。

カートリッジ交換

カートリッジの交換は、ヘッドシエルをトーンアームから取り外して作業を行ってください。

- 本機に装着されているカートリッジは、オーディオテクニカ製「AT100E」（VM 型）と同等品です。（装着しているカートリッジの交換針本体色は緑色になります。オーディオテクニカのマークは付いていません。）
※ VM 型は MM 型と同じ特性です。
- カートリッジ針のプロテクターを下げて作業することをお勧めします。

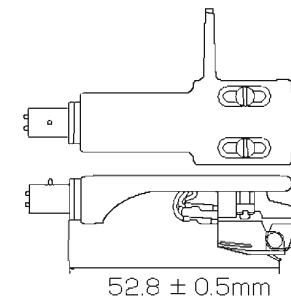


1 シェルリード線の端子をカートリッジから取り外す。

2 ネジを緩めてカートリッジを取り外す。

3 新しいカートリッジをネジを締めて取り付ける。

取り付け位置は、下図を参照してください。



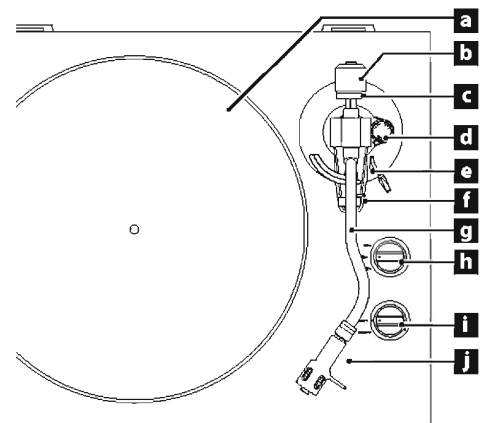
4 シェルリード線の端子をカートリッジへ取り付ける。

- シェルリード線の信号名と色は下図を参照してください。

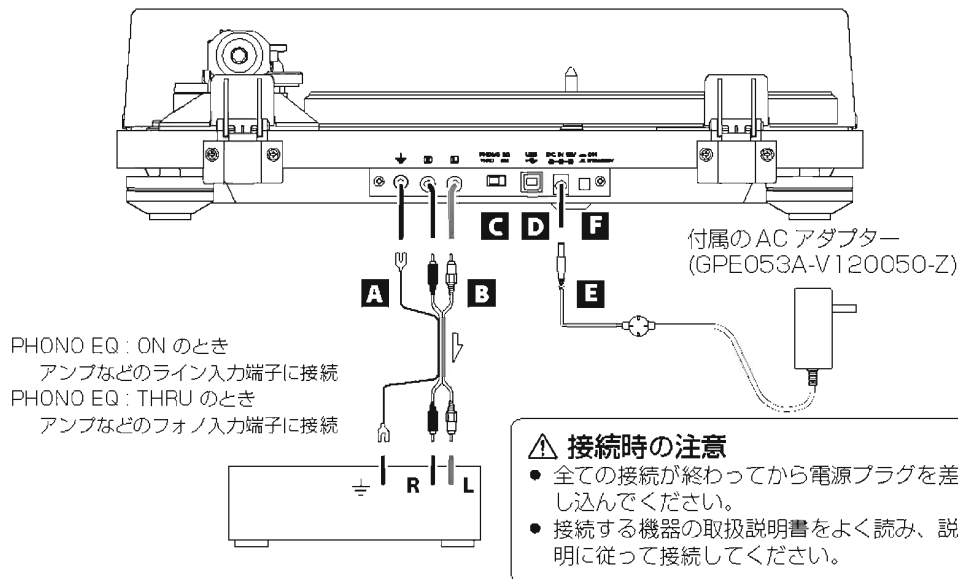
| 信号名 | 色 |
|----------|---|
| 左チャンネル + | 白 |
| 左チャンネル - | 青 |
| 右チャンネル + | 赤 |
| 右チャンネル - | 緑 |

5 トーンアームのバランス、針圧の調整を行う。

4 ページの「トーンアームのバランス、針圧の調整」の手順に従ってください。



- a** ターンテーブル (プラッター)
レコードをターンテーブル (プラッター) の中心にはめてください。
- b** カウンターウエイト
- c** 針圧調整用リング
- d** アンチスケーティングつまみ
- e** アームリフターレバー
レコード針の針先を上下に操作します。指よりも安全かつ確実に操作できますので、レコード盤や針先を傷めないためにもアームリフターのご使用をお勧めします。
- f** トーンアームホルダー
トーンアームの支持台です。レコードを再生する前に、留め具を右にずらすようにしてはずしてください。
- g** トーンアーム
- h** 回転数切換つまみ
再生するレコード盤に指定されている回転数を選んでください。
- i** 回転つまみ (START/STOP)
- j** ヘッドシェル
カートリッジ交換が容易なユニバーサルタイプです。



- A** アース端子 (⊖)
付属の RCA オーディオケーブルのアース線を使用して、本機のアース端子とアンプなどのアース端子を接続します。
● 安全アースではありません。
スピーカーからのノイズ音が気になるときはオーディオケーブルのアース線を本機のアース端子に接続している場合は、アース線を外すことでノイズ音が少なくなることがあります。また、逆の場合もありますので、ノイズ音が少なくなる接続方法をお選びください。
- B** アナログ音声出力端子 (L/R)
アナログの音声が出力されます。PHONO EQ スwitch の設定で出力信号が切り換わります。
付属または市販のオーディオケーブルを使って、各機器と本機の出力端子を接続してください。

- C** 音声出力設定スイッチ (PHONO EQ)
ON
内蔵されたイコライザーアンプで増幅された信号がアナログ音声出力端子 (L/R) から出力されます。
THRU
MC カートリッジまたは、MM カートリッジの信号を直接アナログ音声出力端子 (L/R) から出力します。
フォノイコライザーアンプや、フォノ入力端子付きアンプなど、フォノ入力がある機器に接続してお使いください。
● 出荷時は「ON」に設定されています。
● USB 端子に機器を接続して使用する場合は、「ON」に設定してください。

注意

「ON」の状態、アンプなどの PHONO 入力に接続すると、スピーカーやヘッドホンから大音量が出力され、機器が破損したり聴覚障害の原因となります。

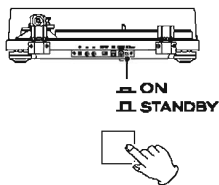
- D** USB 出力端子 (USB B タイプ)
レコードの音がデジタル (最大 48kHz/16 ビット) に変換されて出力されます。USB ケーブルでパソコンの USB 端子と接続することにより、パソコンで録音することができます。(8 ページ)
- E** DC 入力端子
他の全ての接続が終わったら、付属の AC アダプター (GPE053A-V120050-Z) をこのジャックに接続してください。
次に、AC アダプターのプラグを交流 100V の電源コンセントに差し込んでください。
● 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。
● 付属の AC アダプター (GPE053A-V120050-Z) 以外は使わないでください。

⚠ 交流 100 ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。
長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

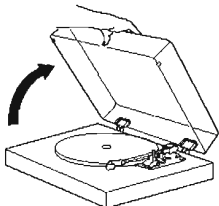
- F** 電源ボタン (STANDBY/ON)
電源スタンバイと電源オンを切り換えます。

レコードを再生する

- 1 リアパネルの電源ボタン (STANDBY/ON) を押して、電源をオンにします。

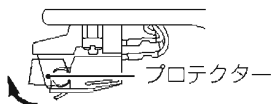


- 2 ゆっくりとダストカバーを開ける。



- ⚠️ ダストカバーを開閉するときは、手などをはさまないようにご注意ください。

- 3 カートリッジのプロテクターを上を持ち上げる。

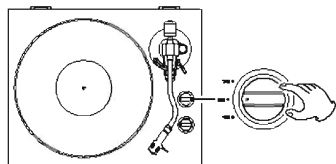


- 4 ターンテーブル (プラッター) にレコードをのせる。

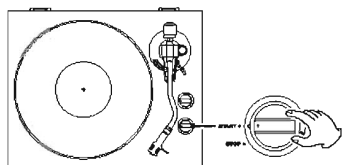
ドーナツ (EP) 盤を再生する場合には、付属の EP アダプターをご使用ください。

- 5 レコード盤に指定されている回転数を選んでください。

回転数は 33 1/3、45、78 回転の 3 種類あります。

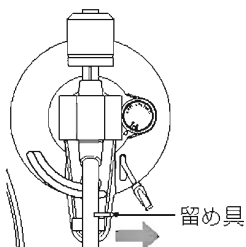


- 6 回転つまみ (START/STOP) を「START」の位置に回してターンテーブル (プラッター) を回転させる。

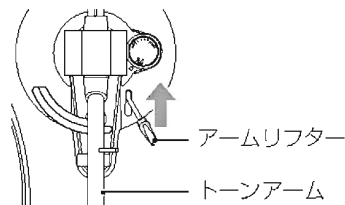


- 回転つまみ (START/STOP) を「START」の位置にすると青色の START ランプが点灯してターンテーブル (プラッター) が回転します。

- 7 トーンアームの留め具を右にずらして外す。

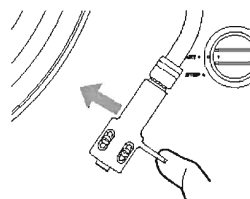


- 8 アームリフターを上げる。



- アームリフターを下げたまま、トーンアームを浮かせた状態でレコードの上に移動してから、トーンアームをゆっくりと下げて再生を始めることもできます。

- 9 再生したいところまでトーンアームを移動する。



- 10 アームリフターをさげる。

トーンアームがゆっくり下がり、針先がレコード盤において再生がはじまります。

- 再生中はダストカバーを閉めてください。不用意な接触による針飛びや、外部からの音圧を遮断するため、ノイズが起きにくくなります。

- ⚠️ ダストカバーの上には物を置かないでください。

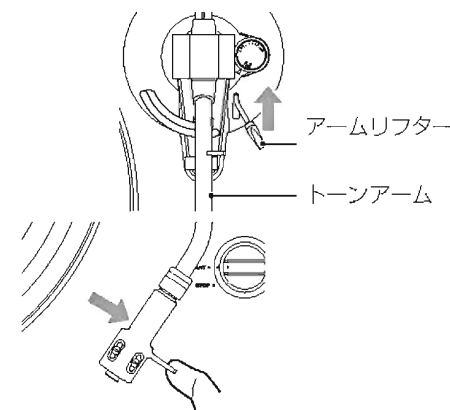
注意

- 再生中はトーンアームやレコード盤に触れないでください。針先の破損やレコード盤の損傷の原因となります。
- 再生中は無理にターンテーブル (プラッター) の回転を止めないでください。本製品は DJ タイプのターンテーブル (ダイレクトドライブ方式) ではありませんので、このような動作をすると故障の原因となります。

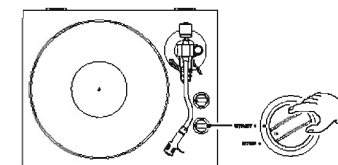
レコードの再生時に音を大きくしすぎると、ハウリングが起こることがあります。その場合は、アンプの音量を下げてください。

再生が終わったら

- 1 アームリフターを上げて針をレコード盤から離し、トーンアームを元の位置に戻してください。



- 2 回転つまみ (START/STOP) を「STOP」の位置に回して、ターンテーブル (プラッター) の回転を止める。



- 青色の START ランプが消えて、ターンテーブル (プラッター) が停止します。

市販のUSBケーブルでパソコンのUSB端子と接続することにより、レコードの音をパソコンにデジタル録音することができます。

サポート OS

USB接続できるパソコンのOSは以下のいずれかです。(2016年10月現在)

Windows の場合

- Windows 7 (32bit版、64bit版)
- Windows 8 (32bit版、64bit版)
- Windows 8.1 (32bit版、64bit版)
- Windows 10 (32bit版、64bit版)

Mac の場合

- OS X Lion (10.7)
- OS X Mountain Lion (10.8)
- OS X Mavericks (10.9)
- OS X Yosemite (10.10)
- OS X El Capitan (10.11)
- macOS Sierra (10.12)

これ以外のOSでの動作保証はいたしません。

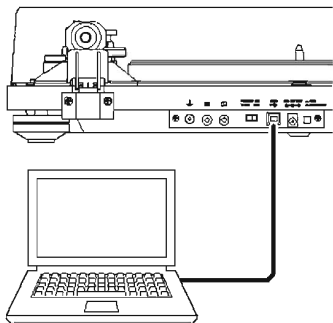
- Windows及びMacの標準ドライバーで動作します。専用ドライバーをインストールする必要はありません。

パソコンと接続する

1 パソコンの電源を入れる。

OSが正常に起動したことを確認してください。

2 USBケーブルでパソコンと本機を接続する。



- USBケーブルは、市販のフェライトコア付きのUSBケーブルを使用してください。

3 本機の電源ボタン (STANDBY/ON) を押して電源をスタンバイからオンにする。

パソコン側では本機のUSBポートを自動検出し、本機を「USB Audio CODEC」として認識します。

- 本機の音声をパソコンで録音するには、音声録音ソフトをパソコンにインストールする必要があります。別途、お好みの音楽録音ソフトウェアをお買い求めになるか、Web上のフリーソフト (Audacity、<http://www.audacityteam.org/>等) をダウンロードしてご使用下さい。Audacity等のフリーソフトウェアは、弊社サポート対象外となりますので予めご了承ください。
- パソコンでの録音中は、下記の操作を行わないでください。パソコンが誤動作する原因となります。これらの操作は必ずパソコンの録音ソフトを終了してから行ってください。
 - ・USBケーブルを抜く
 - ・本機の電源をスタンバイにする

パソコンの設定

OSがWindows7の場合を例に説明します。

1 スタートメニューから「コントロールパネル」を選択する。

2 「サウンド」をクリックする。

3 「録音」タブをクリックして、「USB Audio CODEC」が「既定のデバイス」になっていることを確認する。

4 「マイク USB Audio CODEC」を選択して「プロパティ」をクリックする。

5 「詳細」タブをクリックする。

6 「既定の形式」プルダウンメニューのリストから録音したい音質 (フォーマット) を選択する。

ヒント

本製品から出力される最高音質で録音するには「2チャンネル、16ビット、48000Hz」に設定してください。サンプリング周波数の設定値が下がるほどファイル容量は少なくなり、音質が低下していきます。

7 「OK」をクリックする。

本機の調子がおかしいときは、修理を依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられますので、接続した機器の使用方法も併せてご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご連絡ください。

電源が入らない

- ACアダプターをコンセントに差し込んでください。電源ボタン (STANDBY/ON) を押して電源をオンにしてください。(6、7ページ)

音がしない

- 本機のアナログ音声出力端子をアンプなどの音声入力端子に接続している場合、音声出力設定スイッチ (PHONO EQ) の設定を「ON」にして下さい。(6ページ)

再生できない、雑音が入る

- プロテクターを上を持ち上げて下さい。(7ページ)
- 指紋やほこりがつくと、雑音や音飛びの原因となります。市販のレコードクリーナーなどでクリーニングしてください。(3ページ)
- レコード針をクリーニングしてください。(5ページ)
- レコード針が摩耗していたら、交換してください。(5ページ) 針の寿命は、使用環境にもよりますが約300時間です。
- テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

レコード再生中にノイズが出る

- カートリッジ指定の値よりも高い針圧の場合はノイズが出やすくなります。指定の値になるように針圧の調整をやりなおしてください。(4ページ)

音程がおかしい

- レコード盤に指定されている回転数を選んでください。(7ページ)

音飛びする

- ➔ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
- ➔ レコード盤の汚れをクリーニングしてください。
- ➔ 傷が付いたレコードは使わないでください。
- ➔ トーンアームのバランスをとって、針圧を設定し直してください。(4 ページ)
カートリッジ指定の値よりも低い針圧の場合は音飛び(針飛び)しやすくなります。

ターンテーブル(プلاتター)部

駆動方式..... ベルトドライブ
モータ..... DCモータ
回転数..... 33 1/3rpm, 45rpm, 78rpm
回転数偏差..... ±2%
ワウ・フラッター..... 0.2%
SN比 67dB (A-weighted, 20KHz LPF)以上
ターンテーブル(プلاتター): アルミダイカスト
直径 30cm

トーンアーム部

アーム形式
スタティックバランス S 字型トーンアーム
実効アーム長..... 223mm
針圧可変範囲..... 0~5g
適用カートリッジ質量..... 4.0~8.0g

カートリッジ部

形式..... VM 型 (MM 型と同等)
出力電圧..... 4.5mV (1kHz, 5cm/sec)
針圧..... 1.4 ± 0.4g
カートリッジ質量..... 6.5 ± 0.2g
付属ヘッドシェル質量
10g (ネジ、ナット、ワイヤー含む)

- 針の寿命は、使用環境にもよりますが約 300 時間です。
- 本機に装着されているカートリッジは、オーディオテクニカ製「AT100E」(VM 型)と同等品です。(装着しているカートリッジの交換針本体色は緑色になります。オーディオテクニカのマークは付いていません。)
※ VM 型は MM 型と同じ特性です。
- レコード交換針型番:
オーディオテクニカ社製 ATN100E

出力電圧

PHONO EQ THRU
4.5mV (1kHz, 5cm/sec) ± 3dB
PHONO EQ ON..... 230mV (-13dBV)
出力端子..... RCA ジャック

USB 端子

プラグインパワー対応 USB 端子 (Full Speed)
USB コネクタ タイプ B
USB バスパワー対応..... 5V 500mA
サンプリング周波数
8/11.025/16/22.05/32/44.1/48kHz
量子化ビット数..... 16 ビット

一般

AC アダプター電源
入力..... AC 100V ~ AC 240V 50-60Hz
出力..... DC 12 V 500mA
消費電力
スタンバイ..... 0.5W 以下
オン (START)..... 1.5W 以下
質量..... 約 4.9Kg
動作保証温度..... 5℃~35℃
外形寸法 (幅、高さ、奥行) (突起部を含む)

ダストカバー閉めた場合
420 x 117 x 356 mm
ダストカバー開けた場合
420 x 381 x 402 mm
ダストカバー外した場合
420 x 102 x 356 mm


- 性能データは、20℃で規定しています。

付属品


フェルトマット x 1
ドーナツ盤用アダプター x 1
カウンターウエイト x 1
ヘッドシェル x 1
オーディオテクニカ製 VM 型 (デュアルマグネット) ステレオカートリッジ (AT100E 同等品) を装着済み
ターンテーブル (プلاتター) x 1
ダストカバー x 1
ダストカバー取付用ヒンジ x 2
GND 端子付き RCA オーディオケーブル x 1
AC アダプター (GPE053A-V120050-Z) x 1
取扱説明書 (保証書付き) (本書) x 1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS



CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN



CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT REMOVE COVER (OR BACK). NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.

The lightning flash with arrowhead in an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that could be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.



The exclamation point in an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance.



WARNING: TO PREVENT FIRE OR SHOCK HAZARD, DO NOT EXPOSE THIS APPLIANCE TO RAIN OR MOISTURE.

CAUTION

- DO NOT REMOVE THE EXTERNAL CASES OR CABINETS TO EXPOSE THE ELECTRONICS. NO USER SERVICEABLE PARTS ARE INSIDE.
- IF YOU ARE EXPERIENCING PROBLEMS WITH THIS PRODUCT, CONTACT THE STORE WHERE YOU PURCHASED THE UNIT FOR A SERVICE REFERRAL. DO NOT USE THE PRODUCT UNTIL IT HAS BEEN REPAIRED.
- USE OF CONTROLS OR ADJUSTMENTS OR PERFORMANCE OF PROCEDURES OTHER THAN THOSE SPECIFIED HEREIN MAY RESULT IN HAZARDOUS RADIATION EXPOSURE.

- 1) Read these instructions.
- 2) Keep these instructions.
- 3) Heed all warnings.
- 4) Follow all instructions.
- 5) Do not use this apparatus near water.
- 6) Clean only with dry cloth.
- 7) Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer's instructions.
- 8) Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.

- 9) Do not defeat the safety purpose of the polarized or grounding-type plug. A polarized plug has two blades with one wider than the other. A grounding type plug has two blades and a third grounding prong. The wide blade or the third prong are provided for your safety. If the provided plug does not fit into your outlet, consult an electrician for replacement of the obsolete outlet.
- 10) Protect the power cord from being walked on or pinched particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the apparatus.
- 11) Only use attachments/accessories specified by the manufacturer.
- 12) Use only with the cart, stand, tripod, bracket, or table specified by the manufacturer, or sold with the apparatus. When a cart is used, use caution when moving the cart/apparatus combination to avoid injury from tip-over.
- 13) Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.
- 14) Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the apparatus has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the apparatus, the apparatus has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.



- The apparatus draws nominal non-operating power from the AC outlet with its POWER or STANDBY/ON switch not in the ON position.
- The mains plug is used as the disconnect device, the disconnect device shall remain readily operable.
- Caution should be taken when using earphones or headphones with the product because excessive sound pressure (volume) from earphones or headphones can cause hearing loss.

CAUTION

- Do not expose this apparatus to drips or splashes.
- Do not place any objects filled with liquids, such as vases, on the apparatus.
- Do not install this apparatus in a confined space such as a book case or similar unit.
- The apparatus should be located close enough to the AC outlet so that you can easily reach the power cord plug at any time.

IN USA/CANADA, USE ONLY ON 120 V SUPPLY.

CAUTION

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Model for USA

Declaration of Conformity

Responsible party: TEAC AMERICA, INC.
Address: 1834 Gage Road, Montebello, California, U.S.A.
Telephone number : 1-323-726-0303



This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Information for interference (FCC requirements)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the Instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures.

- Reorient or relocate the equipment and/or the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Model for Canada

Industry Canada's Compliance Statement:
This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Model for Europe




This product complies with the European Directives request, and the other Commission Regulations.


For European Customers

Disposal of electrical and electronic equipment and batteries and/or accumulators

- a) All electrical/electronic equipment and waste batteries/accumulators should be disposed of separately from the municipal waste stream via collection facilities designated by the government or local authorities.
- b) By disposing of electrical/electronic equipment and waste batteries/accumulators correctly, you will help save valuable resources and prevent any potential negative effects on human health and the environment.
- c) Improper disposal of waste electrical/electronic equipment and batteries/accumulators can have serious effects on the environment and human health because of the presence of hazardous substances in the equipment.
- d) The Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE) symbols, which show wheeled bins that have been crossed out, indicate that electrical/electronic equipment and batteries/accumulators must be collected and disposed of separately from household waste.



If a battery or accumulator contains more than the specified values of lead (Pb), mercury (Hg), and/or cadmium (Cd) as defined in the Battery Directive (2006/66/EC), then the chemical symbols for those elements will be indicated beneath the WEEE symbol.
- e) Return and collection systems are available to end users. For more detailed information about the disposal of old electrical/electronic equipment and waste batteries/accumulators, please contact your city office, waste disposal service or the shop where you purchased the equipment.



Pb, Hg, Cd

Apple, Mac, OS X and macOS are trademarks of Apple Inc.

Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Other company names and product names in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

Table of contents

Thank you for choosing TEAC.

Read this manual carefully to get the best performance from this unit.

After reading it, keep it in a safe place for future reference.

| | |
|-------------------------------------|----|
| IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS | 10 |
| Product registration | 11 |
| Before use | 11 |
| Handling records | 11 |
| Preparing the record player | 11 |
| Dust cover | 13 |
| Changing the cartridge | 13 |
| Notes about record styluses | 14 |
| Names and functions of parts | 14 |
| Connections | 14 |
| Basic operation | 15 |
| Recording with a computer | 16 |
| Troubleshooting | 17 |
| Specifications | 17 |

Product registration

Customers in the USA, please visit the following TEAC website to register your TEAC product online.

<http://audio.teac.com/support/registration/>

Before use

Included items

Check to be sure the box includes all the supplied accessories shown below. Please contact the store where you purchased this unit if any of these accessories are missing or have been damaged during transportation.

- Felt mat × 1
- 45 RPM adapter × 1
- Counterweight × 1
- Headshell × 1
 - Audio-Technica VM Type (dual magnet) stereo cartridge (equivalent to AT100E) preinstalled
- Turntable (platter) × 1
- Dust cover × 1
- Dust cover hinges × 2
- RCA audio cable with grounding terminal × 1
- AC adapter (GPE053A-V120050-Z) × 1
- Owner's manual (this document) × 1

Precautions for use

- Do not place anything on the dust cover. Objects on the cover might cause noise due to vibrations or fall off, especially during playback.
- Avoid placing the unit in direct sunlight, close to a source of heat or in other similar conditions. Do not place the unit on top of an amplifier or other equipment that might generate heat that exceeds the operating temperature range of this unit. Doing so could cause discoloration, deformation or malfunction.

Using the TEAC Global Site

You can download updates for this unit from the TEAC Global Site: <http://teac-global.com/>

- Open the TEAC Global Site.
- In the TEAC Downloads section, click the desired language to open the Downloads website page for that language.

NOTE

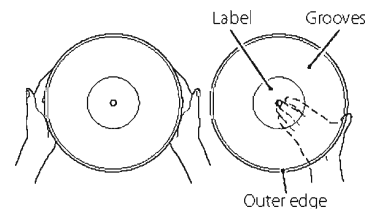
If the desired language does not appear, click Other Languages.

- Click the "Search by Model Name" section to open the Downloads page for that product. (Users in Europe should click the product name in the "Products" section instead.)
- Select and download the updates that are needed.

Handling records

Holding records

When holding a record or removing it from its sleeve, avoid touching the grooves by holding the record by its label and edge with one hand or by holding it by its edge with both hands.



Cleaning

- Fingerprints and dust on a record can cause noise and the sound to skip, as well as damage the record itself and the stylus. Use a commercially-available record cleaner to clean records. Do not use thinner or anything other than a record cleaner. Such chemicals could harm the surface of the record.
- When using a record cleaner, wipe the surface of the record in a circular motion, following the grooves.



Precautions for use

- Do not leave records in places that are exposed to direct sunlight or are very hot or very humid. Leaving a record in such a condition for a long time could result in warping, mold growth or other damage.
- Do not stack multiple records or place heavy objects on top of them. Do not leave records at an angle for long amounts of time either. Doing so could result in warping or other damage.
- Do not allow hard objects to directly touch the audio grooves. Doing so could cause scratches.
- After you finish playing a record, always put it back into its sleeve for storage. Leaving a record unprotected could result in warping or scratching.
- Do not use cracked records.

Preparing the record player

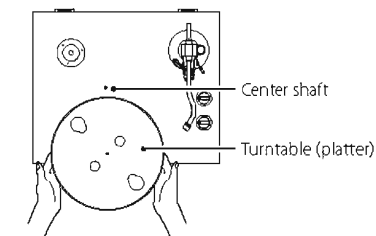
Keep the unit in standby while setting it up (**F** on page 15).

1 Place it on a flat surface.

Place it on a flat surface so that the record can be accurately traced.

2 Install the turntable (platter).

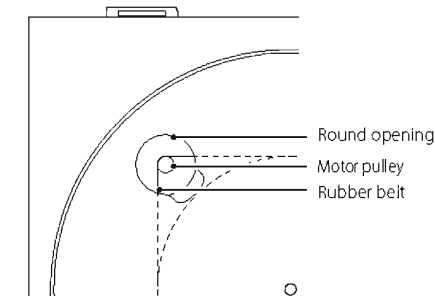
Align the turntable (platter) with the center shaft and install it.



3 Loop the belt around the motor pulley.

Use a finger to pull the rubber belt that is wrapped around the sub-platter through the round opening and loop it around the motor pulley.

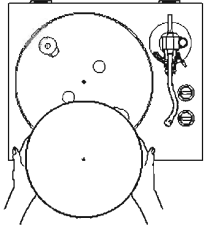
- Be careful not to let the rubber become twisted.
- Rotate the turntable (platter) several times to make sure that it is secure.



Continued on the next page →

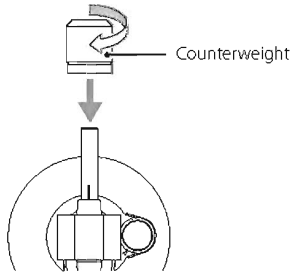
4 Place the felt mat on the turntable (platter).

Place the included felt mat on the turntable (platter) before using it.



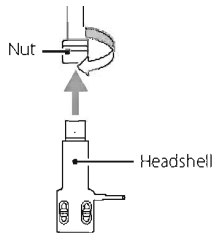
5 Install the counterweight.

Place the counterweight over the end of the tone arm, and press it gently as you turn it right to attach it.

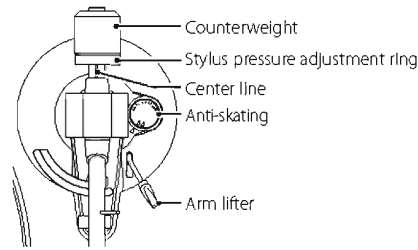


6 Install the headshell.

Insert the headshell on the end of the tone arm and turn the nut to secure it in place.

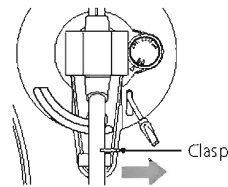


Balancing the tone arm and adjusting the stylus pressure



1 Set the anti-skating dial to zero.

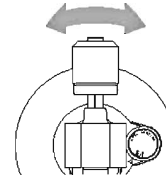
2 Slide the tone arm clasp to the right to remove it.



3 Raise the arm lifter and shift the tone arm to the left slightly.

4 Lower the arm lifter.

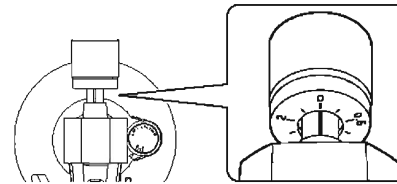
5 Turn the counterweight and adjust so that the tone arm is level.



- Lower the protector to prevent damage to the cartridge stylus before making adjustments.
- Be careful not to let the cartridge stylus touch the unit.

6 Return the tone arm to its original position, and use the clasp to lock it.

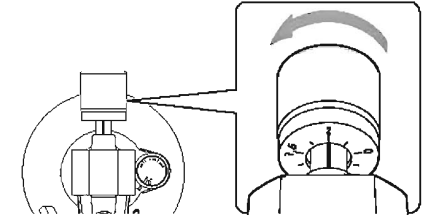
7 Turn the stylus pressure adjustment ring so that the center line aligns with 0 on the scale.



- Only turn the ring. Be careful not to let the counterweight turn.

8 Turn the counterweight so that the stylus pressure adjustment ring scale matches the stylus pressure specified for the cartridge.

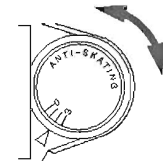
- The stylus pressure of the included cartridge is 1.4 g. So, turn it to 1.4 on the counterweight scale when using the included cartridge.



- Turn it right from 0 in the direction of 0.5 and 1.0.

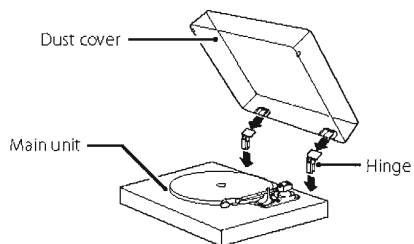
9 Adjust the anti-skating dial.

Start with it set at 1.4 and adjust it during record playback (page 15) to the position where the left and right volumes are balanced.



Dust cover

Attaching the dust cover



1 Insert the hinges completely into the hinge holders at the left and right ends of the back of the main unit.

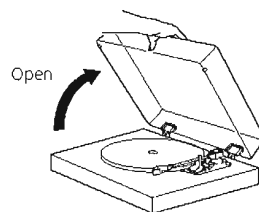
2 Align the tops of the hinges with the dust cover hinge holders and insert them.

- Close the dust cover during playback. Since doing this prevents skipping caused by unintended contact and blocks external sound pressure, it makes noise less likely to occur.
- Do not open or close it when a record is playing. Doing so could, for example, cause the stylus to skip.
- Keep it closed whenever possible to keep dust out.

Removing the dust cover

Hold both edges of the dust cover and lift it slowly to remove it along with the hinges from the unit. Then, remove the hinges from the dust cover.

Opening and closing the dust cover



Opening

Hold the front edge of the dust cover and gently lift it open completely until it stops. The dust cover will stay open in this position.

Closing

Gently lower the dust cover until it is closed.

⚠ Be careful not to pinch your finger, for example, when opening and closing the dust cover.

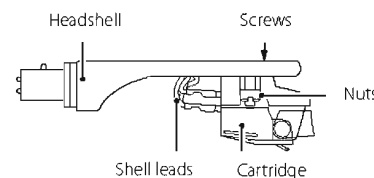
Changing the cartridge

To change the cartridge, first remove the headshell from the tone arm.

- The cartridge installed in this unit is equivalent to the Audio-Technica AT100E VM Type cartridge. (The replacement stylus for the installed cartridge is green. It does not have an Audio-Technica mark.)

NOTE

- VM type cartridges have the same characteristics as MM type cartridges.
- We recommend that you lower the cartridge stylus protector before doing this task.

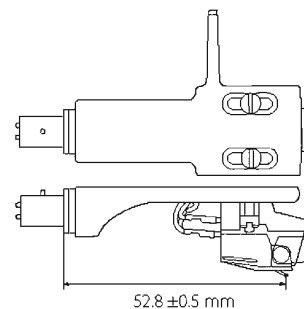


1 Disconnect the shell lead terminals from the cartridge.

2 Loosen the screws and remove the cartridge.

3 Attach the new cartridge and tighten the screws.

See the illustration below for the position of the screws when attached.



4 Connect the shell lead terminals to the cartridge.

- The signals and colors of the shell leads are shown below.

| Signal | Color |
|-----------------|-------|
| Left channel + | White |
| Left channel - | Blue |
| Right channel + | Red |
| Right channel - | Green |

5 Balance the tone arm and adjust the stylus pressure.

Follow the procedures in "Balancing the tone arm and adjusting the stylus pressure" on page 12.

Notes about record styluses

- If the stylus becomes bent (damaged), it will no longer be able to accurately trace the groove. Since a bent stylus could also damage records and cause malfunction, handle styluses carefully.
- Always use a commercially-available stylus cleaner to clean a stylus. Use of anything other than a stylus cleaner could damage the stylus.

Replacing the stylus

If the tip of the stylus becomes worn, not only will it worsen the sound quality, it could also damage records. After about 300 hours of playback time, replace the stylus with one that we specify.

Please use an Audio-Technica ATN100E replacement stylus.

- The cartridge installed in this unit is equivalent to the Audio-Technica AT100E VM Type cartridge. (The replacement stylus for the installed cartridge is green. It does not have an Audio-Technica mark.)

NOTE

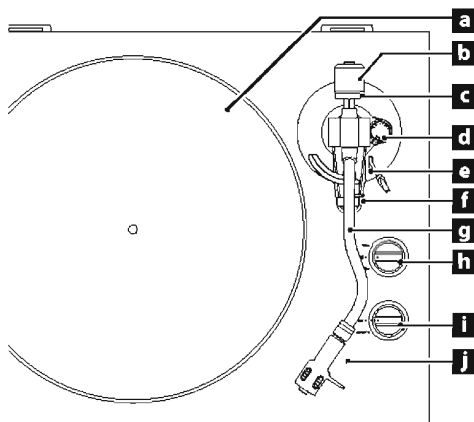
VM type cartridges have the same characteristics as MM type cartridges.

- Follow the replacement instructions in the manual of the replacement stylus.

CAUTION

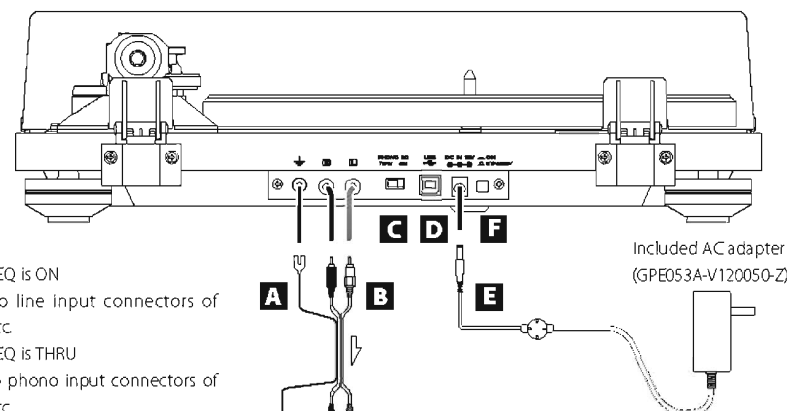
- Since loud noises could suddenly occur, put the unit into standby before changing the stylus.
- Be careful not to hurt your hand or the equipment.
- Be careful not to allow small children to accidentally swallow styluses.
- Be aware that bent styluses, for example, that result from insufficient customer caution or an outside cause are not covered by the warranty.

Names and functions of parts

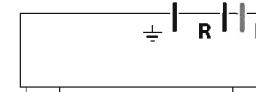


- a Turntable (platter)**
Place records centered on the turntable (platter).
- b Counterweight**
- c Stylus pressure adjustment ring**
- d Anti-skating dial**
- e Arm lifter lever**
Use this to raise and lower the tip of the stylus. We recommend using the arm lifter to avoid damaging records and styluses, because it is safer and more certain than using a finger to do so.
- f Tone arm holder**
This is a rest for the tone arm. Before starting to play a record, shift the clasp to the right to remove it.
- g Tone arm**
- h Rotation speed setting knob**
Select the rotation speed indicated on the record to be played.
- i START/STOP rotation knob**
- j Headshell**
This is a universal type that allows the cartridge to be changed easily.

Connections



- When PHONO EQ is ON
Connect to line input connectors of amplifier, etc.
- When PHONO EQ is THRU
Connect to phono input connectors of amplifier, etc.



- A Grounding terminal (⏏)**
Use the grounding wire of the included RCA audio cable to connect this connector to the grounding terminal of the amplifier, for example.
 - This is NOT an electrical safety ground.
- If noise from speakers is conspicuous**
If connecting the grounding wire of the audio cable to the grounding terminal of this unit does not reduce noise, disconnect the grounding wire and check the sound again. Use the method (connected/disconnected) that has the least noise.
- B Analog audio output connectors (L/R)**
These output analog audio signals. The PHONO EQ switch setting changes the type of output signal.
Use the included audio cable (or commercially-available ones) to connect other equipment to the output connectors of this unit.

Included AC adapter (GPE053A-V120050-Z)

⚠ Precautions when making connections

- Do not plug the unit in until after making all connections.
- Carefully read the manuals of the devices that you are connecting and follow their instructions when making connections.

- C PHONO EQ (audio output setting) switch**
- ON**
Signals that have been amplified by the built-in equalizer amp are output from the analog audio output connectors (L/R).
- THRU**
The MC or MM cartridge signal is output directly through the analog audio output connectors (L/R). Connect to a device with phono inputs, such as a phono equalization preamplifier or an amplifier with phono input connectors.
 - When shipped new from the factory, this is set to ON.
 - Set this to ON if a device is connected to the USB port.

CAUTION

When set to ON, if connected to the PHONO inputs of an amplifier, for example, the output from speakers and headphones will be very loud, which could damage equipment or harm hearing.

D USB port (USB B type)

The sound of the record is converted to digital (resolution up to 48 kHz/16-bit) and output. Recording on a computer is possible by connecting this to a USB port on the computer using a USB cable (page 16).

E DC input connector

After completing all other connections, connect the included AC adapter (GPE053A-V120050-Z) to this connector.

Confirm that the power plug of the AC adapter is plugged into a power outlet.

- Unplug the power cord from the outlet when you are not planning to use the unit for an extended period of time.
- Do not use any AC adapter other than the one included (GPE053A-V120050-Z).

⚠ Be sure to connect the power cord to an AC outlet that supplies the correct voltage. Connection to an outlet that supplies incorrect voltage could cause fire or electric shock.

⚠ Hold the power plug when plugging it into an outlet or unplugging it. Never pull or yank on the power cord.

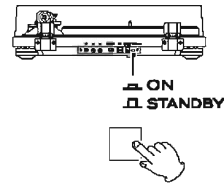
⚠ Unplug the power cord from the outlet when you are not planning to use the unit for an extended period of time.

F STANDBY/ON button

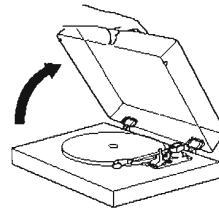
Press the STANDBY/ON button to turn the unit on or put it in standby.

Playing records

1 Press the STANDBY/ON button on the back of the unit to turn it on.

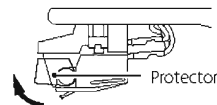


2 Open the dust cover slowly.



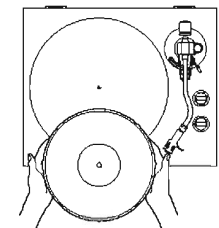
⚠ Be careful not to pinch your hand, for example, when opening and closing the dust cover.

3 Raise the cartridge protector.



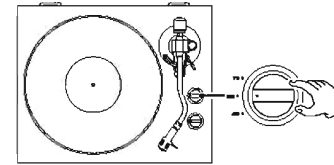
4 Place a record on the turntable (platter).

When playing a 45 RPM large-hole single record, use the included adapter.

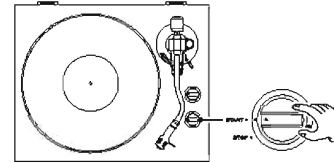


5 Select the rotation speed indicated on the record.

The rotation speed can be set to 33 1/3, 45 or 78 RPM.

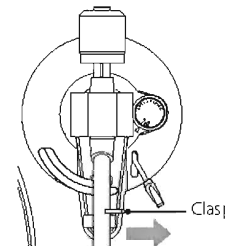


6 Turn the START/STOP rotation knob to START to start the turntable (platter).

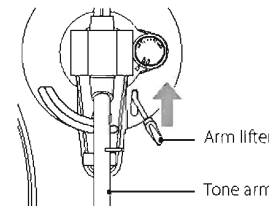


- When the START/STOP rotation knob is set to START, the turntable (platter) will start rotating and the blue START lamp will light.

7 Slide the tone arm clasp to the right to remove it.

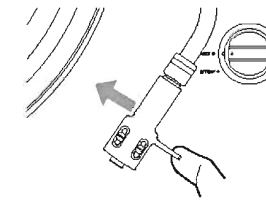


8 Raise the arm lifter.



- You can also move the tone arm to above the record without raising the arm lifter and then slowly lower the tone arm to start playback.

9 Move the tone arm to the track where you want to start playback.



10 Lower the arm lifter.

Lower the tone arm slowly until the stylus touches the record and playback begins.

- Close the dust cover during playback. Doing so reduces the occurrence of noise by preventing skipping caused by unintended contact and blocking external sound pressure.

⚠ Do not place anything on the dust cover.

ATTENTION

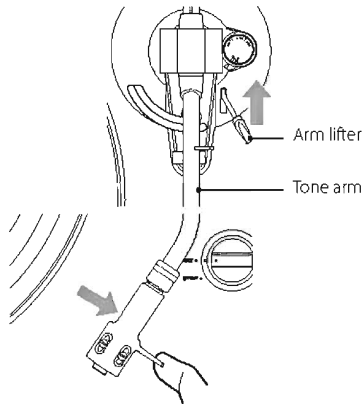
- During playback, do not touch the tone arm or the record. Doing so could damage the stylus tip and cause scratches on the record.
- Do not forcibly stop turntable (platter) rotation during playback. Since this product is not a turntable designed for DJs (direct drive), doing something like this could cause malfunction.

During record playback, feedback could occur if the volume is too loud. If this happens, lower the volume of the amplifier.

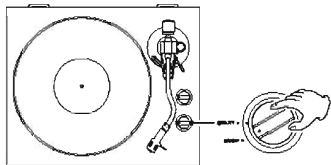
Basic operation (cont'd)

When playback finishes

- 1 **Raise the arm lifter to separate the stylus from the record, and return the tone arm to its original position.**



- 2 **Turn the START/STOP rotation knob to STOP to stop the turntable (platter).**



- The blue START lamp will become unlit and the turntable (platter) will stop.

The sound of a record can be digitally recorded on a computer by using a commercially-available USB cable to connect this unit to a USB port on the computer.

Supported operating systems

Computers running the following operating systems can be connected by USB to this unit (as of October 2016).

Windows

- Windows 7 (32-bit, 64-bit)
- Windows 8 (32-bit, 64-bit)
- Windows 8.1 (32-bit, 64-bit)
- Windows 10 (32-bit, 64-bit)

Mac

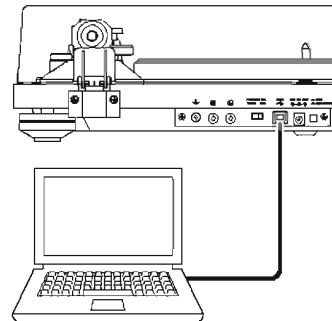
- OS X Lion (10.7)
- OS X Mountain Lion (10.8)
- OS X Mavericks (10.9)
- OS X Yosemite (10.10)
- OS X El Capitan (10.11)
- macOS Sierra (10.12)

Use with operating systems other than these is not guaranteed.

- This unit will run with the standard Windows or Mac driver, so there is no need to install a special driver.

Connecting with a computer

- 1 **Turn the computer on.**
Confirm that the operating system is working correctly.
- 2 **Use the USB cable to connect the computer and this unit.**



- Use a commercially-available USB cable with a ferrite core.

Recording with a computer

- 3 **Press this unit's STANDBY/ON button to turn it on.**

The computer will automatically detect this unit's USB port and identify the unit as "USB Audio CODEC".

- To record audio from this record player using a computer, you must first install software that can be used for audio recording on the computer.

You may purchase the audio recording software that you prefer separately or download free software, such as Audacity (<http://www.audacityteam.org/>), from the Internet.

As free software, Audacity is not supported by TEAC.

- When recording with a computer, do not do any of the following. Doing so could cause the computer to malfunction. Always quit the computer recording software before doing the following.
 - Disconnect the USB cable
 - Put the unit into standby

Computer settings

The following example explains the settings to make using Windows 7.

- 1 **From the Start menu, select Control Panel.**
- 2 **Click "Sound".**
- 3 **Click the "Recording" tab, and confirm that "USB Audio CODEC" is set as the "Default Device".**
- 4 **Select "Microphone USB Audio CODEC", and click the Properties button.**
- 5 **Click the "Advanced" tab.**

- 6 **From the "Default Format" pull-down menu list, select the desired recording quality (format).**

TIP

To record at the highest audio quality that this unit can output, select "2 channel, 16 bit, 48000 Hz".

Lowering the sampling frequency setting value will relatively reduce the size of files but also decrease the audio quality.

- 7 **Click "OK".**

Troubleshooting

If you experience a problem with this unit, please check the following items before requesting service. Something other than this unit could also be the cause of the problem. Please also check that the connected devices are also being used properly. If it still does not operate correctly, contact the retailer where you purchased the unit.

No power.

- ➔ Confirm that the AC adapter is plugged into an outlet. Then, press the STANDBY/ON button to turn the unit on (pages 14 and 15).

There is no sound.

- ➔ When connecting this unit's analog audio output connectors to the audio input connectors of an amplifier or other equipment, set the PHONO EQ (audio output setting) switch to ON (page 14).

Playback is not possible; there is noise.

- ➔ Raise the protector (page 15).
- ➔ Fingerprints and dust on a record can cause noise and the sound to skip. Use a commercially-available record cleaner to clean records (page 11).
- ➔ Clean the stylus (page 14).
- ➔ If the stylus is worn-out, replace it (page 14). The lifespan of a stylus depends on the use conditions, but it is usually about 300 hours.
- ➔ Place the unit as far away as possible from TVs, microwave ovens and other devices that emit electromagnetic waves.

Noise occurs when a record is playing.

- ➔ Noise could occur if the stylus pressure is higher than cartridge's specified value. Readjust the stylus pressure so that it is the specified value (page 12).

The pitch is wrong.

- ➔ Select the rotation speed indicated on the record (page 15).

The sound is skipping.

- ➔ Vibrations will cause skipping. Place this unit in a stable location.
- ➔ Clean the record.
- ➔ Do not use scratched records.
- ➔ Balance the tone arm and readjust the stylus pressure (page 12). The stylus and sound might skip if the stylus pressure is lower than the cartridge's specified value.

Specifications

Turntable (platter)

| | |
|--------------------------|---|
| Drive system | Belt drive |
| Motor | DC motor |
| Rotation speed | 33 1/3 rpm, 45 rpm, 78 rpm |
| Rotation speed variation | ±2% |
| Wow and flutter | 0.2% |
| SN ratio | .67 dB or higher (A-weighted, 20 kHz LPF) |
| Turntable (platter) | Aluminum die-cast 30cm (12") diameter |

Tone arm

| | |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| Arm type | Static-balanced S-shaped tone arm |
| Effective arm length | 223 mm |
| Stylus pressure variation range | 0–5 g |
| Acceptable cartridge weight | 4.0–8.0 g |

Cartridge

| | |
|---------------------------|---|
| Type | VM (equivalent to MM) |
| Output voltage | 4.5 mV (1 kHz, 5 cm/s) |
| Stylus pressure | 1.4±0.4 g |
| Cartridge weight | 6.5±0.2 g |
| Included headshell weight | 10 g (including screws, nuts and wires) |

- The lifespan of a stylus depends on the use conditions but is usually about 300 hours.
- The cartridge installed in this unit is equivalent to the Audio-Technica AT100E VM Type cartridge. (The replacement stylus for the installed cartridge is green. It does not have an Audio-Technica mark.)
Note: VM type cartridges have the same characteristics as MM type cartridges.
- Replacement stylus model: Audio-Technica ATN100E

Output voltage

| | |
|-------------------|------------------------------|
| PHONO EQ THRU | 4.5 mV (1 kHz, 5 cm/s) ±3 dB |
| PHONO EQ ON | 230 mV (–13 dBV) |
| Output connectors | RCA |

USB port

| | |
|--|--|
| USB port that can receive power from computer USB buses (Full Speed) | USB connector type B |
| USB bus power support | 5 V, 500 mA |
| Sampling frequency | 8 kHz, 11.025 kHz, 16 kHz, 22.05 kHz, 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz |
| Quantization bit depth | 16-bit |

General

| | |
|--|---|
| AC adapter power | |
| Input | AC 100 V – AC 240 V, 50–60 Hz |
| Output | DC 12 V, 500 mA |
| Power consumption | |
| Standby | 0.5 W or less |
| On (START) | 1.5 W or less |
| Weight | 4.9 kg (10 7/8 lb) |
| Operating temperature range | 5°C to 35°C |
| Dimensions (W × H × D) (including protrusions) | |
| When the dust cover is closed | 420 × 117 × 356 mm (16 5/8" × 4 5/8" × 14 1/8") |
| When the dust cover is open | 420 × 381 × 402 mm (16 5/8" × 15" × 15 7/8") |
| When the dust cover is removed | 420 × 102 × 356 mm (16 5/8" × 4 1/8" × 14 1/8") |

- Performance data is specified at 20°C.

Included items

| | |
|---|-----|
| Felt mat | × 1 |
| 45 RPM adapter | × 1 |
| Counterweight | × 1 |
| Headshell | × 1 |
| Audio-Technica VM Type (dual magnet) stereo cartridge (equivalent to AT100E) preinstalled | |
| Turntable (platter) | × 1 |
| Dust cover | × 1 |
| Dust cover hinges | × 2 |
| RCA audio cable with grounding terminal | × 1 |
| AC adapter (GPE053A-V120050-Z) | × 1 |
| Owner's manual (this document) | × 1 |

- Specifications and appearance are subject to change without notice.
- Weight and dimensions are approximate.
- Illustrations in this owner's manual might differ slightly from production models.

CAUTION

RISK OF ELECTRIC SHOCK

DO NOT OPEN

ATTENTION : POUR RÉDUIRE LE RISQUE D'ÉLECTROCUTION, NE RETIREZ PAS LE CAPOT (OU L'ARRIÈRE). AUCUNE PIÈCE INTERNE N'EST RÉPARABLE PAR L'UTILISATEUR. CONFIEZ TOUTE RÉPARATION À UN SERVICE APRÈS-VENTE QUALIFIÉ.

Le symbole d'éclair à tête de flèche dans un triangle équilatéral sert à prévenir l'utilisateur de la présence dans l'enceinte du produit d'une « tension dangereuse » non isolée d'une grandeur suffisante pour constituer un risque d'électrocution pour les personnes.



Le point d'exclamation dans un triangle équilatéral sert à prévenir l'utilisateur de la présence d'instructions importantes de fonctionnement et de maintenance (entretien) dans les documents accompagnant l'appareil.



AVERTISSEMENT : POUR PRÉVENIR LES RISQUES D'INCENDIE ET D'ÉLECTROCUTION, N'EXPOSEZ PAS CET APPAREIL À LA PLUIE NI À L'HUMIDITÉ.

ATTENTION

- NE RETIREZ PAS LES CAPOTS EXTERNES OU BOÎTIERS POUR EXPOSER L'ÉLECTRONIQUE. AUCUNE PIÈCE INTERNE N'EST RÉPARABLE PAR L'UTILISATEUR.
- SI VOUS RENCONTREZ DES PROBLÈMES AVEC CE PRODUIT, CONTACTEZ LE MAGASIN OÙ VOUS AVEZ ACHETÉ L'UNITÉ. N'UTILISEZ PAS LE PRODUIT TANT QU'IL N'A PAS ÉTÉ RÉPARÉ.
- L'UTILISATION DE COMMANDES, DE RÉGLAGES OU LE SUIVI DE PROCÉDURES AUTRES QUE CE QUI EST DÉCRIT DANS CE DOCUMENT PEUT PROVOQUER UNE EXPOSITION À UN RAYONNEMENT DANGEREUX.

- 1) Lisez ces instructions.
- 2) Conservez ces instructions.
- 3) Tenez compte de tous les avertissements.
- 4) Suivez toutes les Instructions.
- 5) N'utilisez pas cet appareil avec de l'eau à proximité.
- 6) Ne nettoyez l'appareil qu'avec un chiffon sec.
- 7) Ne bloquez aucune ouverture de ventilation. Installez-le conformément aux instructions du fabricant.
- 8) N'installez pas l'appareil près de sources de chaleur telles que des radiateurs, bouches de chauffage, poêles ou autres appareils (y compris des amplificateurs) dégageant de la chaleur.

- 9) Ne neutralisez pas la fonction de sécurité de la fiche polarisée ou de terre. Une fiche polarisée a deux broches, l'une plus large que l'autre. Une fiche de terre a deux broches identiques et une troisième broche pour la mise à la terre. La broche plus large ou la troisième broche servent à votre sécurité. Si la fiche fournie n'entre pas dans votre prise, consultez un électricien pour le remplacement de la prise obsolète.
- 10) Évitez de marcher sur le cordon d'alimentation et de le pincer, en particulier au niveau des fiches, des prises secteur et du point de sortie de l'appareil.
- 11) N'utilisez que des fixations/accessoires spécifiés par le fabricant.
- 12) Utilisez-le uniquement avec des chariots, socles, trépieds, supports ou tables spécifiés par le fabricant ou vendus avec l'appareil. Si un chariot est utilisé, faites attention de ne pas être blessé par un renversement lors du déplacement de l'ensemble chariot/appareil.
- 13) Débranchez cet appareil en cas d'orage ou de non utilisation prolongée.
- 14) Confiez toute réparation à des techniciens de maintenance qualifiés. Une réparation est nécessaire si l'appareil a été endommagé d'une quelconque façon, par exemple si le cordon ou la fiche d'alimentation est endommagé, si du liquide a été renversé sur l'appareil ou si des objets sont tombés dedans, si l'appareil a été exposé à la pluie ou à l'humidité, s'il ne fonctionne pas normalement, ou s'il est tombé.



- L'appareil tire un courant nominal de veille de la prise secteur quand son interrupteur POWER ou STANDBY/ON n'est pas en position ON.
- La fiche secteur est utilisée comme dispositif de déconnexion et doit donc toujours rester disponible.
- Des précautions doivent être prises en cas d'utilisation d'écouteurs ou d'un casque avec le produit car une pression sonore excessive (volume trop fort) dans les écouteurs ou dans le casque peut causer une perte auditive.

ATTENTION

- N'exposez pas cet appareil aux gouttes ni aux éclaboussures.
- Ne placez pas d'objet rempli de liquide sur l'appareil, comme par exemple un vase.
- N'installez pas cet appareil dans un espace confiné comme une bibliothèque ou un meuble similaire.
- L'appareil doit être placé suffisamment près de la prise de courant pour que vous puissiez à tout moment attraper facilement la fiche du cordon d'alimentation.

AUX USA/CANADA, UTILISEZ UNIQUEMENT UNE TENSION D'ALIMENTATION DE 120 V.

ATTENTION

Les changements ou modifications non expressément approuvés par la partie responsable de la conformité peuvent invalider le droit de l'utilisateur à faire fonctionner l'équipement.

Modèle pour le Canada

Déclaration de conformité d'Industrie Canada :
CET APPAREIL NUMÉRIQUE DE LA CLASSE B EST CONFORME À LA NORME NMB-003 DU CANADA

Modèle pour l'Europe



Ce produit est conforme aux directives européennes et aux autres réglementations de la Commission européenne.

Pour les consommateurs européens

Mise au rebut des équipements électriques et électroniques et des piles et/ou accumulateurs

- a) Tout équipement électrique/électronique et pile/accumulateur hors d'usage doit être traité séparément de la collecte municipale d'ordures ménagères dans des points de collecte désignés par le gouvernement ou les autorités locales.
- b) En vous débarrassant correctement des équipements électriques/électroniques et piles/accumulateurs hors d'usage, vous contribuerez à la sauvegarde de précieuses ressources et à la prévention de potentiels effets négatifs sur la santé humaine et l'environnement.
- c) Le traitement incorrect des équipements électriques/électroniques et piles/accumulateurs hors d'usage peut avoir des effets graves sur l'environnement et la santé humaine en raison de la présence de substances dangereuses dans les équipements.
- d) Le symbole de déchets d'équipements électriques et électroniques (DEEE), qui représente une poubelle à roulettes barrée d'une croix, indique que les équipements électriques/électroniques et piles/accumulateurs doivent être collectés et traités séparément des déchets ménagers.
Si une pile ou un accumulateur contient plus que les valeurs de plomb (Pb), mercure (Hg) et/ou cadmium (Cd) spécifiées dans la directive sur les piles et accumulateurs (2006/66/CE), alors les symboles chimiques de ces éléments seront indiqués sous le symbole DEEE.
- e) Des systèmes de retour et de collecte sont disponibles pour l'utilisateur final. Pour des informations plus détaillées sur la mise au rebut des vieux équipements électriques/électroniques et piles/accumulateurs hors d'usage, veuillez contacter votre main, le service d'ordures ménagères ou le magasin dans lequel vous avez acquis l'équipement.

Apple, Mac, OS X and macOS are trademarks of Apple Inc.

Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Les autres noms de société et de produit cités dans ce document sont des marques commerciales ou déposées de leurs détenteurs respectifs.

Table des matières

Nous vous remercions d'avoir choisi TEAC.

Lisez ce mode d'emploi avec attention pour tirer les meilleures performances de cette unité.

Après l'avoir lu, gardez-le en lieu sûr pour vous y référer ultérieurement.

| | |
|--|----|
| INSTRUCTIONS DE SÉCURITÉ IMPORTANTES | 18 |
| Avant l'utilisation..... | 19 |
| Manipulation des disques..... | 19 |
| Préparation de la platine..... | 19 |
| Couvercle anti-poussière..... | 21 |
| Changement de cellule..... | 21 |
| Notes sur les pointes pour disque..... | 22 |
| Nomenclature et fonctions des parties..... | 22 |
| Branchements..... | 22 |
| Fonctionnement de base..... | 23 |
| Enregistrement avec un ordinateur..... | 24 |
| Guide de dépannage..... | 25 |
| Caractéristiques techniques..... | 25 |

Avant l'utilisation

Éléments fournis

Vérifiez que vous disposez bien de tous les accessoires représentés ci-dessous. Veuillez contacter le magasin dans lequel vous avez acheté cette unité si l'un de ces accessoires manque ou a été endommagé durant le transport.

- Tapis en feutre x 1
- Adaptateur 45 tr/min x 1
- Contrepoids x 1
- Porte-cellule x 1
 - Cellule stéréo Audio-Technica de type VM (double aimant) (équivalente à l'AT100E) préinstallée
- Tourne-disque (plateau) x 1
- Couvercle anti-poussière x 1
- Charnières du couvercle anti-poussière x 2
- Câble audio RCA avec borne de masse x 1
- Adaptateur secteur (GPE053A-V120050-Z) x 1
- Mode d'emploi (ce document) x 1

Précautions d'emploi

- Ne placez rien sur le couvercle anti-poussière. Les objets posés sur le couvercle peuvent provoquer du bruit dû aux vibrations ou tomber, en particulier lors de la lecture.
- Évitez d'exposer l'unité directement au soleil, de la placer près d'une source de chaleur ou dans d'autres conditions similaires. Ne l'installez pas au-dessus d'un amplificateur ou d'un équipement pouvant dégager une chaleur qui dépasse la température de fonctionnement de cette unité. Cela pourrait causer une décoloration, une déformation ou un mauvais fonctionnement.

Utilisation du site mondial TEAC

Vous pouvez télécharger des mises à jour pour cette unité depuis le site mondial TEAC : <http://teac-global.com/>

- Allez sur le site mondial TEAC
- Dans la section TEAC Downloads (téléchargements TEAC), cliquez sur la langue souhaitée afin d'ouvrir la page de téléchargement du site web pour cette langue.

NOTE

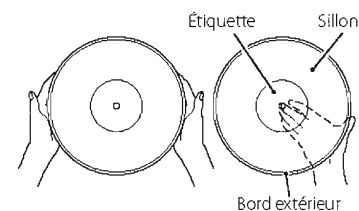
Si la langue désirée n'apparaît pas, cliquez sur Other Languages (autres langues).

- Cliquez sur la section « Search by Model Name » (recherche par nom de modèle) afin d'ouvrir la page Downloads (téléchargements) pour ce produit (les utilisateurs en Europe doivent cliquer sur le nom du produit dans la section « Products » (produits)).
- Sélectionnez et téléchargez les mises à jour nécessaires.

Manipulation des disques

Tenue des disques

Lors de la prise en mains d'un disque ou de sa sortie de la pochette, évitez de toucher le sillon en maintenant le disque d'une main entre son étiquette et son bord, ou en le tenant avec les deux mains par son bord.



Nettoyage

- Les traces de doigts et la poussière sur un disque peuvent provoquer du bruit et des sautes de son, ainsi qu'endommager le disque lui-même et la pointe. Utilisez un nettoyant pour disque du commerce pour nettoyer les disques. N'utilisez pas de diluant ni autre chose qu'un nettoyant pour disque. De tels produits chimiques pourraient abîmer la surface du disque.
- Lors de l'utilisation d'un nettoyant pour disque, balayez la surface du disque de façon circulaire, en suivant le sillon.



Précautions d'emploi

- Ne laissez pas les disques dans des lieux exposés directement à la lumière du soleil ou qui sont très humides ou très chauds. Laisser longtemps un disque dans de telles conditions peut le faire gondoler, entraîner le développement de moisissures ou lui causer d'autres dommages.
- N'empilez pas plusieurs disques et ne placez pas d'objets lourds dessus. Ne laissez pas non plus les disques de façon prolongée en position inclinée. Cela pourrait les faire gondoler ou leur causer d'autres dommages.
- Ne laissez pas des objets durs entrer en contact direct avec le sillon audio. Cela pourrait entraîner des rayures.
- Une fois que vous avez fini de lire un disque, remplacez-le toujours dans sa pochette pour le rangement. Laisser un disque sans protection pourrait le faire gondoler ou le rayer.
- N'employez pas de disques fendus.

Préparation de la platine

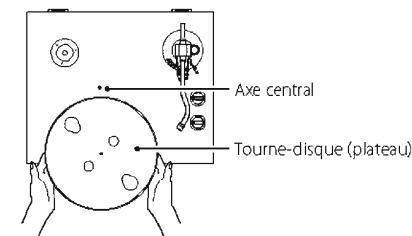
Maintenez l'unité en veille pendant son installation. (F en page 23).

1 Placez-la sur une surface plane.

Placez-la sur une surface plane afin que le sillon du disque puisse être suivi avec précision.

2 Installez le plateau tourne-disque.

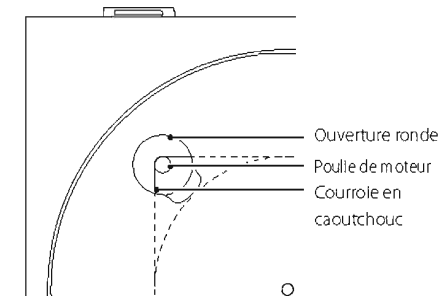
Allignez le plateau avec l'axe central et installez-le.



3 Enroulez la courroie autour de la poulie du moteur.

En passant par l'ouverture ronde, utilisez un doigt pour tirer sur la courroie en caoutchouc enroulée autour du sous-plateau et la faire passer autour de la poulie du moteur.

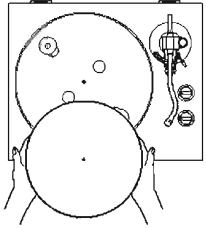
- Faites bien attention à ne pas tordre le caoutchouc.
- Faites tourner plusieurs fois le plateau pour vous assurer que le montage est sûr.



Suite à la prochaine page ➔

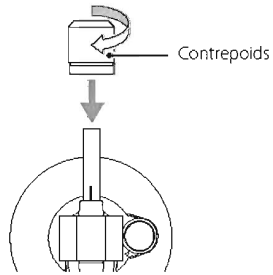
4 Placez le tapis de platine en feutre sur le plateau.

Placez le tapis de platine en feutre sur le plateau avant utilisation.



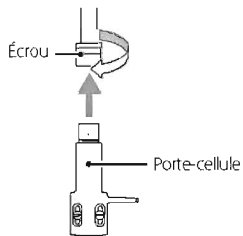
5 Installez le contrepoids.

Placez le contrepoids à l'extrémité du bras de lecture et poussez-le délicatement pendant que vous le tournez pour le fixer.

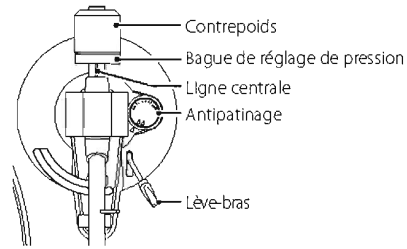


6 Installez le porte-cellule.

Insérez le porte-cellule à l'autre extrémité du bras de lecture et tournez l'écrou pour le verrouiller.

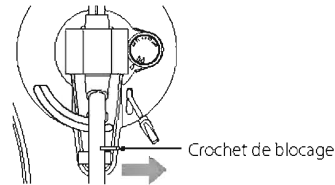


Équilibrage du bras de lecture et réglage de la pression de la pointe



1 Réglez la molette d'antipatinage sur zéro.

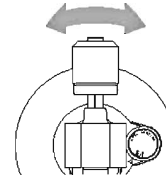
2 Faites glisser le crochet de blocage du bras de lecture vers la droite pour le libérer.



3 Soulevez le lève-bras et poussez légèrement le bras de lecture vers la gauche.

4 Rabaissez le lève-bras.

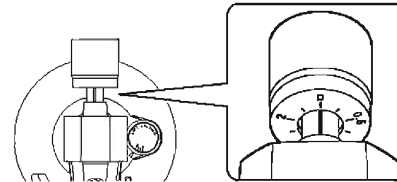
5 Tournez le contrepoids jusqu'à ce que le bras de lecture soit à l'horizontale.



- Baissez le capuchon de protection avant de faire les réglages pour éviter d'endommager la pointe de la cellule.
- Veillez bien à ne pas laisser la pointe de la cellule toucher l'unité.

6 Ramenez le bras de lecture à sa position d'origine et verrouillez-le avec le crochet de blocage.

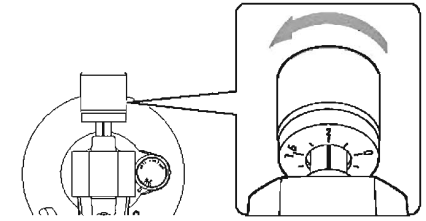
7 Tournez la bague de réglage de pression de la pointe pour que la ligne centrale s'aligne avec le 0 sur la graduation.



- Ne tournez que la bague de réglage. Veillez à ne pas faire tourner le contrepoids.

8 Tournez le contrepoids afin que la graduation de la bague de réglage de pression de la pointe corresponde à la valeur de pression de pointe spécifiée pour la cellule.

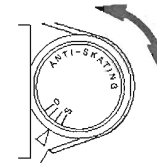
- La pression de pointe pour la cellule fournie est de 1,4 g. Donc, tournez le contrepoids jusqu'à la graduation 1,4 si vous utilisez la cellule fournie.



- Tournez-le vers la droite depuis 0 vers 0,5 et 1,0.

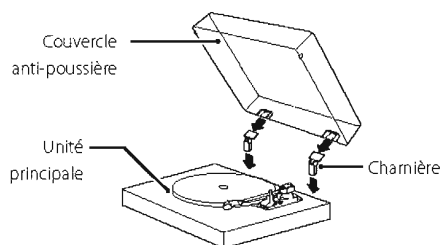
9 Réglez la molette d'antipatinage.

Commencez en réglant à 1,4 et ajustez-la durant la lecture d'un disque (page 23) sur la position qui donne un bon équilibre pour les volumes gauche et droit.



Couvercle anti-poussière

Fixation du couvercle anti-poussière



1 Insérez les charnières à fond dans les porte-charnières aux extrémités gauche et droite de l'arrière de l'unité principale.

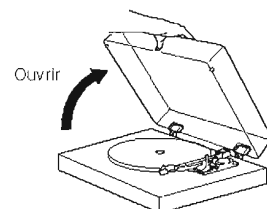
2 Alignez le haut des charnières avec les porte-charnières du couvercle anti-poussière et insérez-les.

- Fermez le couvercle anti-poussière pour la lecture. Comme cela empêche les sauts causés par les contacts involontaires et bloque la pression acoustique externe, le risque de bruit est moindre.
- N'ouvrez pas ou ne fermez pas le couvercle pendant qu'un disque est lu. Cela pourrait, par exemple, faire sauter la pointe.
- Gardez-le fermé autant que possible afin de tenir la poussière à l'écart.

Dépose du couvercle anti-poussière

Maintenez les deux bords du couvercle anti-poussière et soulevez-le lentement pour l'extraire, avec les charnières, de l'unité. Ensuite, retirez les charnières du couvercle anti-poussière.

Ouverture et fermeture du couvercle anti-poussière



Ouverture

Tenez le bord avant du couvercle anti-poussière et soulevez-le délicatement pour l'ouvrir complètement jusqu'à ce qu'il s'arrête.

Le couvercle anti-poussière restera ouvert dans cette position.

Fermeture

Abaissez doucement le couvercle anti-poussière jusqu'à ce qu'il soit fermé.

⚠ **Veillez à ne pas vous pincer les doigts, par exemple lors de l'ouverture et de la fermeture du couvercle anti-poussière.**

Changement de cellule

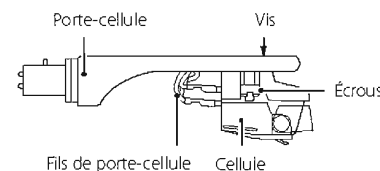
Pour changer la cellule, commencez par détacher le porte-cellule du bras de lecture.

- La cellule installée dans cette unité est équivalente à la cellule Audio-Technica AT100E de type VM (la pointe de rechange pour la cellule installée est verte. Elle ne porte pas de marque Audio-Technica).

NOTE

Les cellules de type VM ont les mêmes caractéristiques que les cellules de type MM.

- Nous vous recommandons de baisser le capuchon de protection de la pointe de cellule avant d'effectuer cette manœuvre.

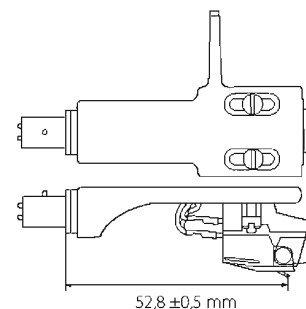


1 Déconnectez de la cellule les fils du porte-cellule.

2 Desserrez les vis et retirez la cellule.

3 Montez la nouvelle cellule et serrez les vis.

Voir l'illustration ci-dessous pour la position des vis après montage.



4 Raccordez les contacts du porte-cellule à la cellule.

- Les signaux et les couleurs des fils de la cellule sont représentés ci-dessous.

| Signal | Couleur |
|----------------|---------|
| Canal gauche + | Blanc |
| Canal gauche - | Bleu |
| Canal droit + | Rouge |
| Canal droit - | Vert |

5 Équilibrez le bras de lecture et réglez la pression de la pointe.

Suivez les procédures décrites dans « Équilibrage du bras de lecture et réglage de la pression de la pointe » en page 20.

Notes sur les pointes pour disque

- Si la pointe est tordue (endommagée), elle ne peut plus suivre précisément le sillon. Comme une pointe tordue peut également endommager les disques et provoquer un dysfonctionnement, maniez délicatement les pointes.
- Nettoyez toujours la pointe avec un nettoyant du commerce prévu à cet effet. L'utilisation de tout autre produit pourrait endommager la pointe.

Remplacement de la pointe

Si l'extrémité de la pointe est usée, cela dégrade la qualité sonore mais endommage également les disques. Après environ 300 heures de lecture, remplacez la pointe par une neuve du modèle indiqué.

Veillez utiliser une pointe de rechange ATN100E Audio-Technica.

- La cellule installée dans cette unité est équivalente à la cellule Audio-Technica AT100E de type VM (la pointe de rechange pour la cellule installée est verte. Elle ne porte pas de marque Audio-Technica).

NOTE

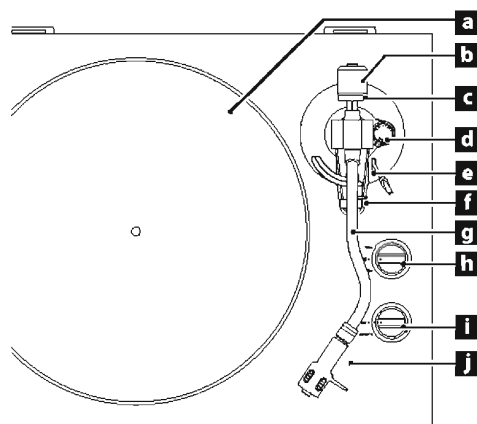
Les cellules de type VM ont les mêmes caractéristiques que les cellules de type MM.

- Suivez les instructions de remplacement dans le manuel de la pointe de rechange.

ATTENTION

- Comme de forts bruits pourraient soudainement se produire, mettez l'unité en veille avant de changer la pointe.
- Faites attention de ne pas abîmer vos mains ou l'équipement.
- Veillez à ne pas permettre à de petits enfants d'avaler accidentellement les pointes.
- Sachez que les pointes tordues en raison par exemple d'un soin insuffisant par l'utilisateur et d'une cause externe ne sont pas couvertes par la garantie.

Nomenclature et fonctions des parties



a Tourne-disque (plateau)

Placez les disques au centre du plateau.

b Contrepoids

c Bague de réglage de pression de la pointe

d Molette d'antipatinage

e Levier lève-bras

Utilisez-le pour lever et abaisser l'extrémité de la pointe. Nous vous recommandons d'utiliser le lève-bras pour éviter d'endommager les disques et les pointes, car c'est plus sûr et plus précis que de le faire à la main.

f Support de bras de lecture

C'est un support pour poser le bras de lecture. Avant de commencer la lecture d'un disque, faites glisser le crochet de blocage vers la droite pour le retirer.

g Bras de lecture

h Bouton de réglage de vitesse de rotation

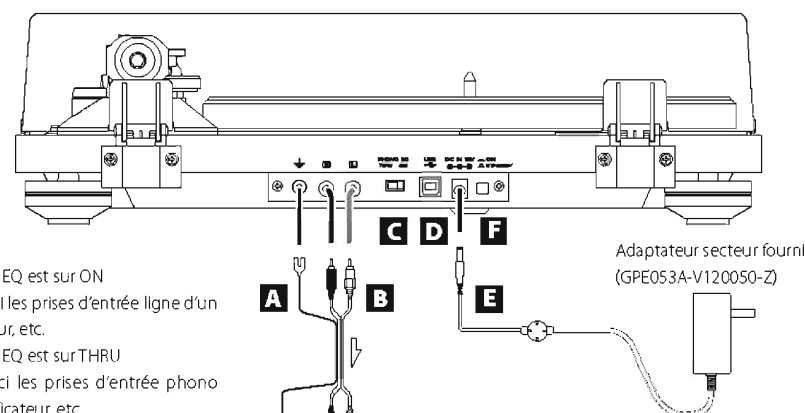
Sélectionnez la vitesse de rotation indiquée sur le disque à lire.

i Bouton START/STOP de rotation

j Porte-cellule

C'est un modèle universel qui permet de facilement changer la cellule.

Branchements



Quand PHONO EQ est sur ON

Branchez ici les prises d'entrée ligne d'un amplificateur, etc.

Quand PHONO EQ est sur THRU

Branchez ici les prises d'entrée phono d'un amplificateur, etc.

Adaptateur secteur fourni (GPE053A-V120050-Z)

⚠ Précautions lors des branchements

- Ne mettez l'unité sous tension qu'une fois tous les branchements effectués.
- Lisez attentivement les modes d'emploi des appareils que vous branchez et suivez leurs instructions quand vous faites les branchements.

A Borne de masse (⊥)

Utilisez le fil de masse du câble audio RCA fourni pour raccorder cette borne par exemple à la borne de masse de l'amplificateur.

- Ce n'est PAS un branchement de terre de sécurité électrique.

En cas de bruit audible dans les enceintes

Si le fait de brancher le fil de masse du câble audio à la borne de masse de cette unité ne réduit pas le bruit, débranchez le câble de masse et vérifiez à nouveau le son. Utilisez la méthode (connecté/déconnecté) pour laquelle le bruit est le plus faible.

B Prises de sortie audio analogique (L/R)

Ces prises produisent les signaux audio analogiques. Le réglage du sélecteur PHONO EQ change le type de signal produit. Utilisez le câble audio fourni (ou un modèle du commerce) pour raccorder d'autres appareils aux prises de sortie de cette unité.

C Sélecteur PHONO EQ (réglage de sortie audio)

ON

Les signaux ayant été amplifiés par l'ampli égaliseur intégré sont produits par les prises de sortie audio analogique (L/R).

THRU

Le signal de la cellule MC ou MM est directement produit par les prises de sortie audio analogique (L/R). Branchez-les à un appareil à entrées phono, comme un préamplificateur à égaliseur phono ou un amplificateur à prises d'entrée phono.

- À la sortie d'usine, ce sélecteur est réglé sur ON.
- Réglez-le sur ON si un appareil est connecté au port USB.

ATTENTION

Avec un réglage sur ON, si le branchement est fait aux entrées PHONO d'un amplificateur, par exemple, le son produit par les enceintes et le casque sera très fort, ce qui peut endommager l'équipement ou l'audition.

D Port USB (USB type B)

Le son du disque est converti en numérique (résolution jusqu'à 48 kHz/16 bits) avant de sortir. L'enregistrement sur un ordinateur est possible en branchant cette sortie à un port USB de l'ordinateur au moyen d'un câble USB (page 24).

E Prise d'entrée d'alimentation CC

Après avoir fait tous les autres branchements, branchez ici l'adaptateur secteur fourni (GPE053A-V120050-Z). Vérifiez que le bloc d'alimentation de l'adaptateur secteur est branché dans une prise secteur.

- Débranchez le cordon d'alimentation de la prise secteur si vous avez l'intention de laisser l'unité inutilisée de façon prolongée.
- N'utilisez aucun adaptateur secteur autre que celui fourni (GPE053A-V120050-Z).

⚠ Veillez à brancher le cordon d'alimentation dans une prise secteur fournissant la tension correcte. Le branchement à une prise fournissant une tension incorrecte pourrait entraîner un incendie ou une électrocution.

⚠ Tenez le cordon d'alimentation par sa fiche quand vous le branchez ou le débranchez. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.

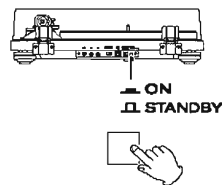
⚠ Débranchez le cordon d'alimentation de la prise secteur si vous avez l'intention de laisser l'unité inutilisée de façon prolongée.

F Touche STANDBY/ON

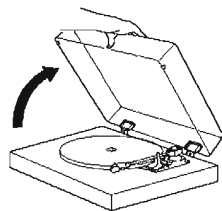
Appuyez sur la touche STANDBY/ON pour allumer l'unité ou la mettre en veille (standby).

Lecture des disques

1 Appuyez sur la touche STANDBY/ON à l'arrière de l'unité pour la mettre sous tension.

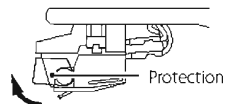


2 Ouvrez lentement le couvercle anti-poussière.



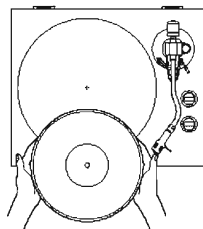
⚠ Veillez à ne pas vous pincer les doigts, par exemple lors de l'ouverture et de la fermeture du couvercle anti-poussière.

3 Soulevez la protection de la cellule.



4 Placez un disque sur le plateau.

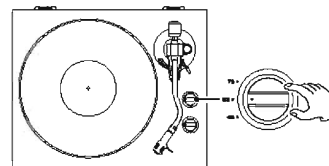
Pour lire un 45 tr/min à grand trou central, utilisez l'adaptateur fourni.



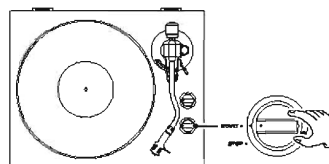
Fonctionnement de base

5 Sélectionnez la vitesse de rotation indiquée sur le disque.

La vitesse de rotation peut être réglée sur 33 1/3, 45 ou 78 tr/min.

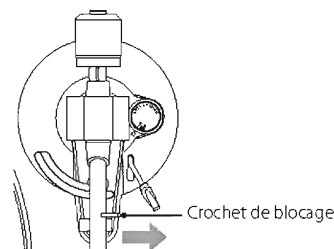


6 Tournez le bouton START/STOP en position START pour faire démarrer le plateau.

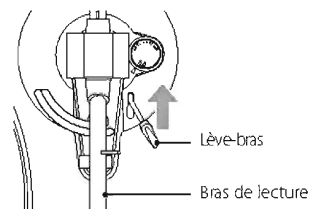


- Quand le bouton START/STOP est réglé sur START, le plateau commence à tourner et la lampe START bleue s'allume.

7 Faites glisser le crochet de blocage du bras de lecture vers la droite pour le libérer.

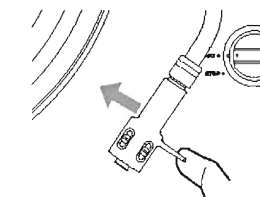


8 Soulevez le lève-bras.



- Vous pouvez également amener le bras de lecture au-dessus du disque sans soulever le lève-bras puis l'abaisser lentement pour lancer la lecture.

9 Amenez le bras de lecture sur la partie de disque dont vous souhaitez lancer la lecture.



10 Abaissez le lève-bras.

Abaissez lentement le bras de lecture jusqu'à ce que la pointe touche le disque et que la lecture commence.

- Fermez le couvercle anti-poussière pour la lecture. Cela réduira les risques de bruit en empêchant les sauts causés par des contacts involontaires et en bloquant la pression acoustique externe.

⚠ Ne placez rien sur le couvercle anti-poussière.

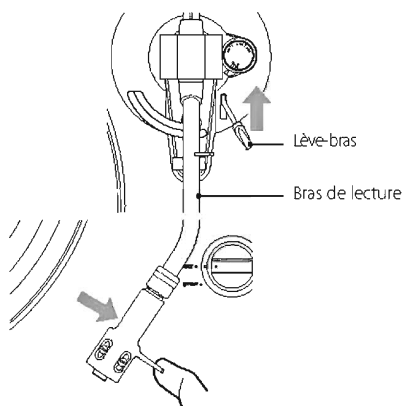
ATTENTION

- Durant la lecture, ne touchez pas le bras de lecture ni le disque. Vous risqueriez d'endommager la pointe et de provoquer des rayures sur le disque.
- Ne forcez pas le plateau à arrêter sa rotation durant la lecture. Comme ce produit n'est pas une platine tourne-disque conçue pour les DJ (à entraînement direct), cela pourrait provoquer un dysfonctionnement.

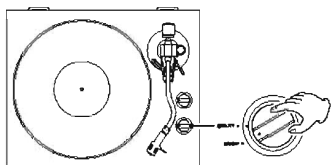
Durant la lecture du disque, une réinjection du signal (« Larsen ») peut se produire si le volume est trop fort. Si cela se produit, baissez le volume de l'amplificateur.

Lorsque la lecture est terminée

- 1 Soulevez le lève-bras pour écarter la pointe du disque et ramenez le bras de lecture à sa position d'origine.



- 2 Ramenez le bouton START/STOP sur STOP pour arrêter le plateau.



- La lampe START bleue s'éteint et le plateau s'arrête.

Le son d'un disque peut être enregistré numériquement dans un ordinateur en utilisant un câble USB du commerce pour relier cette unité au port USB de l'ordinateur.

Systèmes d'exploitation pris en charge

Des ordinateurs fonctionnant sous les systèmes d'exploitation suivants peuvent être connectés par USB à cette unité (à date d'octobre 2016).

Windows

- Windows 7 (32 bits, 64 bits)
- Windows 8 (32 bits, 64 bits)
- Windows 8.1 (32 bits, 64 bits)
- Windows 10 (32 bits, 64 bits)

Mac

- OS X Lion (10.7)
- OS X Mountain Lion (10.8)
- OS X Mavericks (10.9)
- OS X Yosemite (10.10)
- OS X El Capitan (10.11)
- macOS Sierra (10.12)

Le fonctionnement avec d'autres systèmes n'est pas garanti.

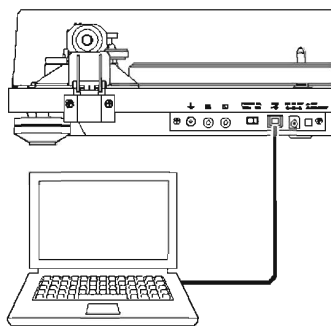
- Cette unité fonctionnera avec le pilote standard de Windows ou Mac, donc il n'y a pas besoin d'installer un pilote spécial.

Branchement à un ordinateur

- 1 Mettez l'ordinateur sous tension.

Vérifiez que le système d'exploitation fonctionne bien.

- 2 Utilisez le câble USB pour relier l'ordinateur à cette unité.



- Utilisez un câble USB du commerce passant par un noyau de ferrite.

- 3 Appuyez sur la touche STANDBY/ON de cette unité pour l'allumer.

L'ordinateur détecte automatiquement le port USB de cette unité et l'identifie comme « USB Audio CODEC ».

- Pour enregistrer du son avec un ordinateur depuis cette platine tourne-disque, vous devez installer un logiciel permettant l'enregistrement audio sur l'ordinateur. Vous pouvez acheter séparément le logiciel d'enregistrement audio que vous préférez ou télécharger un logiciel gratuit tel qu'Audacity (<http://www.audacityteam.org/>) sur Internet. Étant un logiciel gratuit, Audacity ne bénéficie pas de l'assistance TEAC.
- Lors de l'enregistrement avec un ordinateur, n'effectuez aucune des opérations suivantes. Cela pourrait entraîner un mauvais fonctionnement de l'ordinateur. Quittez toujours le logiciel d'enregistrement de l'ordinateur avant de faire ce qui suit.
 - Déconnecter le câble USB
 - Mettre l'unité en veille

Réglages de l'ordinateur

L'exemple suivant explique les réglages à faire quand on utilise Windows 7.

- 1 Dans le menu Démarrer, sélectionnez Panneau de configuration.
- 2 Cliquez sur « Son ».
- 3 Cliquez sur l'onglet « Enregistrement » et vérifiez que « USB Audio CODEC » est défini comme « Périphérique par défaut ».
- 4 Sélectionnez « Microphone USB Audio CODEC » et cliquez sur le bouton Propriétés.
- 5 Cliquez sur l'onglet « Avancé ».

- 6 Dans le menu déroulant « Format par défaut », sélectionnez le format, c'est-à-dire la qualité d'enregistrement désirée.

CONSEIL

Pour enregistrer avec la plus haute qualité audio que cette unité peut produire, sélectionnez « Canal 2, 16 bits, 48000 Hz ».

Baisser la valeur de la fréquence d'échantillonnage réduira la taille des fichiers mais en même temps diminuera la qualité audio.

- 7 Cliquez sur « OK ».

Si vous avez un problème avec cette unité, veuillez vérifier les points suivants avant de demander une intervention. Le problème pourrait également venir d'ailleurs que de cette unité. Vérifiez aussi que les appareils qui lui sont connectés sont correctement employés.

Si cette unité ne fonctionne toujours pas correctement, contactez le revendeur chez qui vous l'avez achetée.

Pas d'alimentation.

- ➔ Vérifiez que l'adaptateur secteur est branché à une prise secteur. Puis appuyez sur la touche STANDBY/ON pour allumer l'unité (pages 22 et 23).

Il n'y a pas de son.

- ➔ Pour brancher les prises de sortie audio analogique de cette unité aux prises d'entrée audio d'un amplificateur ou d'un autre équipement, réglez le sélecteur PHONO EQ (réglage de sortie audio) sur ON (page 22).

La lecture est impossible, il y a du bruit.

- ➔ Relevez la protection (page 23).
- ➔ Sur un disque, les traces de doigts et la poussière peuvent causer du bruit et faire sauter le son. Nettoyez les disques avec un nettoyant pour disque du commerce (page 19).
- ➔ Nettoyez la pointe (page 22).
- ➔ Si la pointe est usée, remplacez-la (page 22). La durée de vie d'une pointe dépend des conditions d'utilisation, mais elle est généralement d'environ 300 heures.
- ➔ Éloignez autant que possible l'unité des téléviseurs, fours à micro-ondes et autres appareils qui émettent des ondes électromagnétiques.

Du bruit se produit lors de la lecture d'un disque.

- ➔ Du bruit peut se produire si la pression de la pointe est supérieure à la valeur spécifiée pour la cellule. Réajustez la pression de la pointe conformément à la valeur spécifiée (page 20).

La hauteur du son est incorrecte.

- ➔ Sélectionnez la vitesse de rotation indiquée sur le disque (page 23).

Le son saute.

- ➔ Les vibrations entraînent des sauts. Placez cette unité dans un endroit stable.
- ➔ Nettoyez le disque.
- ➔ N'empilez pas de disques rayés.
- ➔ Équilibrez le bras de lecture et réajustez la pression de la pointe (page 20). La pointe et le son peuvent sauter si la pression de la pointe est inférieure à la valeur spécifiée pour la cellule.

Tourne-disque (plateau)

| | |
|-------------------------------------|---|
| Système d'entraînement | Par courroie |
| Moteur | Moteur CC |
| Vitesse de rotation | 33 1/3 tr/min, 45 tr/min, 78 tr/min |
| Variation de la vitesse de rotation | ±2 % |
| Pleurage et scintillement | 0,2 % |
| Rapport S/B | 67 dB ou plus (pondération A, filtre passe-bas 20 kHz) |
| Plateau | Aluminium moulé Diamètre de 30 cm |

Bras de lecture

| | |
|---|---|
| Type de bras | Bras de lecture en S à équilibrage statique |
| Longueur utile du bras | 223 mm |
| Plage de variation de pression de la pointe | 0–5 g |
| Poids de cellule acceptable | 4,0–8,0 g |

Cellule

| | |
|--------------------------|------------------------------------|
| Type | VM (équivalente à une cellule MM) |
| Tension de sortie | 4,5 mV (1 kHz, 5 cm/s) |
| Pression de la pointe | 1,4 ± 0,4 g |
| Poids de la cellule | 6,5 ± 0,2 g |
| Poids avec porte-cellule | 10 g (vis, écrous et fils compris) |

- La durée de vie d'une pointe dépend des conditions d'utilisation, mais est généralement d'environ 300 heures.
- La cellule installée dans cette unité est équivalente à la cellule Audio-Technica AT100E de type VM (la pointe de rechange pour la cellule installée est verte. Elle ne porte pas de marque Audio-Technica).
Note : les cellules de type VM ont les mêmes caractéristiques que les cellules de type MM.
- Modèle de pointe de remplacement : Audio-Technica ATN100E

Tension de sortie

| | |
|-------------------|-------------------------------|
| PHONO EQ sur THRU | 4,5 mV (1 kHz, 5 cm/s) ± 3 dB |
| PHONO EQ sur ON | 230 mV (–13 dBV) |
| Prises de sortie | RCA |

Port USB

| | |
|--|--|
| Port USB pouvant recevoir une alimentation par le bus USB de l'ordinateur (pleine vitesse) | Connecteur USB type B |
| Prise en charge de l'alimentation par bus USB | 5 V, 500 mA |
| Fréquence d'échantillonnage | 8 kHz, 11,025 kHz, 16 kHz, 22,05 kHz, 32 kHz, 44,1 kHz, 48 kHz |
| Résolution de quantification | 16 bits |

Générales

| | |
|--|-------------------------------|
| Adaptateur secteur | |
| Entrée | CA 100 V – CA 240 V, 50–60 Hz |
| Sortie | CC 12 V, 500 mA |
| Consommation électrique | |
| En veille | 0,5 W ou moins |
| En service (START) | 1,5 W ou moins |
| Poids | 4,9 kg |
| Température de fonctionnement | 5 °C à 35 °C |
| Dimensions (L × H × P) (saillies incluses) | |
| Couvercle anti-poussière fermé | 420 × 117 × 356 mm |
| Couvercle anti-poussière ouvert | 420 × 381 × 402 mm |
| Sans couvercle anti-poussière | 420 × 102 × 356 mm |


- Les données de performance sont spécifiées à 20 °C.

Éléments fournis

| | |
|--|-----|
| Tapis en feutre | × 1 |
| Adaptateur 45 tr/min | × 1 |
| Contrepoids | × 1 |
| Porte-cellule | × 1 |
| Cellule stéréo Audio-Technica de type VM (double aimant) (équivalente à l'AT100E) préinstallée | |
| Tourne-disque (plateau) | × 1 |
| Couvercle anti-poussière | × 1 |
| Charnières du couvercle anti-poussière | × 2 |
| Câble audio RCA avec borne de masse | × 1 |
| Adaptateur secteur (GPE053A-V120050-Z) | × 1 |
| Mode d'emploi (ce document) | × 1 |

- Caractéristiques techniques et aspect sont sujets à changements sans préavis.
- Le poids et les dimensions sont des valeurs approchées.
- Les illustrations de ce mode d'emploi peuvent légèrement différer des modèles de production.

INSTRUCCIONES IMPORTANTES DE SEGURIDAD



CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN



PRECAUCIÓN: PARA REDUCIR EL RIESGO DE DESCARGA ELÉCTRICA, NO quite la cubierta (ni el panel posterior). NO hay piezas internas que el usuario pueda reparar. Para reparaciones, remítase a un servicio técnico cualificado.

El símbolo del rayo acabado en flecha dentro de un triángulo equilátero alerta al usuario de la presencia de un "voltaje peligroso" sin aislar dentro de la carcasa del producto que puede ser de magnitud suficiente como para constituir riesgo de descarga eléctrica para las personas.



El signo de exclamación dentro de un triángulo equilátero alerta al usuario de la presencia de importantes instrucciones de funcionamiento y mantenimiento en la literatura que acompaña al aparato.



AVISO: PARA EVITAR RIESGO DE INCENDIO O DESCARGAS ELÉCTRICAS, NO EXPONGA ESTE APARATO A LA LLUVIA NI A LA HUMEDAD.

PRECAUCIÓN

- NO quite las carcasas externas ni deje al aire la electrónica. ¡EN EL INTERIOR NO hay piezas que el usuario pueda manipular!
- SI experimenta problemas con este producto, póngase en contacto con el establecimiento donde adquirió la unidad para solicitar servicio técnico. NO utilice el aparato hasta que haya sido reparado.
- EL USO DE controles, ajustes o procedimientos que NO sean los especificados en este manual puede causar exposición a radiaciones peligrosas.

- 1) Lea estas instrucciones.
- 2) Conserve estas instrucciones.
- 3) Cumpla con lo indicado en los avisos.
- 4) Siga todas las instrucciones.
- 5) No utilice este aparato cerca del agua.
- 6) Límpielo solo con un trapo seco.
- 7) No bloquee ninguna de las ranuras de ventilación. Instale este aparato de acuerdo con las instrucciones del fabricante.

- 8) No instale este aparato cerca de fuentes de calor como radiadores, calentadores, hornos u otros aparatos (incluyendo amplificadores) que produzcan calor.
- 9) No elimine el sistema de seguridad que supone el enchufe polarizado o con toma de tierra. Un enchufe polarizado tiene dos bornes, uno más ancho que el otro. Uno con toma de tierra tiene dos bornes iguales y una tercera lámina para la conexión a tierra. El borne ancho o la lámina se incluyen para su seguridad. Si el enchufe que venga con la unidad no encaja en su salida de corriente, haga que un electricista cambie su salida anticuada.
- 10) Evite que el cable de corriente quede de forma que pueda ser pisado o quedar retorcido o aplastado, especialmente en los enchufes, receptáculos o en el punto en el que salen del aparato.
- 11) Use solo accesorios / complementos especificados por el fabricante.
- 12) Utilice este aparato solo con un soporte, trípode o bastidor especificado por el fabricante o que se venda con el propio aparato. Cuando utilice un bastidor con ruedas, tenga cuidado al mover la combinación de aparato/bastidor para evitar que vuelque y puedan producirse daños.
- 13) Desconecte este aparato de la corriente durante las tormentas eléctricas o cuando no lo vaya a usar durante un periodo de tiempo largo.
- 14) Dirija cualquier posible reparación solo al servicio técnico oficial. Este aparato deberá ser reparado si se ha dañado de alguna forma, como por ejemplo si el cable de corriente o el enchufe están rotos, si ha sido derramado algún líquido sobre la unidad o algún objeto ha sido introducido en ella, si ha quedado expuesto a la lluvia o la humedad, si no funciona normalmente o si ha caído al suelo en algún momento.



- Este aparato libera corriente nominal no válida para el funcionamiento a través de la toma de corriente, aún cuando el interruptor de encendido y activación (POWER o STANDBY/ON) no esté en la posición de encendido (ON).
- El enchufe que se conecta a la red es el dispositivo de desconexión, por lo que deberá permanecer siempre en prefécto estado de uso.
- Deberá llevar cuidado si utiliza auriculares con este producto, ya que una excesiva presión sonora (volumen) procedente de los mismos puede causar pérdidas de audición.

EN EE. UU./CANADÁ, UTILICE SOLO ALIMENTACIÓN CON CORRIENTE DE 120 V.

PRECAUCIÓN

- No exponga este aparato a salpicaduras ni goteras.
- No coloque objetos que contengan líquidos, como por ejemplo jarrones, sobre el aparato.
- No instale este aparato en lugares cerrados tales como estanterías o similares.
- Este aparato debe situarse lo suficientemente cerca de una toma de electricidad como para poder alcanzar fácilmente el cable de corriente en cualquier momento.

PRECAUCIÓN

Cualquier cambio o modificación efectuada en este equipo que no haya sido expresamente aprobada por la parte responsable del cumplimiento de los requisitos exigidos podrá invalidar el derecho del usuario a utilizar el equipo.

Modelo para EE. UU.

Declaración de conformidad

Parte responsable: TEAC AMERICA, INC.
Dirección: 1834 Gage Road, Montebello, California, U.S.A.
Número de teléfono: 1-323-726-0303



Este dispositivo cumple con el apartado 15 de las Normas de la FCC. Su funcionamiento está sujeto a las dos siguientes condiciones: (1) este dispositivo no puede causar interferencias perjudiciales y (2) este dispositivo debe aceptar cualquier interferencia recibida, incluidas interferencias que puedan causar anomalías de funcionamiento.

Información sobre interferencias (requerimientos de la FCC)

Se ha comprobado que este equipo cumple con los límites establecidos para los dispositivos digitales de Clase B, de acuerdo con el apartado 15 de las Normas de la FCC. Estos límites están diseñados para proporcionar una protección razonable contra interferencias perjudiciales en instalaciones residenciales.

Este equipo genera, utiliza y puede irradiar energía de radiofrecuencia y, si no se instala y se utiliza de acuerdo con las instrucciones, puede causar interferencias perjudiciales en las comunicaciones por radio.

Sin embargo, no se puede garantizar que dichas interferencias no se produzcan en instalaciones particulares.

Si este equipo causa interferencias perjudiciales en la recepción de radio o televisión, que se comprueban apagando y encendiendo el equipo, se recomienda al usuario que intente corregirla mediante una o varias de las siguientes medidas.

Reorientar o recolocar el equipo y/o la antena receptora.

- Aumente la separación entre el equipo y el receptor.
- Conecte el equipo a una toma de electricidad situada en un circuito eléctrico diferente al del receptor.
- Consulte al distribuidor o solicite ayuda a un técnico de radio/TV con experiencia.

Para consumidores europeos


Deshacerse de aparatos eléctricos, electrónicos, pilas/baterías y acumuladores

- a) Todos los aparatos eléctricos y electrónicos, y pilas/baterías y acumuladores gastados, deben ser eliminados separados del resto de basura común y únicamente en los "puntos limpios" o bajo los procedimientos especificados por el gobierno o autoridades municipales locales.
- b) Con la eliminación correcta de los equipos eléctricos y electrónicos, y de pilas/baterías y acumuladores gastados estará ayudando a conservar recursos muy valiosos y a evitar los posibles efectos negativos en la salud humana y en el medio ambiente.
- c) La eliminación incorrecta de los equipos eléctricos y electrónicos, y pilas/baterías y acumuladores, puede producir efectos muy dañinos en el medio ambiente y en la salud humana a causa de las sustancias peligrosas que pueden encontrarse en estos equipos.
- d) El símbolo de Eliminación de Aparatos Eléctricos y Electrónicos (WEEE en inglés), identificado por cubos de basura con ruedas tachados, indican que los equipos eléctricos y electrónicos, y las pilas/baterías y acumuladores, deben ser eliminados de forma totalmente independiente con respecto a la basura doméstica. Si una pila/batería o un acumulador contienen más cantidad de los valores especificados de plomo (Pb), mercurio (Hg), y/o cadmio (Cd) según está definido en la Directiva relativa a las pilas (2006/66/EC), entonces los símbolos químicos correspondientes a estos elementos estarán indicados debajo del símbolo WEEE.
- e) Existen sistemas para la eliminación y recogida a disposición del usuario final. Si necesita más información sobre cómo deshacerse de aparatos eléctricos y electrónicos antiguos, así como de pilas/baterías y acumuladores, póngase en contacto con su ayuntamiento, con la correspondiente empresa del servicio de recogida de residuos o con el establecimiento donde adquirió ese aparato.



Pb, Hg, Cd

Modelo para Europa



Este producto cumple con las exigencias de las directivas europeas y con los reglamentos de la Comisión Europea.

Apple, Mac, OS X and macOS are trademarks of Apple Inc.

Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Los nombres de otras compañías y de productos que aparecen en este documento son marcas comerciales o registradas de sus respectivos propietarios.

Índice

Gracias por elegir TEAC

Lea este manual atentamente para obtener el mejor rendimiento de esta unidad.

Después de leerlo, guárdelo en un lugar seguro para futuras consultas.

| | |
|---|----|
| INSTRUCCIONES IMPORTANTES DE SEGURIDAD..... | 26 |
| Registro del producto | 27 |
| Antes de su utilización | 27 |
| Manejo de los discos | 27 |
| Preparación del reproductor de discos..... | 27 |
| Tapa | 29 |
| Cambio de la cápsula | 29 |
| Notas sobre las agujas para discos..... | 30 |
| Nombres y funciones de las partes | 30 |
| Conexiones | 30 |
| Funcionamiento básico | 31 |
| Grabación con un ordenador..... | 32 |
| Solución de posibles fallos | 33 |
| Especificaciones..... | 33 |

Registro del producto

Los clientes de EE. UU., por favor visiten el siguiente sitio web de TEAC para registrar su producto en línea:

<http://audio.teac.com/support/registration/>

Antes de su utilización

Artículos incluidos

Asegúrese de que la caja incluye todos los accesorios suministrados que se enumeran a continuación. Por favor, póngase en contacto con el establecimiento donde adquirió esta unidad si falta cualquiera de estos accesorios o si han sufrido desperfectos durante el transporte.

- Alfombrilla de fieltro × 1
- Adaptador de 45 RPM × 1
- Contrapeso × 1
- Cabezal × 1
 - Cápsula estéreo Audio-Technica VM Type (doble ímán) (equivalente a AT100E) preinstalada
- Plato giradiscos × 1
- Tapa × 1
- Bisagras de la tapa × 2
- Cable de audio RCA con terminal de tierra × 1
- Adaptador de corriente (GPE053A-V120050-Z) × 1
- Manual del usuario (este documento) × 1

Precauciones de uso

- No coloque nada sobre la tapa del plato giradiscos. Los objetos situados sobre la tapa podrían causar ruido debido a las vibraciones o caerse, especialmente durante la reproducción.
- Evite situar la unidad directamente a la luz del sol, cerca de una fuente de calor o en condiciones similares. No coloque la unidad encima de un amplificador u otros equipos que puedan generar calor que exceda el margen de la temperatura de funcionamiento de esta unidad. Si lo hace, podría causar que la unidad se decolore, se deforme o que funcione incorrectamente.

Web global de TEAC

Las actualizaciones correspondientes a esta unidad se pueden descargar desde el sitio web global de TEAC: <http://teac-global.com/>

- Entre en el sitio web global de TEAC.
- En la sección de descargas (downloads) de TEAC, haga clic en el idioma que desee para abrir la página web de descargas correspondiente a ese idioma.

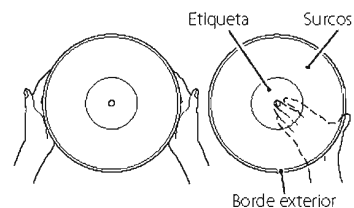
NOTA

- Si no aparece el idioma que desea, haga clic en "Other Languages" (otros idiomas).
- Haga clic en la sección "Search by Model Name" (buscar por nombre de modelo) para abrir la página de descargas correspondiente a ese modelo. Los usuarios de Europa, sin embargo, tienen que hacer clic en el nombre del producto en la sección "Products" (productos).
- Seleccione y descargue las actualizaciones que necesite.

Manejo de los discos

Cómo sujetar los discos

Cuando coja un disco o lo saque de su funda, evite tocar los surcos sujetando el disco por su etiqueta central y por el borde con una mano o sujetándolo por los bordes con ambas manos.



Limpieza

- Las huellas de dedos y el polvo en un disco pueden causar ruido y hacer que el sonido salte, así como producir daños al propio disco y a la aguja. Utilice un limpiador de discos de los que se pueden adquirir en establecimientos comerciales para limpiar los discos. No utilice disolvente ni nada que no sea un limpiador específico para discos. Dichos productos químicos podrían dañar la superficie del disco.
- Cuando utilice un limpiador de discos, limpie la superficie del disco con un movimiento circular, siguiendo los surcos.



Precauciones de uso

- No deje los discos en sitios donde estén expuestos directamente a la luz del sol o que sean muy calurosos o húmedos. Si deja un disco bajo tales condiciones durante mucho tiempo, podría deformarse, salirle moho o sufrir otros daños.
- No apile múltiples discos ni sitúe objetos pesados sobre ellos. Tampoco deje los discos inclinados en ángulo durante excesivo tiempo. Si lo hace, podrían deformarse o sufrir otros daños.
- No permita que objetos duros toquen directamente los surcos de audio. Si esto ocurre, los discos se pueden rayar.
- Después de que haya terminado de reproducir un disco, vuelva siempre a guardarlo en su funda. Dejar un disco sin protección puede causar que se deforme o se raye.
- No utilice discos que estén rotos.

Preparación del reproductor de discos

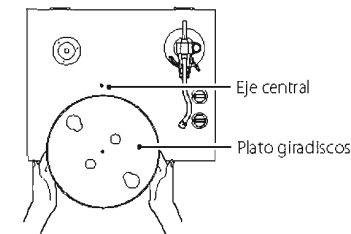
Mantenga el reproductor en modo de reposo (standby) mientras lo configura (F en la página 31).

1 Colóquelo sobre una superficie plana.

Colóquelo sobre una superficie plana para que se puedan seguir los surcos de los discos con precisión.

2 Instale el plato giradiscos.

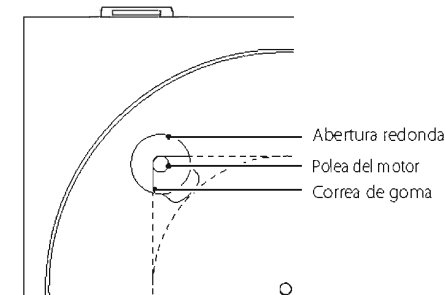
Alinee el plato giradiscos con el eje central e instálelo.



3 Fije la correa alrededor de la polea del motor.

Utilice un dedo para tirar de la correa de goma que está envuelta alrededor del subplato a través de la abertura redonda y colóquela alrededor de la polea del motor.

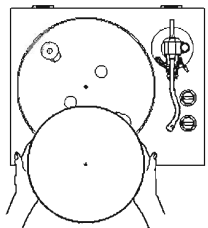
- Lleve cuidado de que la goma no se retuerza.
- Gire el plato giradiscos varias veces para confirmar que se ha puesto bien.



Continúa en la página siguiente ➔

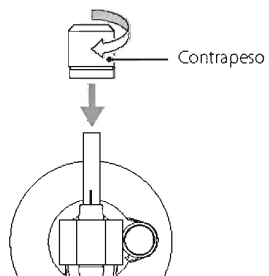
4 Coloque la alfombrilla de fieltro en el plato giradiscos.

Coloque sobre el plato giradiscos la alfombrilla de fieltro que viene incluida con él antes de utilizarlo.



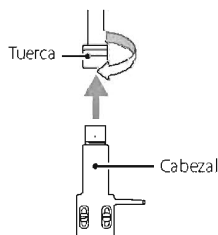
5 Instale el contrapeso.

Coloque el contrapeso sobre el extremo del brazo y presiónelo suavemente mientras lo gira hacia la derecha para fijarlo.

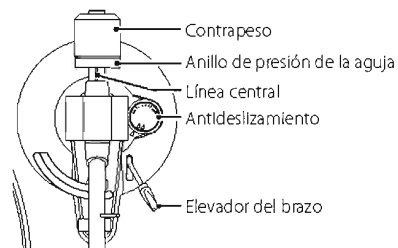


6 Instale el cabezal.

Introduzca el cabezal en el extremo del brazo y gire la tuerca para asegurarlo en su sitio.

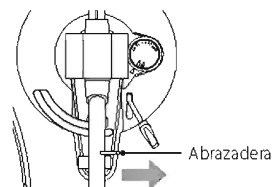


Cómo equilibrar el brazo y ajustar la presión de la aguja



1 Ponga la rueda antideslizamiento en cero.

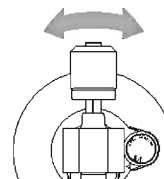
2 Desplace la abrazadera de sujeción del brazo hacia la derecha para liberarlo.



3 Levante el elevador del brazo y desplace el brazo ligeramente hacia la izquierda.

4 Baje el elevador del brazo.

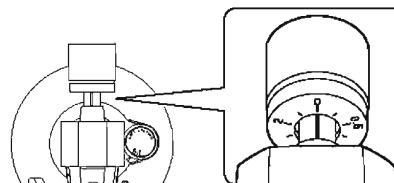
5 Gire el contrapeso y ajústelo de manera que el brazo quede nivelado.



- Antes de hacer los ajustes, baje el protector para evitar que se dañe la aguja de la cápsula.
- Lleve cuidado para que la aguja de la cápsula no toque la unidad.

6 Vuelva a poner el brazo en su posición original y utilice la abrazadera de sujeción para fijarlo en su sitio.

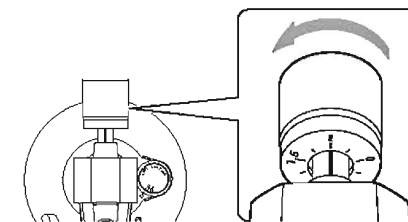
7 Gire el anillo de ajuste de presión de la aguja de modo que la línea central quede alineada con el 0 de la escala.



- Gire solo el anillo. Lleve cuidado de no girar el contrapeso.

8 Gire el contrapeso de forma que la escala del anillo de ajuste de presión de la aguja coincida con la presión especificada para la cápsula.

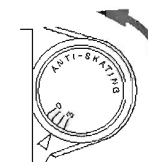
- La presión de la aguja de la cápsula que viene incluida es de 1.4 g. Por tanto, gire la escala del contrapeso hasta 1.4 cuando utilice la cápsula incluida.



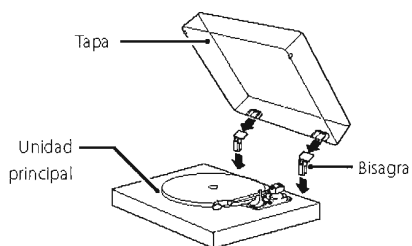
- Gírela hacia la derecha partiendo de 0 en la dirección de 0.5 y 1.0.

9 Ajuste la rueda antideslizamiento.

Comience con ella puesta en 1.4 y ajústela durante la reproducción de un disco (página 31) situándola en la posición donde los volúmenes de los canales izquierdo y derecho estén equilibrados.



Montaje de la tapa



1 Inserte las bisagras por completo en las sujeciones situadas en los extremos izquierdo y derecho de la parte posterior de la unidad principal.

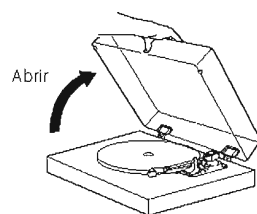
2 Alinee las partes de arriba de las bisagras con las sujeciones que para ellas hay en la tapa e insértelas.

- Cierre la tapa durante la reproducción. De este modo se evitan saltos causados por contactos involuntarios y se bloquea la presión sonora externa, con lo cual es mucho menos probable que se produzca ruido.
- No la abra ni la cierre cuando se esté reproduciendo un disco, ya que podría saltar la aguja, por ejemplo.
- Manténgala cerrada siempre que sea posible para que no entre polvo.

Cómo quitar la tapa

Sujete ambos bordes de la tapa y levántela lentamente para separarla de la unidad junto con las bisagras. A continuación, quite las bisagras de la tapa.

Apertura y cierre de la tapa



Apertura

Sujete el borde frontal de la tapa y levántela suavemente para abrirla hasta que se detenga.

La tapa se quedará abierta en esta posición.

Cierre

Baje suavemente la tapa hasta que se cierre.

⚠ Lleve cuidado de no pillarse los dedos, por ejemplo, al abrir y cerrar la tapa.

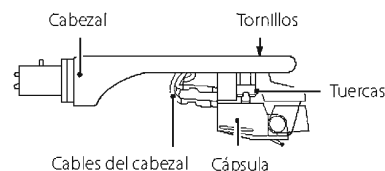
Para cambiar la cápsula, primero quite el cabezal separándolo del brazo.

- La cápsula instalada en esta unidad es equivalente a la cápsula Audio-Technica AT100E VM Type (la aguja de repuesto para la cápsula instalada es verde; no tiene ningún indicativo de Audio-Technica).

NOTA

Las cápsulas de tipo VM tienen las mismas características que las cápsulas de tipo MM.

- Le recomendamos que baje el protector de la aguja de la cápsula antes de llevar a cabo este proceso.

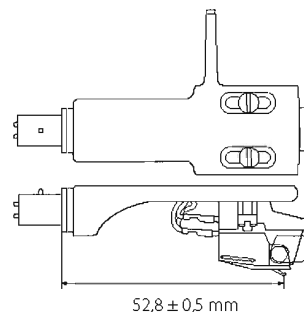


1 Desconecte de la cápsula los terminales cableados del cabezal.

2 Afloje los tornillos y quite la cápsula.

3 Acople la nueva cápsula y apriete los tornillos.

En la ilustración que viene a continuación puede ver la posición de los tornillos una vez acoplada la cápsula.



4 Conecte a la cápsula los terminales cableados del cabezal.

- Las señales y los colores de los cables del cabezal se muestran a continuación:

| Señal | Color |
|-------------------|--------|
| Canal izquierdo + | Blanco |
| Canal izquierdo - | Azul |
| Canal derecho + | Rojo |
| Canal derecho - | Verde |

5 Equilibre el brazo y ajuste la presión de la aguja.

Siga el procedimiento del apartado "Cómo equilibrar el brazo y ajustar la presión de la aguja" en la página 28.

Notas sobre las agujas para discos

- Si una aguja se dobla (se daña), no podrá seguir los surcos del disco con precisión. Puesto que una aguja doblada puede también dañar los discos o provocar averías, maneje las agujas con mucho cuidado.
- Utilice siempre un limpiador de agujas de los que se pueden adquirir en establecimientos comerciales. El uso de cualquier otra cosa que no sea un limpiador de agujas puede dañar la aguja.

Sustitución de la aguja

Si la punta de la aguja se desgasta, no solo empeorará la calidad de sonido, también pueden estropearse los discos. Después de aproximadamente 300 horas de reproducción, cambie la aguja por otra según nuestras especificaciones.

Cuando cambie la aguja, utilice una Audio-Technica ATN100E.

- La cápsula instalada en esta unidad es equivalente a la cápsula Audio-Technica AT100E VM Type (la aguja de repuesto para la cápsula instalada es verde; no tiene ningún indicativo de Audio-Technica).

NOTA

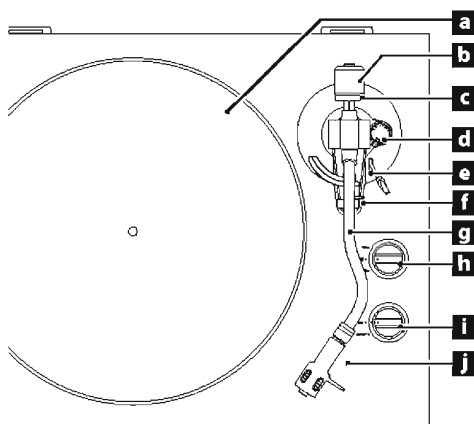
Las cápsulas de tipo VM tienen las mismas características que las cápsulas de tipo MM.

- Siga las instrucciones de sustitución de la aguja que vienen en el manual de la aguja de repuesto.

PRECAUCIÓN

- Puesto que se pueden producir ruidos repentinos a alto volumen, ponga la unidad en reposo (standby) antes de cambiar la aguja.
- Lleve cuidado de no lastimarse la mano o dañar el equipo.
- Lleve cuidado de no permitir que los niños pequeños puedan tragarse las agujas accidentalmente.
- Tenga en cuenta que las agujas dobladas, por ejemplo, algo que se produce porque el usuario no ha tenido el suficiente cuidado o por otra causa ajena al fabricante, no están cubiertas por la garantía.

Nombres y funciones de las partes



a Plato giradiscos

Coloque los discos centrados en el plato.

b Contrapeso

c Anillo de ajuste de presión de la aguja

d Rueda antideslizamiento

e Palanca elevadora del brazo

Utilícela para elevar y descender la punta de la aguja. Le recomendamos utilizar este elevador del brazo para evitar que los discos y las agujas se dañen, ya que es más seguro y más preciso que hacerlo con un dedo.

f Sujeción del brazo

Esta pieza es donde descansa el brazo. Antes de empezar a reproducir un disco, desplace la abrazadera hacia la derecha para quitarla.

g Brazo

h Mando de ajuste de la velocidad de giro

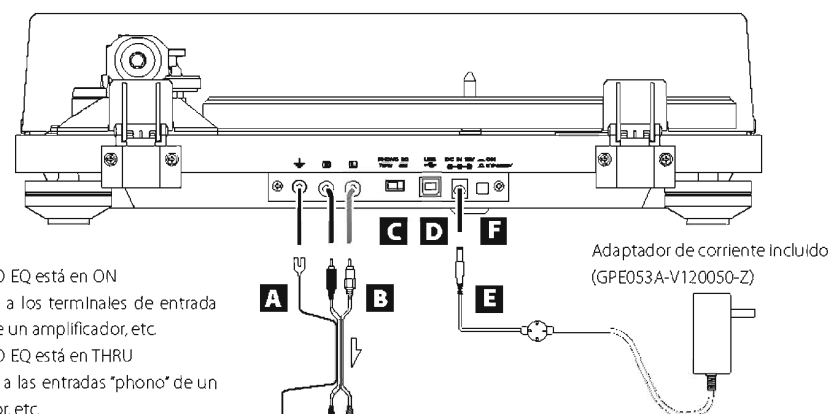
Seleccione aquí la velocidad de giro indicada en el disco que se va a reproducir.

i Control START/STOP de inicio/parada de giro del plato

j Cabezal

Es de un tipo universal que permite cambiar la cápsula fácilmente.

Conexiones



Cuando PHONO EQ está en ON

Se conecta a los terminales de entrada de audio de un amplificador, etc.

Cuando PHONO EQ está en THRU

Se conecta a las entradas "phono" de un amplificador, etc.

⚠ Precauciones al hacer las conexiones

- No enchufe la unidad a la corriente hasta que no haya terminado de hacer todas las conexiones.
- Lea detenidamente los manuales de los dispositivos que está conectando y siga sus instrucciones para hacer las conexiones.

A Terminal de tierra (⊖)

Utilice el conductor de tierra del cable de audio RCA incluido para conectar este terminal al terminal de tierra de un amplificador, por ejemplo.

- Esta NO es una toma de tierra de seguridad eléctrica.

Si el ruido de los altavoces es notorio

Si al conectar el conductor de tierra del cable de audio al terminal de tierra de esta unidad no se reduce el ruido, desconecte el conductor de tierra y pruebe el sonido de nuevo. Utilice el método (conectado/desconectado) que menos ruido tenga.

B Terminales de salida de audio analógico (L/R) (izquierda/derecha)

Por ellos salen las señales de audio analógico.

El ajuste del Interruptor PHONO EQ cambia el tipo de señal de salida.

Use el cable de audio incluido (u otro comprado en un establecimiento comercial) para conectar otros equipos a los terminales de salida de esta unidad.

C Interruptor PHONO EQ (ajuste de salida de audio)

ON

Por los terminales de salida de audio analógico (L/R) (izda./dcha.) salen las señales que se han amplificado mediante el amplificador-ecualizador integrado.

THRU

Por los terminales de salida de audio analógico (L/R) (izquierda/derecha) sale directamente la señal de la cápsula MC o MM.

Utilice esta opción cuando conecte esta unidad a un equipo que tenga entradas "phono", como por ejemplo un preamplificador de ecualización para platos giradiscos o un amplificador con terminales de entrada "phono".

- Cuando la unidad sale de fábrica, su ajuste predeterminado es ON.
- Seleccione ON si se conecta un dispositivo al puerto USB.

PRECAUCIÓN

Si se selecciona ON y la unidad se conecta a las entradas "phono" de un amplificador, por ejemplo, la salida de sonido por altavoces y auriculares será a gran volumen, y se puede dañar el equipo o producir daños auditivos.

D Puerto USB (USB tipo B)

El sonido del disco se convierte a audio digital (con una resolución de hasta 48 kHz/16 bits) y sale de este modo. Si se conecta este puerto al puerto USB de un ordenador mediante un cable USB, es posible la grabación en dicho ordenador (página 32).

E Entrada de corriente DC IN 12V

Una vez terminadas todas las demás conexiones, conecte el adaptador de corriente incluido (GPE053A-V120050-Z) a esta entrada de corriente.

Confirme que el enchufe del adaptador de corriente está enchufado a una toma de electricidad.

- Desenchufe el cable de corriente de la toma de electricidad cuando no piense utilizar la unidad durante un largo periodo de tiempo.
- No utilice ningún otro adaptador de corriente que no sea el incluido (GPE053A-V120050-Z).

⚠ Asegúrese de conectar el cable de corriente a una toma de electricidad que suministre el voltaje correcto. La conexión a una toma con el voltaje incorrecto puede originar fuego o una descarga eléctrica.

⚠ Sujételo por el enchufe al enchufarlo o desenchufarlo de una toma de electricidad. No tire nunca del cable.

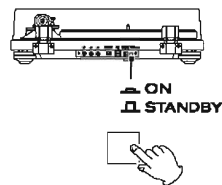
⚠ Desenchufe el cable de corriente de la toma de electricidad cuando no piense utilizar la unidad durante un largo periodo de tiempo.

F Botón STANDBY/ON

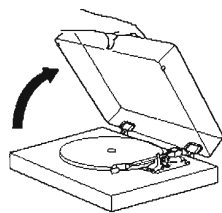
Pulse el botón STANDBY/ON para encender (ON) o poner en reposo (STANDBY) la unidad.

Reproducción de discos

1 Pulse el botón STANDBY/ON situado en la parte posterior de la unidad para encenderla.

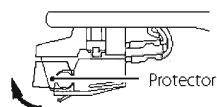


2 Abra la tapa lentamente.



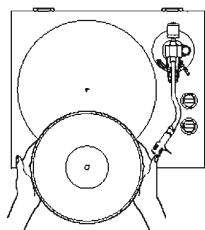
⚠ Lleve cuidado de no pillarse la mano, por ejemplo, al cerrar la tapa.

3 Levante el protector de la cápsula.



4 Coloque un disco en el plato giradiscos.

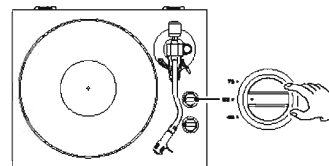
Cuando reproduzca un disco sencillo ("single") de 45 RPM con agujero central grande, utilice el adaptador incluido.



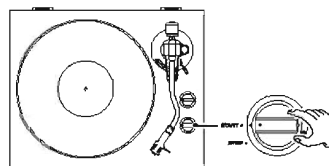
Funcionamiento básico

5 Seleccione la velocidad de rotación indicada en el disco.

La velocidad de rotación puede fijarse en 33 1/3, 45 o 78 RPM.

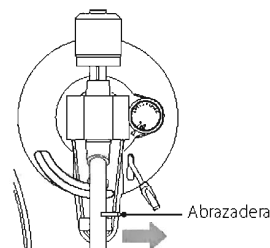


6 Gire el mando START/STOP a la posición START para iniciar el plato giradiscos.

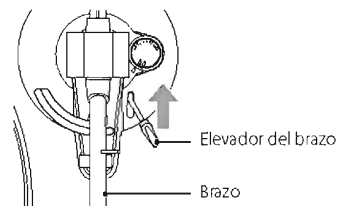


- Al poner el mando START/STOP en START, el plato empezará a girar y se iluminará la luz azul START.

7 Desplace la abrazadera que sujeta el brazo hacia la derecha para liberarlo.

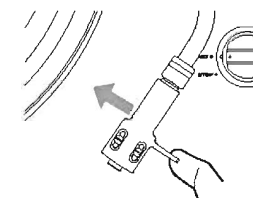


8 Levante el elevador del brazo.



- También puede desplazar el brazo manualmente sobre el disco sin levantar el elevador del brazo y bajarlo lentamente para comenzar la reproducción.

9 Desplace el brazo hacia la canción donde desee comenzar la reproducción.



10 Baje el elevador del brazo.

Baje el brazo lentamente hasta que la aguja toque el disco y empezará la reproducción.

- Cierre la tapa durante la reproducción. De este modo se reduce la posibilidad de que se produzcan ruidos, ya que se evitan saltos causados por contactos involuntarios y se bloquea la presión sonora externa.

⚠ No coloque nada sobre la tapa.

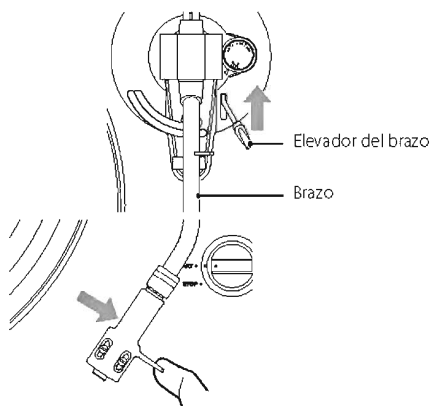
ATENCIÓN

- Durante la reproducción no toque ni el brazo ni el disco. Si lo hace, puede dañar la punta de la aguja o rayar el disco.
- No detenga el giro del plato a la fuerza durante la reproducción. Puesto que este no es un plato giradiscos de tipo "direct drive" (tracción directa) diseñado para "DJs", cualquier maniobra de este tipo puede causar una avería.

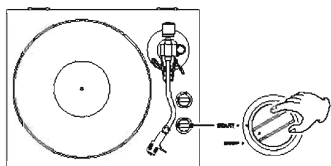
Durante la reproducción de los discos puede producirse realimentación (pitidos conocidos también como "acoples") si el volumen es demasiado alto. Si esto ocurre, baje el volumen del amplificador.

Cuando termine la reproducción

- 1 Levante ligeramente el elevador del brazo para separar la aguja del disco y vuelva a poner el brazo en su posición original.**



- 2 Gire el mando START/STOP a la posición STOP para detener el plato giradiscos.**



- La luz azul START se apagará y el plato giradiscos se detendrá.

El sonido de un disco de vinilo puede grabarse digitalmente en un ordenador conectando esta unidad a uno de los puertos USB de dicho ordenador mediante un cable USB de los que se pueden adquirir en establecimientos comerciales.

Sistemas operativos compatibles

Se pueden conectar por USB a esta unidad ordenadores con los siguientes sistemas operativos: (a octubre de 2016):

Windows

- Windows 7 (32 bits, 64 bits)
- Windows 8 (32 bits, 64 bits)
- Windows 8.1 (32 bits, 64 bits)
- Windows 10 (32 bits, 64 bits)

Mac

- OS X Lion (10.7)
- OS X Mountain Lion (10.8)
- OS X Mavericks (10.9)
- OS X Yosemite (10.10)
- OS X El Capitan (10.11)
- macOS Sierra (10.12)

No está garantizado el funcionamiento con otros sistemas.

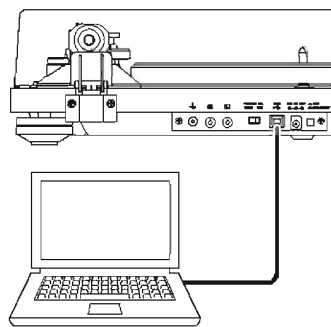
- Esta unidad funcionará con el controlador (driver) estándar de los sistemas operativos Windows y Mac, por lo que no hay necesidad de instalar un controlador especial.

Conexión con un ordenador

- 1 Encienda el ordenador.**

Confirme que el sistema operativo funciona bien.

- 2 Utilice el cable USB para conectar el ordenador y esta unidad.**



- Utilice un cable USB con núcleo de ferrita de los que se pueden adquirir en establecimientos comerciales.

- 3 Pulse el botón STANDBY/ON de esta unidad para encenderla.**

El ordenador detectará automáticamente el puerto USB de esta unidad y la identificará como "USB Audio CODEC".

- Para grabar audio desde este reproductor de discos utilizando un ordenador, deberá primero instalar el software que vaya a utilizar para grabar audio en el ordenador. Puede comprar el software de grabación de audio que prefiera o descargarse por Internet un software gratuito, como por ejemplo Audacity (<http://www.audacityteam.org/>). Al ser software gratuito, TEAC no ofrece soporte para Audacity.
- Cuando esté grabando con un ordenador, no realice ninguna de las acciones mencionadas a continuación, ya que puede causar anomalías de funcionamiento en el ordenador. Salga siempre del software de grabación del ordenador antes de hacer lo siguiente:
 - Desconectar el cable USB.
 - Poner la unidad en reposo (standby).

Ajustes del ordenador

Los siguientes ejemplos explican los ajustes a realizar si se utiliza Windows 7.

- 1 Desde el menú "Inicio", seleccione "Panel de control".**
- 2 Haga clic en "Sonido".**
- 3 Haga clic en la pestaña "Grabar" y confirme que "USB Audio CODEC" es el "Dispositivo predeterminado".**
- 4 Seleccione "Microphone USB Audio CODEC" y haga clic en el botón "Propiedades".**
- 5 Haga clic en la pestaña "Opciones avanzadas".**

- 6 Desde el menú desplegable "Formato predeterminado", seleccione la calidad (formato) de grabación deseada.**

CONSEJO

Para grabar en la calidad de audio más alta que esta unidad puede proporcionar, seleccione "2 canales, 16 bits, 48000 Hz".

Una frecuencia de muestreo más baja reducirá relativamente el tamaño de los archivos, pero también disminuirá la calidad de audio.

- 7 Haga clic en "Aceptar".**

Si experimenta algún problema con esta unidad, por favor compruebe los apartados siguientes antes de solicitar asistencia técnica. La causa del problema podría no ser esta unidad. Por favor, compruebe también que los dispositivos conectados están siendo utilizados correctamente.

Si aún así la unidad no funciona correctamente, póngase en contacto con el establecimiento donde adquirió la unidad.

No enciende.

- ➔ Confirme que el adaptador de corriente está enchufado a una toma de electricidad. A continuación, pulse el botón STANDBY/ON para encender la unidad (páginas 30 y 31).

No sale sonido.

- ➔ Cuando conecte los terminales de salida de audio analógico de esta unidad a los terminales de audio de un amplificador u otro equipo, ponga el interruptor PHONO EQ (ajuste de salida de audio) en ON (página 30).

La reproducción no es posible; hay ruido.

- ➔ Levante el protector (página 31).
- ➔ Las huellas y el polvo en un disco pueden causar ruido y hacer que salte el sonido. Limpie el disco con un limpiador de discos de los que se pueden adquirir en establecimientos comerciales (página 27).
- ➔ Limpie la aguja (página 30).
- ➔ Si la aguja está gastada, cámbiela (página 30). La vida útil de una aguja depende de las condiciones de uso, pero suele ser de unas 300 horas.
- ➔ Coloque la unidad lo más lejos posible de televisores, hornos microondas y otros dispositivos que emitan ondas electromagnéticas.

Hay ruido cuando se está reproduciendo un disco.

- ➔ Cuando la presión de la aguja es superior al valor especificado para la cápsula, puede producirse ruido. Reajuste la presión de la aguja para que sea la del valor especificado (página 28).

El tono (afinación) de reproducción es incorrecto.

- ➔ Seleccione la velocidad de rotación (RPM) indicada en el disco (página 31).

El sonido salta.

- ➔ Las vibraciones pueden causar saltos. Coloque esta unidad en un lugar estable.
- ➔ Limpie el disco.
- ➔ No utilice discos rayados.
- ➔ Equilibre el brazo y vuelva a ajustar la presión de la aguja (página 28). Si la presión de la aguja es menor que el valor especificado para la cápsula, puede que se produzcan saltos en la aguja y en el sonido.

Plato giradiscos

| | |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| Sistema de tracción | tracción por correa |
| Motor | motor de CC |
| Velocidad de rotación | 33 1/3 rpm, 45 rpm, 78 rpm |
| Variación de velocidad de rotación | ±2 % |
| Lloro y centelleo | 0,2 % |
| Relación señal/ruido | 67 dB o más (ponderado A, 20 kHz LPF) |
| Plato giradiscos | aluminio fundido |
| | 30 cm de diámetro |

Brazo

| | |
|---|---|
| Tipo de brazo | Brazo en forma de "S" con equilibrio estático |
| Longitud efectiva del brazo | 223 mm |
| Margen de variación de la presión de la aguja | 0–5 g |
| Peso aceptable de la cápsula | 4,0–8,0 g |

Cápsula

| | |
|---------------------------|--|
| Tipo | MM (equivalente a MM) |
| Voltaje de salida | 4,5 mV (1 kHz, 5 cm/s) |
| Presión de la aguja | 1,4 ± 0,4 g |
| Peso de la cápsula | 6,5 ± 0,2 g |
| Peso del cabezal incluido | 10 g (Incluidos tornillos, tuercas y cables) |

- La vida útil de una aguja depende de las condiciones de uso, pero suele ser de unas 300 horas.
- La cápsula instalada en esta unidad es equivalente a la cápsula Audio-Technica AT100E VM Type (la aguja de repuesto para la cápsula instalada es verde; no tiene ningún indicativo de Audio-Technica).
Nota: Las cápsulas de tipo VM tienen las mismas características que las cápsulas de tipo MM.
- Modelo de aguja de repuesto: Audio-Technica ATN100E

Voltaje de salida

| | |
|----------------------|-------------------------------|
| PHONO EQ THRU | 4,5 mV (1 kHz, 5 cm/s) ± 3 dB |
| PHONO EQ ON | 230 mV (–13 dBV) |
| Terminales de salida | RCA |

Puerto USB

| | |
|---|--|
| El puerto USB puede recibir alimentación de buses USB de ordenador (velocidad completa) | conector USB tipo B |
| Alimentación compatible con bus USB | 5 V, 500 mA |
| Frecuencia de muestreo | 8 kHz, 11,025 kHz, 16 kHz, 22,05 kHz, 32 kHz, 44,1 kHz, 48 kHz |
| Profundidad de bits de cuantización | 16 bits |

General

| | |
|--|-------------------------------|
| Adaptador de corriente | |
| Entrada | CA 100 V – CA 240 V, 50–60 Hz |
| Salida | CC 12 V, 500 mA |
| Consumo de corriente | |
| En reposo (standby) | 0,5 W o menos |
| Encendido (START) | 1,5 W o menos |
| Peso | 4,9 kg |
| Margen de temperatura de funcionamiento | de 5 °C a 35 °C |
| Dimensiones (an. × al. × pro.) (incluidos salientes) | |
| Con la tapa cerrada | 420 × 117 × 356 mm |
| Con la tapa abierta | 420 × 381 × 402 mm |
| Con la tapa quitada | 420 × 102 × 356 mm |

- Datos de rendimiento especificados a 20 °C

Artículos incluidos

| | |
|---|-------------------------------------|
| Alfombra de fieltro | × 1 |
| Adaptador de 45 RPM | × 1 |
| Contrapeso | × 1 |
| Cabezal | × 1 |
| Cápsula estéreo Audio-Technica VM Type (doble imán) | (equivalente a AT100E) preinstalada |
| Plato giradiscos | × 1 |
| Tapa | × 1 |
| Bisagras de la tapa | × 2 |
| Cable de audio RCA con terminal de tierra | × 1 |
| Adaptador de corriente (GPE053A-V120050-Z) | × 1 |
| Manual del usuario (este documento) | × 1 |

- Las especificaciones y el diseño están sujetos a cambios sin previo aviso.
- El peso y las dimensiones son aproximados.
- Las ilustraciones de este manual pueden diferir ligeramente de los modelos de producción.

CAUTION

RISK OF ELECTRIC SHOCK

DO NOT OPEN

VORSICHT: VERMEIDEN SIE DAS RISIKO EINES STROMSCHLAGS. ENTFERNEN SIE NICHT DIE ABDECKUNG (ODER RÜCKSEITE). DIE BAUTEILE IM GERÄTEINNEREN BEDÜRFE NICHT DER WARTUNG DURCH DEN NUTZER. WENDEN SIE SICH IM WARTUNGS-/REPARATURFALL AN DEN QUALIFIZIERTEN SERVICE.

Das Blitzsymbol mit Pfeilspitze in einem gleichseitigen Dreieck weist den Benutzer auf das Vorhandensein einer nicht isolierten „gefährlichen elektrischen Spannung“ im Geräteinneren hin, deren Stärke ausreichen kann, um für Personen ein Stromschlagrisiko darzustellen.

Das Ausrufezeichen in einem gleichseitigen Dreieck weist den Benutzer auf wichtige Bedienungs- und Wartungs- (Reparatur-) Anweisungen in den Dokumentationen hin, die dem Produkt beiliegen.

WARNUNG: ZUR VERMEIDUNG VON BRAND ODER STROMSCHLAG DARF DIESES GERÄT NICHT REGEN ODER FEUCHTIGKEIT AUSGESETZT WERDEN.

WICHTIGER HINWEIS

- ENTFERNEN SIE NICHT DAS GEHÄUSE, UM DIE INTERNE ELEKTRONIK FREIZULEGEN. IM GERÄTEINNEREN BEFINDEN SICH KEINE BAUTEILE, DEREN WARTUNG VOM NUTZER VORZUNEHMEN IST.
- SOLLTEN FUNKTIONSTÖRUNGEN AUFTRETEN, KONTAKTIEREN SIE DEN HÄNDLER, BEI DEM SIE DAS GERÄT ERWORBEN HABEN UND BITTEN SIE UM EINEN SERVICETERMIN. VERWENDEN SIE DAS PRODUKT ERST WIEDER, WENN DIE REPARATUR DURCHFÜHRT WURDE.
- DIE VERWENDUNG VON BEDIENELEMENTEN, EINSTELLUNGEN SOWIE DAS ABWEICHEN VON DEN IN DIESEM HANDBUCH BESCHRIEBENEN VERFAHRENSWEISEN KANN ZU GESUNDHEITS-GEFÄHRDENDER STRAHLENBELASTUNG FÜHREN.

- 1) Lesen Sie diese Hinweise.
- 2) Bewahren Sie diese Anweisungen auf.
- 3) Beachten Sie alle Warnungen.
- 4) Befolgen Sie alle Anweisungen.
- 5) Elektrische Geräte sollten nie in der Nähe von Wasser betrieben werden.

- 6) Verwenden Sie zum Reinigen stets ein trockenes Tuch.
- 7) Achten Sie darauf, dass Belüftungsöffnungen nicht verdeckt sind. Beachten Sie bei der Installation die entsprechenden Anweisungen des Herstellers.
- 8) Vermeiden Sie Aufstellungsorte in der Nähe von Wärmequellen, wie Heizkörpern, Wärmespeichern, Öfen, Herden oder anderen Geräten (Inklusive Verstärkern), die Wärme abstrahlen.
- 9) Umgehen Sie nie die Sicherheitsfunktionen eines verpolungssicheren oder geerdeten Steckers. Verpolungssichere Stecker besitzen zwei Stromkontakte, von denen einer breiter ist als der andere. Geerdete Stecker (Schutzkontaktstecker) besitzen zwei Stromkontakte sowie einen dritten Erdungskontakt. Beide Steckerausführungen dienen der Sicherheit. Falls der vorhandene Stecker nicht in die verwendete Steckdose passt, lassen Sie den Stecker durch einen Elektriker austauschen.
- 10) Achten Sie insbesondere im Bereich von Steckern, Steckdosen sowie dem Netzkabelauslass/-anschluss darauf, dass nicht auf das Netzkabel getreten oder das Kabel eingeklemmt werden kann.
- 11) Verwenden Sie nur vom Hersteller zugelassene Zubehöartikel.
- 12) Verwenden Sie ausschließlich vom Hersteller empfohlene oder beim Gerätekauf erworbene Rollwagen, Halterungen, Stative, Tische usw. Achten Sie bei Verwendung eines Rollwagens darauf, dass Wagen und Gerät nicht umfallen und Sie verletzen.
- 13) Trennen Sie Ihr Audiosystem während eines Gewitters oder längerer Nichtverwendung vom Spannungsnetz.
- 14) Überlassen Sie alle Reparaturen/Wartungsarbeiten qualifiziertem Fachpersonal. Reparatur oder Wartung sind erforderlich, wenn eine Beschädigung jeglicher Art vorliegt. Beispielsweise, wenn das Netzkabel oder der Netzstecker beschädigt sind, Flüssigkeit oder Gegenstände ins Geräteinnere gelangt sind, das Gerät Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt war, nicht mehr ordnungsgemäß funktioniert oder fallen gelassen wurde.



- Es wird auch dann ein geringer Ruhestrom aus dem Netz bezogen, wenn sich der POWER- oder STANDBY/ON-Schalter nicht in der ON-Position befindet.
- Der Netzstecker dient als Verbindungs-/Trennglied zur Spannungsversorgung. Achten Sie darauf, dass er stets in einwandfreiem Zustand ist.
- Achten Sie bei der Verwendung von Kopfhörern auf Ihr Gehör. Zu hoher Schalldruck von Ohr- oder Kopfhörern kann Hörschäden oder Hörverlust verursachen.

WICHTIGER HINWEIS

- Vermeiden Sie die Einwirkung von Tropf- oder Spritzwasser.
- Stellen Sie niemals Vasen oder andere mit Flüssigkeiten gefüllte Gefäße auf das Gehäuse.
- Eine Installation in geschlossenen Regalsystemen oder ähnlichen Möbelstücken ist nicht zulässig.
- Wählen Sie einen Betriebsort in der Nähe der Wandsteckdose, so dass der Netzstecker jederzeit zugänglich ist.

WICHTIGER HINWEIS

Änderungen oder Modifikationen, die nicht ausdrücklich von der die Konformität zertifizierenden Stelle genehmigt sind, können zum Erlöschen der Betriebserlaubnis führen.

Für Kunden in Europa

Entsorgung von elektrischen sowie elektronischen Altgeräten und Batterien

- a) Sofern ein Produkt, die Verpackung und/oder die begleitende Dokumentation durch das Symbol einer durchgestrichenen Abfalltonne gekennzeichnet ist, unterliegt dieses Produkt den europäischen Richtlinien 2002/96/EC und/oder 2006/66/EC sowie nationalen Gesetzen zur Umsetzung dieser Richtlinien.
- b) Diese Richtlinien und Gesetze schreiben vor, dass Elektro- und Elektronik-Altgeräte sowie Batterien und Akkus nicht in den Hausmüll (Restmüll) gelangen dürfen. Um die fachgerechte Entsorgung, Aufbereitung und Wiederverwertung sicherzustellen, sind Sie verpflichtet, Altgeräte und entladene Batterien/Akkus an den dafür vorgesehenen Orten zu entsorgen.
- c) Durch die ordnungsgemäße Entsorgung solcher Geräte, Batterien und Akkus leisten Sie einen Beitrag zur Einsparung wertvoller Rohstoffe und verhindern potenziell schädliche Auswirkungen auf die Gesundheit der Allgemeinheit und die Umwelt, die durch falsche Abfallentsorgung entstehen können. Die Entsorgung ist für Sie kostenlos.
- d) Falls der Gehalt an Blei (Pb), Quecksilber (Hg) und/oder Cadmium (Cd) in Batterien/Akkus die in der Richtlinie zur Batterieentsorgung (2006/66/EC) angegebenen, zulässigen Höchstwerte übersteigen, wird die Bezeichnung des entsprechenden chemischen Elements oder der Elemente unterhalb der durchgestrichenen Abfalltonne angegeben.
- e) Weitere Informationen zur Wertstoffsammlung und Wiederverwertung von Altgeräten, Batterien und Akkus erhalten Sie bei Ihrer Stadtverwaltung, dem für Sie zuständigen Abfallentsorgungsunternehmen oder der Verkaufsstelle, bei der Sie das Produkt erworben haben.

Europamodell

Dieses Produkt entspricht den Anforderungen europäischer Richtlinien sowie anderen Verordnungen der Kommission.

Apple, Mac, OS X und macOS are trademarks of Apple Inc.

Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Andere Firmen- und Produktnamen in diesem Dokument sind Warenzeichen oder eingetragene Warenzeichen der jeweiligen Eigentümer.

Inhaltsverzeichnis

Vielen Dank, dass Sie sich für ein Produkt von TEAC entschieden haben.

Bitte lesen Sie dieses Handbuch sorgfältig durch, damit Sie Ihr Gerät optimal verwenden können.

Bewahren Sie das Handbuch an einem sicheren Ort auf, damit Sie zu einem späteren Zeitpunkt darauf zurückgreifen können.

| | |
|--|----|
| WICHTIGE SICHERHEITSHINWEISE | 34 |
| Vorbereitung | 35 |
| Handhabung von Schallplatten | 35 |
| Inbetriebnahme des Plattenspielers | 35 |
| Staubabdeckung | 37 |
| Auswechseln des Tonabnehmersystems | 37 |
| Anmerkungen zu Tonabnehmern | 38 |
| Bezeichnungen und Funktionen | 38 |
| Anschlüsse | 38 |
| Grundlegende Bedienung | 39 |
| Aufnahme mit einem Computer | 40 |
| Fehlerbehebung | 41 |
| Spezifikationen | 41 |

Vorbereitung

Lieferumfang

Überprüfen Sie, ob die Verpackung alle im Folgenden aufgeführten Zubehörteile enthält. Sofern etwas fehlt oder auf dem Transportweg beschädigt wurde, setzen Sie sich bitte mit Ihrem Händler in Verbindung.

- Tellerauflage aus Fliz × 1
- 45er/Single-Adapter × 1
- Gegengewicht × 1
- Systemträger × 1
 - Audio-Technica VM Stereo-Tonabnehmersystem (Doppelmagnet, entspricht AT100E) vorinstalliert
- Plattenteller × 1
- Staubabdeckung × 1
- Scharniergelenke für Staubabdeckung × 2
- Cinch-Audiokabel mit Masseanschluss × 1
- Netzteil (GPE053A-V120050-Z) × 1
- Bedienungsanleitung (dieses Dokument) × 1

Hinweise zum Betrieb

- Legen Sie keine Gegenstände auf die Staubabdeckung, da diese insbesondere bei der Wiedergabe durch Vibrationen Geräusche verursachen oder herunterfallen könnten.
- Vermeiden Sie die Aufstellung in direktem Sonnenlicht, in der Nähe von Wärmequellen oder an ähnlichen Orten. Stellen Sie das Gerät nicht auf einen Verstärker oder andere wärmeproduzierende Geräte, um zu verhindern, dass die Betriebstemperatur dieses Geräts überschritten wird, da dies zu Verfärbungen und Verformungen des Gehäuses sowie zu Fehlfunktionen führen kann.

Die internationale Webseite von TEAC

Updates für das Gerät stehen auf der internationalen Webseite von TEAC zum Download bereit: <http://teac-global.com/>

- 1) Öffnen Sie die Internationale Webseite von TEAC.
- 2) Klicken Sie im Bereich „Downloads“ auf die gewünschte Sprache, um die Download-Seite für diese Sprache zu öffnen.

ANMERKUNG

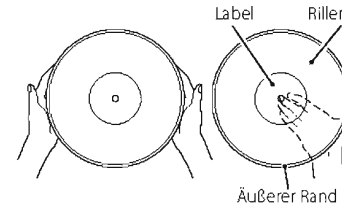
Sollte die gewünschte Sprache nicht angezeigt werden, klicken Sie auf „Other Languages“.

- 3) Wählen Sie im Produkt-Bereich den Produktnamen aus. (Anwender in Europa wählen stattdessen den Produktnamen im Bereich „Products“ aus.)
- 4) Wählen Sie die benötigten Updates aus, um sie herunterzuladen.

Handhabung von Schallplatten

Umgang mit Schallplatten

Wenn Sie eine Schallplatte halten oder aus Ihrer Hülle nehmen, vermeiden Sie es, die Rillen zu berühren, indem Sie die Platte entweder mit einer Hand am Label und am Rand oder mit beiden Händen am Rand halten.



Reinigung

- Fingerabdrücke und Staub können bei der Wiedergabe zu Störgeräuschen und Aussetzern führen und darüber hinaus die Schallplatte und die Nadel beschädigen. Verwenden Sie zum Reinigen einen handelsüblichen Schallplattenreiniger. Verwenden Sie in keinem Fall Verdüner, sondern ausschließlich spezielle Schallplattenreiniger. Andere chemische Mittel können die Oberfläche der Schallplatte beschädigen.
- Wenn Sie Schallplattenreiniger verwenden, wischen Sie in kreisenden Bewegungen entlang der Rillen über die Schallplatte.



Hinweise zum Betrieb

- Lassen Sie Schallplatten nicht in direktem Sonnenlicht, an sehr feuchten oder heißen Orten liegen. Eine längere Lagerung an solchen Orten kann zu Verformungen, Schimmelbildung und anderen Schäden an der Schallplatte führen.
- Legen Sie Schallplatten nicht aufeinander und legen Sie keine schweren Gegenstände darauf. Stellen Sie Schallplatten nicht für längere Zeit schräg auf, da auch dies zu Verformungen und anderen Schäden führen kann.
- Bringen Sie keine harten Gegenstände mit den Rillen in Kontakt, da es dabei zu Kratzern kommen kann.
- Stecken Sie Ihre Schallplatten nach dem Abspielen zur Aufbewahrung wieder in Ihre Hüllen. Eine ungeschützte Schallplatte kann sich verformen oder verkratzen.
- Spielen Sie keine Schallplatte ab, die einen Sprung hat.

Inbetriebnahme des Plattenspielers

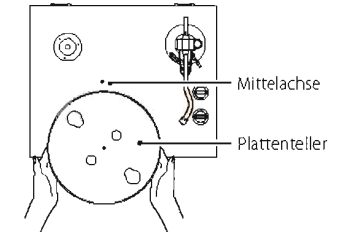
Schalten Sie das Gerät während der Inbetriebnahme in den Standbymodus (F auf Seite 39).

1 Stellen Sie den Plattenspieler auf einer ebenen Fläche auf.

Platzieren Sie das Gerät auf einer ebenen Fläche, sodass die Schallplatte fehlerfrei abgetastet werden kann.

2 Setzen Sie den Plattenteller ein.

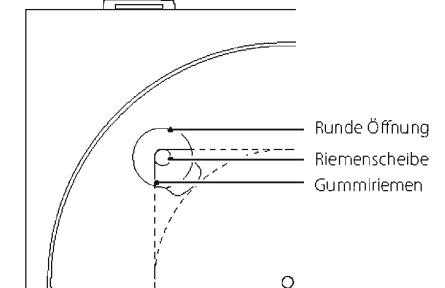
Richten Sie den Plattenteller an der Mittelachse aus und setzen Sie ihn ein.



3 Legen Sie den Riemen um das Antriebsrad.

Ziehen Sie den um den unteren Plattenteller gespannten Riemen mit einem Finger durch die runde Öffnung und legen Sie diesen um das Antriebsrad.

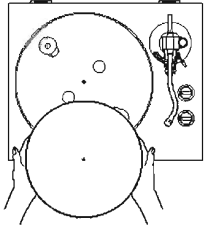
- Achten Sie darauf, dass der Gummiriemen nicht verdreht ist.
- Prüfen Sie den korrekten und sicheren Sitz des Riemens, indem Sie den Plattenteller mehrfach mit der Hand drehen.



Fortsetzung auf der nächsten Seite →

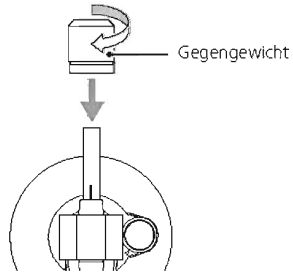
4 Legen Sie die Filzauflage auf den Plattenteller.

Legen Sie die mitgelieferte Teller Auflage aus Filz auf den Teller des Plattenspielers, bevor Sie diesen benutzen.



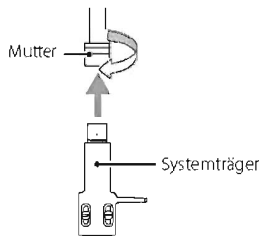
5 Installieren Sie das Gegengewicht.

Schieben Sie das Gegengewicht über das Ende des Tonarms und schrauben Sie es mit sanftem Druck im Uhrzeigersinn fest.

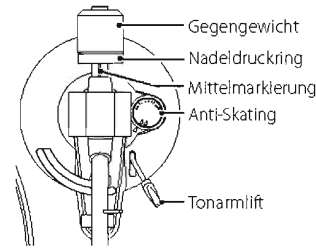


6 Installieren Sie den Systemträger.

Stecken Sie den Systemträger am anderen Ende des Tonarms ein und sichern Sie ihn mit der Mutter.

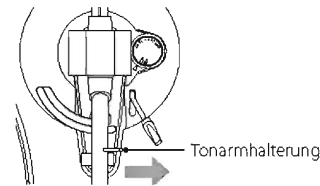


Ausbalancieren des Tonarms und Einstellen des Auflagedrucks der Nadel



1 Stellen Sie das Anti-Skating-Rad auf null.

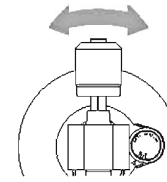
2 Bewegen Sie den Tonarm ein wenig nach rechts, um ihn zu entriegeln.



3 Heben Sie den Tonarm mit dem Lifthebel an und schieben Sie ihn dann ein Stück nach links.

4 Senken Sie den Lifthebel.

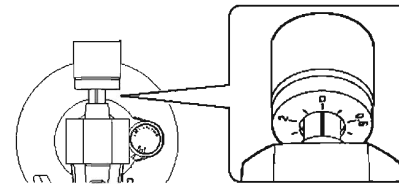
5 Justieren Sie das Gegengewicht durch Drehen so, dass der Tonarm waagrecht ausgerichtet ist.



- Klappen Sie zuerst die Schutzkappe nach unten, um den Tonabnehmer während der Einstellung zu schützen.
- Achten Sie darauf, dass die Nadel nicht mit dem Gerät in Berührung kommt.

6 Bringen Sie den Tonarm wieder in seine Ausgangsposition und sichern Sie ihn mit der Klammer.

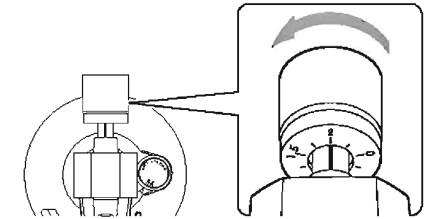
7 Drehen Sie den Ring für den Nadeldruck so, dass die Markierungslinie der Mittelstellung auf „0“ ausgerichtet ist.



- Drehen Sie dabei ausschließlich den Ring. Stellen Sie sicher, dass das Gegengewicht nicht verdreht wird.

8 Drehen Sie nun das Gegengewicht und stellen Sie auf der Skala für den Nadeldruckring den für den Tonabnehmer angegebenen Wert ein.

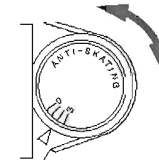
- Der Anpressdruck für den mitgelieferten Tonabnehmer beträgt 1,4 g. Wenn Sie den mitgelieferten Tonabnehmer einsetzen, stellen Sie entsprechend auf der Gegengewichtsskala den Wert 1,4 ein.



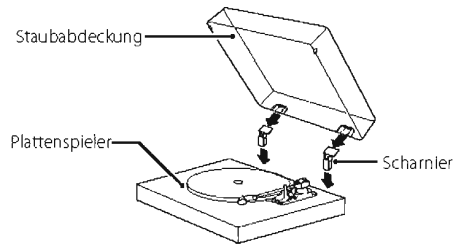
- Drehen Sie es nach rechts von 0 in Richtung 0,5 und 1,0.

9 Stellen Sie das Anti-Skating-Rad ein.

Beginnen Sie bei Position 1,4 und stellen Sie es während der Wiedergabe einer Platte (Seite 39) so ein, dass die Lautstärke links und rechts ausgewogen ist.



Anbringen der Staubabdeckung



1 Führen Sie die Scharniere vollständig in die linke und rechte Scharnieröffnung auf der Rückseite des Plattenspielers ein.

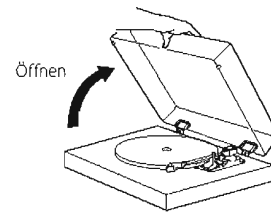
2 Richten Sie die Scharnieroberteile auf die Öffnungen der Staubabdeckung aus und führen Sie sie ein.

- Schließen Sie die Staubabdeckung während der Wiedergabe. So verhindern Sie ein Verspringen der Nadel durch unbeabsichtigtes Berühren und blockieren die Einwirkung externer Schallquellen. Zudem reduzieren Sie etwaige Nebengeräusche.
- Verzichten Sie darauf, die Abdeckung während der Wiedergabe zu öffnen oder zu schließen. Diese könnte beispielsweise dazu führen, dass die Nadel verspringt.
- Um das Eintreten von Staub zu vermeiden, halten Sie die Abdeckung nach Möglichkeit stets geschlossen.

Abnehmen der Staubabdeckung

Halten Sie die Staubabdeckung an beiden Seiten und heben Sie sie leicht an, um die Abdeckung zusammen mit den Scharnieren aus dem Gerät herauszuziehen. Anschließend ziehen Sie die Scharniere aus der Staubabdeckung.

Öffnen und Schließen der Abdeckung



Öffnen

Fassen Sie die Staubabdeckung am vorderen Rand an und klappen Sie sie vollständig nach oben. Die Staubabdeckung bleibt nun in dieser Position geöffnet.

Schließen

Klappen Sie die Staubabdeckung wieder nach unten, bis sie geschlossen ist.

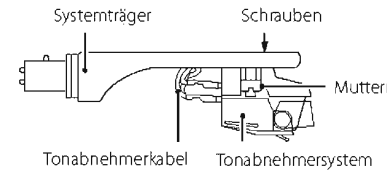
⚠ Achten Sie beim Öffnen und Schließen darauf, Ihre Finger nicht einzuklemmen.

Um das Tonabnehmersystem zu wechseln, ziehen Sie zuerst den Systemträger vom Tonarm ab.

- Das installierte Tonabnehmersystem ist baugleich mit dem Audio-Technica AT100EVM. (Die Ersatznadel für das installierte System ist grün und nicht mit dem Audio-Technica-Logo gekennzeichnet.)

ANMERKUNG

- VM-Tonabnehmersysteme haben dieselben Eigenschaften wie MM-Systeme.
- Wir empfehlen, die Schutzkappe vor den Tonabnehmer zu klappen, bevor Sie fortfahren.

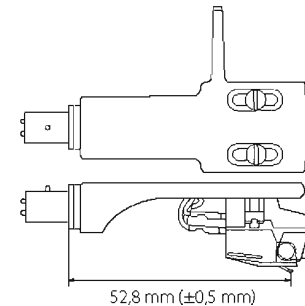


1 Ziehen Sie die Tonabnehmerkabel vom System ab.

2 Lösen Sie die Schrauben und entfernen Sie das Tonabnehmersystem.

3 Installieren Sie das neue System und befestigen Sie die Schrauben.

In der Abbildung unten sind die Positionen der Schrauben nach Abschluss der Montage dargestellt.



4 Verbinden Sie die Tonabnehmerkabel mit dem System.

- Die Zuordnung zwischen den Signalen und Kabelfarben ist unten dargestellt.

| Signal | Farbe |
|-----------------|-------|
| Linker Kanal + | Weiß |
| Linker Kanal - | Blau |
| Rechter Kanal + | Rot |
| Rechter Kanal - | Grün |

5 Balancieren Sie den Tonarm aus und stellen Sie den Auflagedruck der Nadel ein.

Folgen Sie den Anleitungen im Abschnitt „Ausbalancieren des Tonarms und Einstellen des Auflagedrucks der Nadel“ auf Seite 36.

Anmerkungen zu Tonabnehmern

- Sofern die Nadel beschädigt oder verbogen wurde, kann diese der Rille auf der Schallplatte nicht mehr exakt folgen. Da eine verbogene Nadel zudem zu Fehlfunktionen und Schäden an der Schallplatte führen kann, behandeln Sie die Nadeln bitte stets mit besonderer Sorgfalt.
- Verwenden Sie zum Reinigen grundsätzlich einen handelsüblichen Nadelreiniger für Schallplatten. Die Verwendung anderer Reinigungsmittel als spezifische Nadelreiniger für Schallplatten kann zu einer Beschädigung der Nadel führen.

Austauschen der Nadel

Sofern die Nadelspitze Zeichen von Abnutzung aufweist, verschlechtert sich nicht nur die Klangqualität, sondern es besteht auch die Gefahr möglicher Schäden an den Schallplatten. Ersetzen Sie die Nadel nach etwa 300 Spielstunden mit einem von uns spezifizierten Ersatztyp.

Verwenden Sie bitte eine Ersatznadel vom Typ Audio-Technica ATN100E.

- Das installierte Tonabnehmersystem ist baugleich mit dem Audio-Technica AT100E VM. (Die Ersatznadel für das installierte System ist grün und nicht mit dem Audio-Technica-Logo gekennzeichnet.)

ANMERKUNG

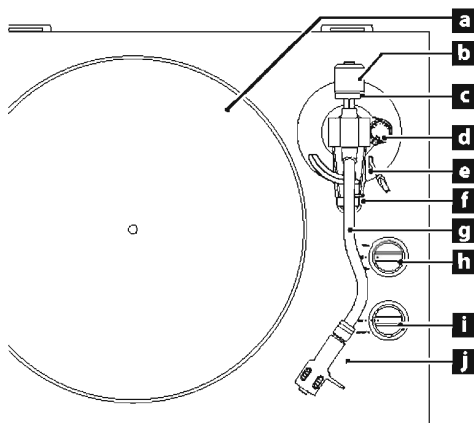
VM-Tonabnehmersysteme haben dieselben Eigenschaften wie MM-Systeme.

- Folgen Sie beim Austausch der Anleitung, die der Ersatznadel beiliegt.

VORSICHT

- Um plötzliche laute Geräusche zu vermeiden, schalten Sie das Gerät in den Standbymodus, bevor Sie mit dem Tausch der Nadel beginnen.
- Achten Sie darauf, sich nicht zu verletzen oder das Gerät zu beschädigen.
- Sorgen Sie dafür, dass keine kleinen Kinder Zugriff auf die Nadeln haben, da sie diese verschlucken könnten.
- Beachten Sie, dass verbogene Nadeln, die beispielsweise auf unzureichende Sorgfalt des Anwenders oder externe Ursachen zurückzuführen sind, nicht von der Gewährleistung abgedeckt werden.

Bezeichnungen und Funktionen



a Plattenteller

Legen Sie die Schallplatten mittig auf den Plattenteller.

b Gegengewicht

c Nadeldruckring

d Anti-Skating-Rad

e Tonarmlift

Hiermit bewegen Sie die Nadel auf- und abwärts. Wir empfehlen die Nutzung des Tonarmlifts, um eine Beschädigung der Nadel und der Schallplatten zu vermeiden. Seine Nutzung ist sicherer und zuverlässiger als das manuelle Aufsetzen der Nadel mit der Hand.

f Tonarm-Stütze

Auf dieser Stütze können Sie den Tonarm ablegen. Vor der Wiedergabe einer Schallplatte schieben Sie die Tonarmsicherung nach rechts, um diese zu entriegeln.

g Tonarm

h Drehzahl-Regler

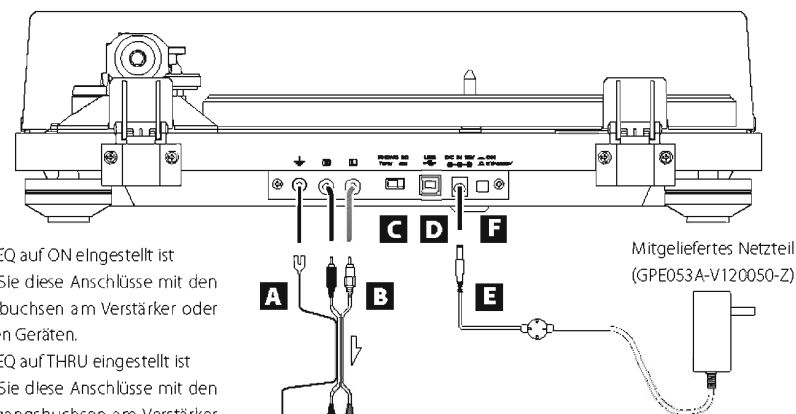
Wählen Sie die auf der Schallplatte angegebene Umdrehungsgeschwindigkeit.

i START/STOP Drehknopf

j Systemträger

Hierbei handelt es sich um einen Universalträger, bei dem sich das System besonders einfach austauschen lässt.

Anschlüsse



Wenn PHONO EQ auf ON eingestellt ist
Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Line-Audiobuchsen am Verstärker oder an ähnlichen Geräten.

Wenn PHONO EQ auf THRU eingestellt ist
Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Phono-Eingangsbuchsen am Verstärker oder an ähnlichen Geräten.

Mitgeliefertes Netzteil
(GPE053A-V120050-Z)

⚠️ Vorsichtsmaßnahmen bei der Verkabelung

- Verbinden Sie das Gerät erst dann mit dem Stromnetz, wenn Sie alle Anschlüsse hergestellt haben.
- Lesen Sie alle Handbücher der Geräte, die Sie anschließen, sorgfältig durch und verkabeln Sie diese wie beschrieben.

A Masseanschluss (⊖)

Über das Massekabel des mitgelieferten Cinch-Audiokabels verbinden Sie diesen Massepunkt beispielsweise mit dem Masseanschluss des Verstärkers.

- Hierbei handelt es sich allerdings NICHT um einen elektrischen Schutzleiter.

Wenn Rauschen über die Lautsprecher ausgegeben wird

Wenn der Nebengeräuschanteil nicht abnimmt, nachdem Sie das Massekabel des Audiokabels mit dem Masseanschluss am Gerät verbunden haben, trennen Sie das Massekabel wieder und überprüfen die Audiowiedergabe erneut. Nutzen Sie dann die Methode (angeschlossen/getrennt), bei der die wenigsten Nebengeräusche auftreten.

B Analoge Audioausgänge (L/R)

Über diese Anschlüsse wird das analoge Audiosignal ausgegeben.

Über den Schalter PHONO EQ wählen Sie dabei die Art des Ausgangssignals.

Nutzen Sie das mitgelieferte Audiokabel (oder ein anderes handelsübliches Audiokabel), um weitere Geräte mit dem Ausgang dieses Geräts zu verbinden.

C Schalter PHONO EQ (Einstellung für die Audioausgabe)

ON

In dieser Stellung werden die Signale über den internen Phono-Vorverstärker entzerrt, der auch MM-Systeme unterstützt, und über die analogen Audioausgänge (L/R) ausgegeben.

THRU

In dieser Stellung wird das Signal des MC- oder MM-Systems direkt über die analogen Audioausgänge (L/R) ausgegeben.

Schließen Sie dieses Gerät dazu an ein Gerät mit Phonoeingängen an, wie beispielsweise einen Phono-Vorverstärker oder einen Verstärker mit Phonoeingängen.

- Ab Werk ist dieser Schalter auf ON voreingestellt.
- Stellen Sie diesen Schalter auf ON, wenn ein Gerät an den USB-Port angeschlossen ist.

WICHTIGER HINWEIS

In der Stellung ON sollten Sie in keinem Fall die PHONO-Eingänge eines Verstärkers verwenden. Andernfalls wird ein besonders lautes Signal über die Lautsprecher und Kopfhörer ausgegeben, das externe Geräte oder auch das Gehör schädigen kann.

D USB-Port (USB-Typ B)

Der Klang der Schallplatte wird mit einer Auflösung von bis zu 48 kHz und 16 Bit digitalisiert und ausgegeben. Für die Aufnahme auf einem Computer verbinden Sie das Gerät über ein USB-Kabel mit einem entsprechenden Computeranschluss (Seite 40).

E Netzteilanschluss

Nachdem Sie die gesamte Verkabelung vorgenommen haben, schließen Sie das mitgelieferte Netzteil (GPE053A-V120050-Z) an dieser Buchse an.

Stellen Sie sicher, dass das Netzteil an einer Netzsteckdose angeschlossen ist.

- Wenn Sie das Gerät für einen längeren Zeitraum nicht verwenden, trennen Sie das Netzteil vom Stromnetz.
- Verwenden Sie ausschließlich das Netzteil (GPE053A-V120050-Z) aus dem Lieferumfang.

⚠ Schließen Sie das Netzteil nur an einer Netzsteckdose mit der richtigen Spannung an. Der Anschluss an einer Steckdose mit der falschen Netzspannung kann zu einem Brand oder Stromschlag führen.

⚠ Fassen Sie das Netzteil beim Einstecken oder Abziehen immer am Stecker selbst an. Ziehen oder reißen Sie niemals am Stromkabel selbst.

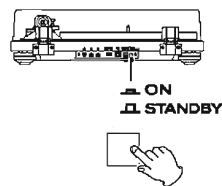
⚠ Wenn Sie das Gerät für einen längeren Zeitraum nicht verwenden, trennen Sie das Netzteil vom Stromnetz.

F Taste STANDBY/ON

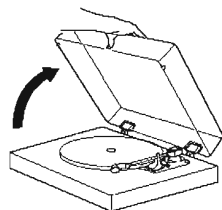
Mit der STANDBY/ON-Taste schalten Sie das Gerät ein oder aktivieren den Standbymodus.

Wiedergabe von Schallplatten

1 Drücken Sie die Taste STANDBY/ON auf der Geräterückseite, um das Gerät einzuschalten.

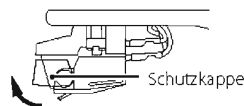


2 Öffnen Sie langsam die Staubabdeckung.



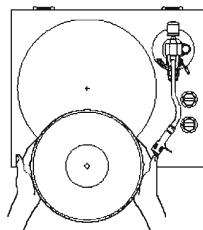
⚠ Achten Sie beim Öffnen und Schließen der Abdeckung darauf, Ihre Finger nicht einzuklemmen.

3 Klappen Sie die Schutzkappe des Tonabnehmers nach oben.



4 Legen Sie die Schallplatte auf den Plattenteller.

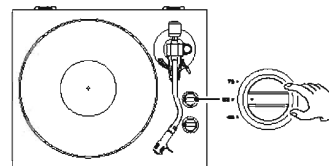
Wenn Sie eine Vinyl-Single mit 45 Umdrehungen pro Minute ohne Single-Stern wiedergeben möchten, verwenden Sie den mitgelieferten Puck-Adapter.



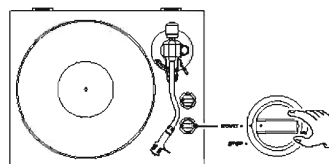
Grundlegende Bedienung

5 Wählen Sie die auf der Schallplatte angegebene Umdrehungsgeschwindigkeit.

Die Drehzahl kann auf 33 1/3, 45 oder 78 UpM eingestellt werden.

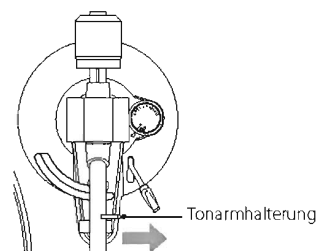


6 Bewegen Sie den Drehknopf START/STOP auf die Position START, um den Plattenteller zu starten.

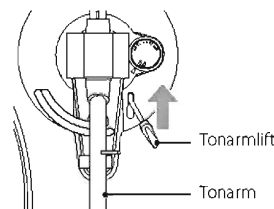


- Wenn Sie den Drehknopf START/STOP auf die Position START stellen, beginnt sich der Plattenteller zu drehen. Gleichzeitig leuchtet die blaue START-Anzeige.

7 Bewegen Sie den Tonarm ein wenig nach rechts, um ihn zu entriegeln.

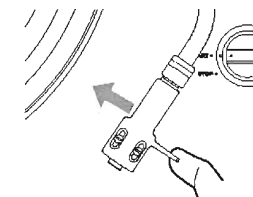


8 Heben Sie den Tonarm mit dem Lifthebel an.



- Sie können den Tonarm auch ohne den Tonarmlift anheben und die Nadel dann vorsichtig manuell auf der Schallplatte aufsetzen, um mit der Wiedergabe zu beginnen.

9 Richten Sie den Tonarm auf den Titel aus, den Sie wiedergeben möchten.



10 Senken Sie den Lifthebel.

Senken Sie den Tonarm langsam ab, bis die Nadelspitze die Platte berührt und die Wiedergabe beginnt.

- Schließen Sie die Staubabdeckung während der Wiedergabe. So reduzieren Sie die Gefahr von Nebengeräuschen, indem Sie ein Springen der Nadel durch unbeabsichtigte Berührungen verhindern und die mögliche Einflussnahme externer Schallquellen blockieren.

⚠ Legen Sie keine Gegenstände auf die Staubabdeckung,

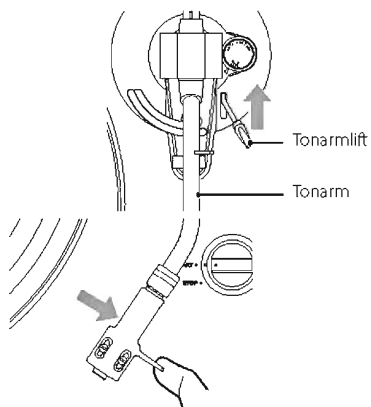
ACHTUNG

- Berühren Sie während der Wiedergabe weder den Tonarm noch die Schallplatte. Sie könnten andernfalls die Nadelspitze beschädigen oder Kratzer auf der Schallplatte verursachen.
- Halten Sie den Plattenteller nicht gewaltsam während der Wiedergabe an. Da es sich bei diesem Produkt nicht um einen Plattenspieler für den DJ-Einsatz handelt (Direktantrieb), können entsprechende Aktionen zu Fehlfunktionen führen.

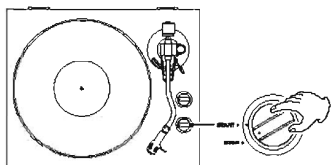
Bei zu hoher Lautstärke kann es während der Wiedergabe zu Rückkopplungen kommen. In diesem Fall senken Sie die Lautstärke des Verstärkers ab.

Nach dem Ende der Wiedergabe

- 1 Heben Sie den Tonarm bzw. die Nadel mit dem Tonarmlift von der Schallplatte ab und bewegen Sie den Tonarm in die Ausgangsposition zurück.



- 2 Bewegen Sie den Drehknopf START/STOP auf die Position STOP, um den Plattenteller anzuhalten.



- Die blaue START-Anzeige erlischt und der Plattenteller hält an.

Eine Schallplatte kann digital auf einen Computer aufgenommen werden, indem Sie dieses Gerät über ein handelsübliches USB-Kabel mit einem USB-Anschluss am Computer verbinden.

Unterstützte Betriebssysteme

Über USB können Computer mit folgenden Betriebssystemen an diesem Gerät angeschlossen werden (Stand Oktober 2016).

Windows

- Windows 7 (32/64 Bit)
- Windows 8 (32/64 Bit)
- Windows 8.1 (32/64 Bit)
- Windows 10 (32/64 Bit)

Mac

- OS X Lion (10.7)
- OS X Mountain Lion (10.8)
- OS X Mavericks (10.9)
- OS X Yosemite (10.10)
- OS X El Capitan (10.11)
- macOS Sierra (10.12)

Für den Einsatz mit anderen Betriebssystemen kann keine Gewähr übernommen werden.

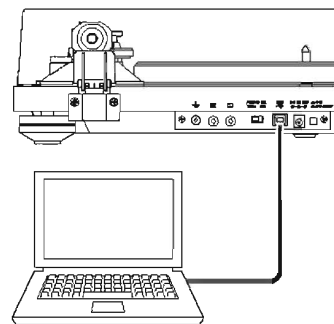
- Das Gerät wird von dem in die Windows- und Mac-Betriebssysteme integrierten Treiber unterstützt, sodass kein spezieller Treiber installiert werden muss.

Anschluss an einen Computer

- 1 Schalten Sie den Computer ein.

Das Betriebssystem muss fehlerfrei arbeiten.

- 2 Verbinden Sie das Gerät über das USB-Kabel mit dem Computer.



- Verwenden Sie ein handelsübliches USB-Kabel mit einem Ferritkern.

- 3 Schalten Sie das Gerät mit der Taste **STANDBY/ON** ein.

Der Computer erkennt den USB-Port des Geräts automatisch und meldet diesen als „USB Audio CODEC“ an.

- Um das Audiosignal des Plattenspielers auf dem Computer aufzunehmen, müssen Sie zuerst eine geeignete Audio-Software installieren. Sie können die gewünschte Aufnahme-Software separat kaufen oder eine frei erhältliche Software wie Audacity (<http://www.audacityteam.org/>) aus dem Internet herunterladen. TEAC leistet jedoch keinen Support für die kostenfreie Software Audacity.
- Unterlassen Sie bei der Aufnahme mit dem Computer folgende Dinge. Es kann andernfalls zu Fehlfunktionen kommen. Beenden Sie in jedem Fall die Aufnahme-Software auf dem Computer, bevor Sie eine der folgenden Aktionen ausführen.
 - Trennen der USB-Verbindung
 - Aktivieren des Standbymodus

Computer-Einstellungen

Das folgende Beispiel erläutert die für Windows 7 empfohlenen Einstellungen.

- 1 Öffnen Sie die Systemsteuerung über das Start-Menü.
- 2 Klicken Sie auf „Sound“.
- 3 Klicken Sie auf den Reiter „Aufnahme“ und stellen Sie sicher, dass „USB Audio CODEC“ im Abschnitt „Als Standard“ eingestellt ist.
- 4 Wählen Sie „Microphone USB Audio CODEC“ und klicken Sie auf die Schaltfläche „Eigenschaften“.
- 5 Klicken Sie auf den Reiter „Erweitert“.

- 6 Wählen Sie nun aus dem Einblendmenü „Standardformat“ die gewünschte Aufnahmequalität (Format).

TIPP

Um mit der für dieses Gerät maximalen Audioqualität aufzunehmen, wählen Sie „2 Kanal, 16 Bit, 48000 Hz“. Ein Herabsetzen der Abtastfrequenz führt zu einer Verkleinerung des Speicherbedarfs der Dateien, aber auch zu Einbußen in der Klangqualität.

- 7 Klicken Sie auf „OK“.

Bei Problemen mit dem Gerät überprüfen Sie zuerst die folgenden Punkte, bevor Sie den Service kontaktieren. Eventuell ist das Gerät gar nicht der Grund für das Problem. Stellen Sie zudem sicher, dass die angeschlossenen Geräte ordnungsgemäß verwendet werden.

Wenn weiterhin Fehler auftreten, wenden Sie sich zuerst an den Händler, bei dem Sie das Gerät gekauft haben.

Keine Stromversorgung.

- ➔ Stellen Sie sicher, dass das Netzteil an einer Netzsteckdose angeschlossen ist. Drücken Sie anschließend die STANDBY/ON-Taste, um das Gerät einzuschalten (Seiten 38 und 39).

Es erfolgt keine Tonausgabe.

- ➔ Bei Anschluss des Geräts über seine Audioausgänge an die Audioeingänge eines Verstärkers oder eines anderen Geräts stellen Sie den Schalter PHONO EQ (Einstellung für den Audio-Ausgang) auf ON (Seite 38).

Keine Wiedergabe möglich, viele Nebengeräusche.

- ➔ Klappen Sie die Schutzkappe nach oben (Seite 39).
- ➔ Fingerabdrücke und Staub auf einer Schallplatte können zu Nebengeräuschen und einem Springen der Nadel führen. Verwenden Sie zum Reinigen einen handelsüblichen Schallplattenreiniger (Seite 35).
- ➔ Säubern Sie die Nadelspitze (Seite 38).
- ➔ Sofern die Nadelspitze abgenutzt ist, ersetzen Sie diese (Seite 38). Die Nutzungsdauer der Nadel hängt von den Umgebungsbedingungen ab, sollte aber für gewöhnlich ca. 300 Stunden betragen.
- ➔ Stellen Sie das Gerät so weit wie möglich entfernt von Fernsehgeräten, Mikrowellen und anderen Geräten auf, die stark elektromagnetisch sind.

Bei der Wiedergabe einer Schallplatte kommt es zu Nebengeräuschen.

- ➔ Wenn der Auflagedruck der Nadel größer ist als für den Tonabnehmer empfohlen, kann es zu Nebengeräuschen kommen. Korrigieren Sie den Auflagedruck auf den spezifizierten Wert (Seite 36).

Die Tonhöhe stimmt nicht.

- ➔ Wählen Sie die auf der Schallplatte angegebene Umdrehungsgeschwindigkeit (Seite 39).

Die Wiedergabe springt.

- ➔ Durch Vibrationen kann die Wiedergabe springen. Stellen Sie das Gerät auf stabilem Untergrund auf.
- ➔ Säubern Sie die Schallplatte.
- ➔ Spielen Sie keine verkratzten Schallplatten ab.
- ➔ Balancieren Sie den Tonarm aus und stellen Sie den Auflagedruck der Nadel erneut ein (Seite 36). Die Nadel und damit die Wiedergabe kann springen, wenn der Nadelaufgedruck niedriger eingestellt wurde als für das Tonabnehmersystem spezifiziert.

Plattenteller

| | |
|------------------------------------|---|
| Antriebssystem | Riemenantrieb |
| Motor | Gleichstrommotor |
| Drehgeschwindigkeiten | 33 1/3 UpM, 45 UpM, 78 UpM |
| Abweichung der Drehgeschwindigkeit | $\pm 2\%$ |
| Gleichlaufschwankungen | 0,2% |
| Rauschabstand | 67 dB oder größer (A-gewichtet, 20 kHz LPF) |
| Plattenteller | Aluminium-Druckguss 30 cm Durchmesser |

Tonarm

| | |
|--|---|
| Tonarmtyp | Statisch ausbalancierter, S-förmiger Tonarm |
| Effektive Tonarmlänge | 223 mm |
| Einstellbereich für Nadel-Auflagedruck | 0 bis 5 g |
| Zulässiges Tonabnehmergewicht | 4,0 bis 8,0 g |

Tonabnehmersystem

| | |
|----------------------------|--|
| Typ | VM (entspricht MM) |
| Ausgangsspannung | 4,5 mV (1 kHz, 5 cm/s) |
| Auflagedruck | 1,4 g ($\pm 0,4$ g) |
| Tonabnehmergewicht | 6,5 g ($\pm 0,2$ g) |
| Gesamtgewicht Systemträger | 10 g (inkl. Schrauben, Muttern und Kabeln) |

- Die Nutzungsdauer der Nadel hängt von den Umgebungsbedingungen ab, sollte aber für gewöhnlich ca. 300 Stunden betragen.
- Das installierte Tonabnehmersystem ist baugleich mit dem Audio-Technica AT100E VM. (Die Ersatznadel für das installierte System ist grün und nicht mit dem Audio-Technica-Logo gekennzeichnet)
Anmerkung: VM-Tonabnehmersysteme haben dieselben Eigenschaften wie MM-Systeme.
- Ersatznadel-Modell: Audio-Technica ATN100E

Ausgangsspannung

| | |
|---------------|---|
| PHONO EQ THRU | 4,5 mV (1 kHz, 5 cm/s) ± 3 dB |
| PHONO EQ ON | 230 mV (-13 dBV) |
| Anschlüsse | Cinch |

USB-Anschluss

| | |
|---|--|
| Der USB-Anschluss kann über den USB-Bus des Computers mit Spannung versorgt werden (Full Speed) ... USB-Anschluss Typ B | |
| USB-Bus-Spannungsversorgung | 5 V, 500 mA |
| Abtastfrequenz | 8 kHz, 11,025 kHz, 16 kHz, 22,05 kHz, 32 kHz, 44,1 kHz, 48 kHz |
| Quantisierungswortbreite | 16 Bit |

Allgemein

| | |
|--|---|
| Spannungsversorgung Netzteil | |
| Eingang | Wechselstrom 100 bis 240 Volt, 50 bis 60 Hz |
| Ausgang | Gleichstrom 12 Volt, 500 mA |
| Leistungsaufnahme | |
| Standby | 0,5 W oder weniger |
| On (START) | 1,5 W oder weniger |
| Gewicht | 4,9 kg |
| Betriebstemperatur | 5 bis 35° C |
| Abmessungen (B x H x T, inkl. Überständen) | |
| Bei geschlossener Staubabdeckung | 420 x 117 x 356 mm |
| Bei geöffneter Staubabdeckung | 420 x 381 x 402 mm |
| Bei entfernter Staubabdeckung | 420 x 102 x 356 mm |

- Alle Leistungsdaten wurden bei 20° C ermittelt.

Lieferumfang

| | |
|---|-----|
| Tellerauflage aus Filz | × 1 |
| 45er/Single-Adapter | × 1 |
| Gegengewicht | × 1 |
| Systemträger | × 1 |
| Audio-Technica VM Stereo-Tonabnehmersystem (Doppelmagnet, entspricht AT100E) vorinstalliert | |
| Plattenteller | × 1 |
| Staubabdeckung | × 1 |
| Scharniergelenke für Staubabdeckung | × 2 |
| Cinch-Audiokabel mit Masseanschluss | × 1 |
| Netzteil (GPE053A-V120050-Z) | × 1 |
| Bedienungsanleitung (dieses Dokument) | × 1 |

- Spezifikationen und Design können ohne vorherige Ankündigung geändert werden.
- Gewicht und Abmessungen sind Näherungswerte.
- Alle Abbildungen in dieser Bedienungsanleitung können geringfügig von den Produktionsmodellen abweichen.

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN

CAUTELA: PER RIDURRE IL RISCHIO DI SCOSSE ELETTRICHE, NON RIMUOVERE IL COPERCHIO (O IL RETRO). NON CI SONO PARTI RIPARABILI ALL'INTERNO DESTINATE ALL'UTENTE. PER LE RIPARAZIONI RIVOLGERSI SOLO A PERSONALE QUALIFICATO.

Il simbolo di un fulmine appuntito dentro un triangolo equilatero avverte l'utente della presenza di "tensioni pericolose" non isolate all'interno del contenitore del prodotto che possono essere di intensità sufficiente per costituire un rischio di scossa elettrica alle persone.



Il punto esclamativo all'interno di un triangolo equilatero avverte l'utente della presenza di importanti istruzioni operative e di manutenzione nella documentazione che accompagna l'apparecchio.



AVVERTENZA: PER PREVENIRE IL PERICOLO DI INCENDI O DI FOLGORAZIONE, NON ESPORRE QUESTO APPARATO ALLA PIOGGIA O ALL'UMIDITÀ.

CAUTELA

- NON RIMUOVERE IL COPERCHIO O L'INVOLUCRO ESTERNO PER ESPORRE LE PARTI ELETTRICHE. ALL'INTERNO NON CI SONO PARTI RIPARABILI DALL'UTENTE.
- SE SI VERIFICANO PROBLEMI CON QUESTO PRODOTTO, CONTATTARE IL NEGOZIO DOVE È STATO ACQUISTATO L'APPARECCHIO PER UNA RIPARAZIONE. NON USARE IL PRODOTTO FINO A CHE NON SIA STATO RIPARATO.
- L'USO DI CONTROLLI O REGOLAZIONI O L'ESECUZIONE DI PROCEDURE DIVERSE DA QUELLE SPECIFICATE QUI POTREBBERO PROVOCARE PERICOLOSE ESPOSIZIONI A RADIAZIONI.

- 1) Leggere le seguenti istruzioni.
- 2) Conservare queste istruzioni.
- 3) Prestare attenzione agli avvertimenti.
- 4) Seguire tutte le istruzioni.
- 5) Non usare l'apparecchio vicino all'acqua.
- 6) Pulire solo con un panno asciutto.
- 7) Non bloccare le aperture per la ventilazione. Installare secondo le istruzioni del costruttore.

- 8) Non installare l'apparecchio vicino a fonti di calore come radiatori, regolatori di calore, stufe o altri apparecchi che producono calore (inclusi gli amplificatori).
- 9) Non eliminare la spina polarizzata di sicurezza o la spina di messa a terra. La spina polarizzata ha due lame, una più larga dell'altra. Una spina di messa a terra ha due lame e una terza punta di messa terra. La lama larga o la terza punta sono fornite per la vostra sicurezza. Se la spina fornita non è adatta al tipo di presa, consultate un elettricista per sostituire la presa obsoleta.

- 10) Non calpestare o stratonare il cordone di alimentazione, in modo particolare vicino alla spina e alla presa a cui è collegato l'apparecchio e dal punto in cui esce dall'apparecchio.
- 11) Usare solamente attacchi/accessori specificati dal costruttore.

- 12) Usare solo carrello, supporto, treppiede, mensola o tavola specificata dal costruttore o venduto insieme all'apparecchio. Quando viene usato un carrello, prestare attenzione quando si sposta la combinazione carrello/apparato per evitare cadute da sopra.



- 13) Scollegare questo apparato durante temporali o quando non viene utilizzato per lunghi periodi di tempo.

- 14) Rivolgersi solo a personale qualificato. La riparazione è richiesta quando l'apparecchio è stato danneggiato in qualunque modo, come nel caso che il cordone dell'alimentazione o la spina siano stati danneggiati, l'apparecchio sia stato esposto a pioggia o umidità, non funzioni correttamente o sia stato lasciato cadere.

- Questo apparecchio consuma una quantità di corrente elettrica irrilevante dalla presa di rete mentre il suo interruttore POWER o STANDBY/ON non è in posizione ON.
- La presa di rete è utilizzata come dispositivo di sconnessione; il quale dovrebbe restare sempre operabile.
- Si deve usare cautela quando si usano gli auricolari o le cuffie con il prodotto, perché un eccesso di pressione sonora (volume) negli auricolari o nelle cuffie può causare la perdita dell'udito.

CAUTELA

- Non esporre questo apparecchio a gocce o schizzi.
- Non appoggiare alcun contenitore, come un vaso, pieno d'acqua sopra l'apparecchio.
- Non installare questo apparecchio in spazi ristretti come una libreria o ambienti simili.
- Questo apparecchio dovrebbe essere collocato sufficientemente vicino alla presa AC in modo da poter facilmente afferrare la spina del cordone di alimentazione in qualsiasi momento.

CAUTELA

Cambiamenti o modifiche non espressamente approvati dalla parte responsabile della conformità potrebbero invalidare il diritto dell'utente a utilizzare l'apparecchiatura.

Modello per l'Europa



Questo prodotto è conforme alla richiesta delle direttive europee e agli altri regolamenti della commissione.

Per gli utenti europei

Smaltimento delle apparecchiature elettriche ed elettroniche e di batterie e/o accumulatori

- a) Tutte le apparecchiature elettriche ed elettroniche devono essere smaltite separatamente dai rifiuti urbani mediante impianti di raccolta designati dal governo o dalle autorità locali.
- b) Il corretto smaltimento di apparecchiature elettroniche/elettriche e di batterie/accumulatori, contribuisce a risparmiare preziose risorse ed evitare potenziali effetti negativi sulla salute umana e sull'ambiente.
- c) Lo smaltimento non corretto di apparecchiature elettroniche/elettriche e di batterie/accumulatori può avere gravi conseguenze per l'ambiente e la salute umana a causa della presenza di sostanze pericolose nelle apparecchiature.
- d) Il simbolo RAEE (Rifiuti Apparecchiature Elettriche ed Elettroniche), che mostra un bidone con ruote barrato, indica che le apparecchiature elettriche/elettroniche e le batterie/accumulatori devono essere raccolti e smaltiti separatamente dai rifiuti domestici. Se una batteria o accumulatore contiene più dei valori specificati di piombo (Pb), mercurio (Hg) e/o cadmio (Cd) come definito nella direttiva sulle batterie (2006/66/CE), i simboli chimici per quegli elementi sarà indicato sotto al simbolo RAEE.



- e) I centri di raccolta sono a disposizione degli utenti finali. Per informazioni più dettagliate circa lo smaltimento delle vecchie apparecchiature elettroniche/elettriche e dei rifiuti di batterie/accumulatori, si prega di contattare il comune, il servizio di smaltimento rifiuti o il negozio dove è stato acquistato l'apparecchio.

Apple, Mac, OS X and macOS are trademarks of Apple Inc.

Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Altri nomi di società e di prodotti citati in questo documento sono marchi o marchi registrati dei rispettivi proprietari.

Grazie per aver scelto TEAC. Leggere attentamente questo manuale per ottenere le migliori prestazioni da questo apparecchio.

Dopo averlo letto, si consiglia di conservarlo in un luogo sicuro per riferimenti futuri.

| | |
|--|----|
| IMPORTANTI ISTRUZIONI PER LA SICUREZZA | 42 |
| Prima dell'uso | 43 |
| Maneggiare i dischi | 43 |
| Preparazione del giradischi | 43 |
| Coperchio del giradischi | 45 |
| Sostituzione della cartuccia | 45 |
| Note sulle puntine | 46 |
| Nomi e funzioni delle parti | 46 |
| Collegamenti | 46 |
| Operazioni di base | 47 |
| Registrazione con un computer | 48 |
| Risoluzione dei problemi | 49 |
| Specifiche | 49 |

Accessori inclusi

Controllare che la confezione comprenda tutti gli accessori in dotazione indicati di seguito. Si prega di contattare il negozio dove è stata acquistata l'unità se uno qualsiasi di questi accessori è mancante o è stato danneggiato durante il trasporto.

- Tappetino di gomma × 1
- Adattatore 45 giri × 1
- Contrappeso × 1
- Conchiglia × 1
 - Cartuccia stereo Audio-Technica VM Type (doppio magnete) preinstallata (equivalente a AT100E)
- Piatto × 1
- Coperchio antipolvere × 1
- Cerniere coperchio antipolvere × 2
- Cavo audio RCA con terminale di massa × 1
- Adattatore per corrente alternata (GPE053A-V120050-Z) × 1
- Manuale di istruzioni (questo documento) × 1

Precauzioni per l'uso

- Non collocare alcun oggetto sul coperchio giradischi. Gli oggetti sul coperchio potrebbero causare disturbi a causa di vibrazioni o cadere, soprattutto durante la riproduzione.
- Evitare di collocare l'unità alla luce solare diretta, vicino a una fonte di calore o in altre condizioni simili. Non collocare l'unità sopra un amplificatore o altri dispositivi che possono generare calore superiore alla temperatura di funzionamento di questa unità. Ciò potrebbe causare scolorimento, deformazione o malfunzionamenti.

Uso del sito TEAC Global

È possibile scaricare gli aggiornamenti per questa unità dal sito TEAC Global Site: <http://teac-global.com/>

- 1) Aprire il TEAC Global Site.
- 2) Nella sezione TEAC Download, fare clic sulla linguetta desiderata per aprire la pagina del sito Download per tale lingua.

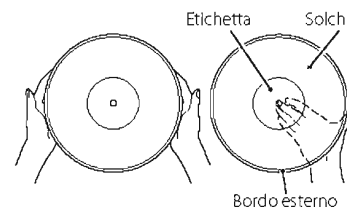
NOTA

Se la lingua desiderata non appare, fare clic su Other Languages.

- 3) Fare clic su "Search by Model Name" per aprire la pagina di download per quel prodotto (gli utenti in Europa dovrebbero fare clic sul nome del prodotto nella sezione "Products").
- 4) Selezionare e scaricare gli aggiornamenti necessari.

Come tenere i dischi

Quando si tiene un disco o lo si rimuove dalla custodia, evitare di toccare i solchi tenendolo per l'etichetta e il bordo con una mano o tenendolo per i bordi con entrambe le mani.



Pulizia

- Le impronte digitali e la polvere su un disco possono causare rumore e salti, così come danneggiare il disco stesso e lo stilo. Usare un pulisci-dischi reperibile in commercio per pulire i dischi. Non usare solventi o qualcosa di diverso da un pulisci-dischi. Tali sostanze potrebbero danneggiare la superficie del disco.
- Quando si utilizza un pulisci-dischi, pulire la superficie del disco con un movimento circolare, seguendo i solchi.



Precauzioni per l'uso

- Non lasciare i dischi in luoghi esposti alla luce solare diretta o molto caldi o molto umidi. Lasciare un disco in tali condizioni per lungo tempo può causare deformazioni, crescita di muffe o altri danni.
- Non impilare più dischi o collocare oggetti pesanti su di loro. Non lasciare i dischi in posizione angolata per lunghi periodi di tempo. Ciò potrebbe causare deformazioni o altri danni.
- Non lasciare che oggetti duri vengano in contatto direttamente con i solchi. Ciò potrebbe graffiarli.
- Dopo aver terminato la riproduzione di un disco, rimetterlo sempre nella sua custodia per una corretta conservazione. Lasciare un disco non protetto potrebbe causare deformazioni o graffi.
- Non utilizzare dischi con crepe.

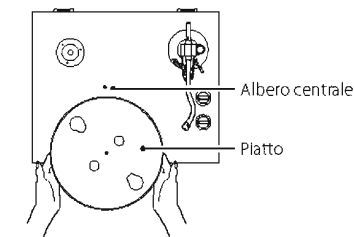
Tenere l'unità in standby durante l'installazione (F a pagina 47).

1 Mettere l'unità su una superficie piana.

Posizionarla su una superficie piana, in modo che il disco possa venire letto in modo accurato.

2 Installare il piatto giradischi.

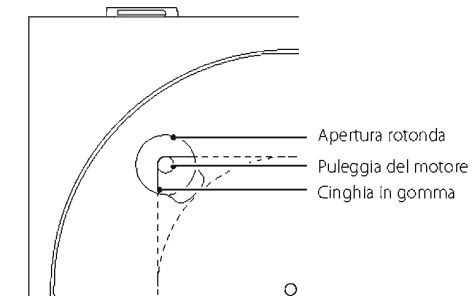
Allineare il piatto giradischi con l'albero centrale e installarlo.



3 Avvolgere la cinghia attorno alla puleggia del motore.

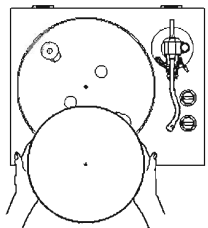
Usare un dito per avvolgere la cinghia in gomma inclusa intorno alla parte esterna del piatto e quindi avvolgere la cinghia attorno alla puleggia del motore.

- Fare attenzione a non torcere la gomma.
- Ruotare il piatto diverse volte per assicurarsi che sia sicuro.



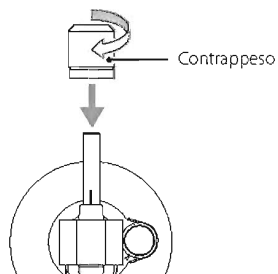
4 Posizionare il tappetino di gomma sul giradischi.

Posizionare il tappetino di gomma che è incluso con il giradischi prima dell'uso.



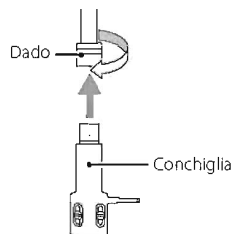
5 Installare il contrappeso.

Posizionare il contrappeso all'estremità del braccetto e ruotarlo delicatamente in senso orario per stringerlo.

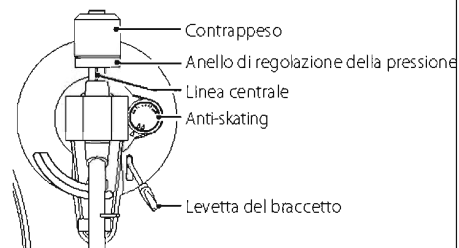


6 Installare la conchiglia.

Inserire la conchiglia alla fine del braccetto e ruotare il dado per fissarla al suo posto.

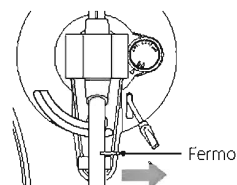


Bilanciare il braccetto e regolare la pressione dello stilo



1 Impostare la ghiera anti-skating a zero.

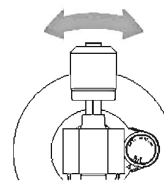
2 Spostare il braccetto dal fermo verso destra per sbloccarlo.



3 Sollevare la levetta e spostare leggermente il braccetto verso sinistra.

4 Abbassare la levetta del braccetto.

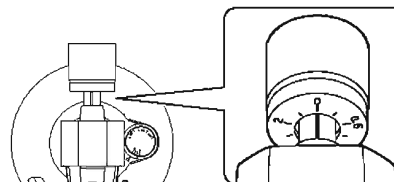
5 Ruotare il contrappeso e regolarlo in modo che il braccetto rimanga bilanciato in sospensione.



- Abbassare la protezione per evitare danni alla cartuccia stilo prima di eseguire regolazioni.
- Fare attenzione a non lasciare che lo stilo tocchi l'unità.

6 Riportare il braccetto alla sua posizione originale e spostare il fermo del braccetto verso sinistra per bloccarlo.

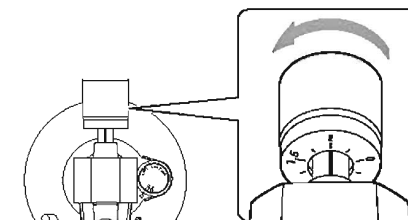
7 Ruotare l'anello di regolazione della pressione dello stilo in modo che la linea centrale sia allineata con lo 0 della scala.



- Ruotare solo l'anello. Fare attenzione a non ruotare anche il contrappeso.

8 Ruotare il contrappeso in modo che la pressione dello stilo indicata sulla scala di regolazione corrisponda al peso specificato per il tipo di cartuccia.

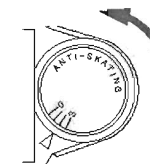
- Il peso da impostare per lo stilo della cartuccia in dotazione è di 1,4 g. Quindi, ruotare su 1.4 della scala del contrappeso quando si utilizza la cartuccia in dotazione.



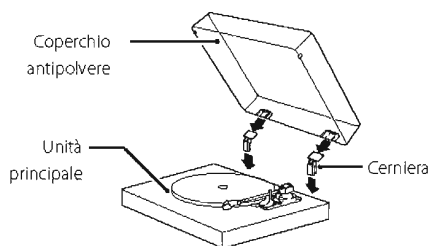
- Ruotarla a destra da 0 in direzione di 0.5 e 1.0.

9 Regolare il selettore di anti-skating.

Iniziare con un'impostazione a 1.4 e regolare l'anti-skating durante la riproduzione del disco (pagina 47) nella posizione in cui il bilanciamento sinistro/destro del volume risulti centrale.



Montaggio del coperchio del giradischi



1 Inserire completamente le cerniere nei supporti alle estremità destra e sinistra della parte posteriore dell'unità principale.

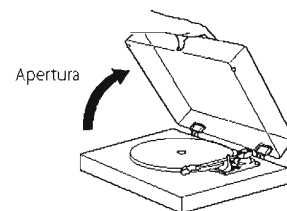
2 Allineare la parte superiore delle cerniere con i supporti del coperchio giradischi e inserirle.

- Chiudere il coperchio antipolvere durante la riproduzione. Dato che questo previene contatti esterni accidentali e scherma la pressione sonora esterna, è meno probabile che si verifichino disturbi durante la riproduzione.
- Non aprire o chiudere il coperchio quando un disco è in riproduzione. In tal modo si evita, per esempio, che si verifichino salti della puntina sul disco.
- Tenere il coperchio chiuso per quanto possibile per proteggere il disco dalla polvere.

Rimozione del coperchio antipolvere

Tenere entrambi i bordi del coperchio del giradischi e sollevarlo lentamente per rimuoverlo insieme alle cerniere dall'unità. Quindi, rimuovere le cerniere dal coperchio del giradischi.

Apertura e chiusura del coperchio antipolvere



Apertura

Tenere il bordo anteriore del coperchio del giradischi e sollevarlo delicatamente fino al suo completo arresto. Il coperchio del giradischi rimarrà aperto in questa posizione.

Chiusura

Abbassare delicatamente il coperchio giradischi fino alla sua completa chiusura.

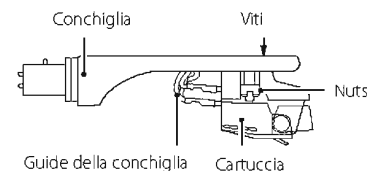
⚠ Fare attenzione alle dita durante l'apertura e la chiusura del coperchio del giradischi.

Per cambiare la cartuccia, rimuovere prima la conchiglia dal braccetto.

- La cartuccia installata in questa unità è equivalente alla cartuccia Audio-Technica AT100E VM Type (la puntina di sostituzione per la cartuccia installata è di colore verde. Non ha un marchio Audio-Technica).

NOTA

- Le cartucce tipo VM hanno le stesse caratteristiche delle cartucce di tipo MM.
- Si consiglia di abbassare la protezione dello stilo prima di eseguire questa operazione.

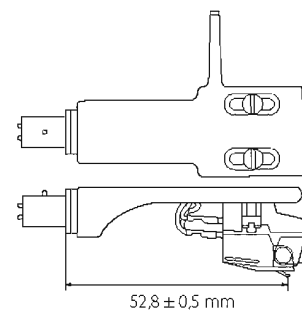


1 Scollegare i terminali della conchiglia dalla cartuccia.

2 Allentare le viti e rimuovere la cartuccia.

3 Fissare la nuova cartuccia e serrare le viti.

Vedere la figura seguente per la posizione delle viti quando sono fissate.



4 Collegare i terminali della conchiglia alla cartuccia.

- I segnali e i colori dei fili della conchiglia sono riportati di seguito.

| Segnale | Colore |
|-------------------|--------|
| Canale sinistro + | Bianco |
| Canale sinistro - | Blu |
| Canale destro + | Rosso |
| Canale destro - | Verde |

5 Bilanciare il braccetto e regolare la pressione della puntina.

Seguire le procedure descritte in 'Bilanciare il braccetto e regolare la pressione dello stilo' a pagina 44.

Note sulle puntine

- Se la puntina viene piegata (danneggiata), non sarà più in grado di tracciare con precisione i solchi. Dal momento che una puntina piegata potrebbe anche danneggiare i dischi e causare malfunzionamenti, bisogna maneggiare le puntine con cura.
- Usare sempre un pulisci puntine disponibile in commercio per la pulizia. Usare altri metodi per la pulizia potrebbe danneggiare la puntina.

Sostituzione della puntina

Se la puntina si usura, non solo peggiora la qualità del suono, ma potrebbe anche danneggiare il disco. Dopo circa 300 ore di riproduzione, sostituire la puntina con una specifica.

Si prega di utilizzare una puntina di ricambio ATN1 00E Audio-Technica.

- La cartuccia installata in questa unità è equivalente alla cartuccia Audio-Technica AT1 00E VM Type (la puntina di sostituzione per la cartuccia installata è di colore verde. Non ha un marchio Audio-Technica).

NOTA

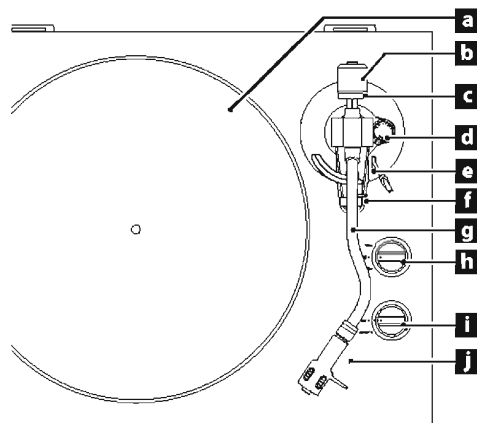
Le cartucce tipo VM hanno le stesse caratteristiche delle cartucce di tipo MM.

- Seguire le istruzioni per la sostituzione nel manuale della puntina di ricambio.

CAUTELA

- Poiché potrebbero verificarsi forti rumori, mettere l'unità in standby prima di cambiare la puntina.
- Fare attenzione a non ferire le dita o danneggiare l'apparecchiatura.
- Non permettere a bambini piccoli di ingerire accidentalmente una puntina.
- Tenere presente che le puntine piegate, per esempio, a causa di insufficiente attenzione del cliente o altre cause esterne non sono coperte dalla garanzia.

Nomi e funzioni delle parti



a Piatto del giradischi

Posizionare il disco centrandolo sul piatto.

b Contrappeso

c Anello per regolare il peso sulla puntina

d Ghiera anti-skating

e Levetta del braccetto

Usare questo per alzare e abbassare la puntina. Invece di usare un, si consiglia di utilizzare la levetta per alzare e abbassare il braccetto onde evitare di danneggiare i dischi e la puntina.

f Fermo per il braccetto

Questo è il supporto per il braccetto nella posizione di riposo. Spingere delicatamente il fermo verso destra per rilasciare il braccetto prima di riprodurre un disco.

g Braccetto

h Manopola di regolazione della velocità di rotazione

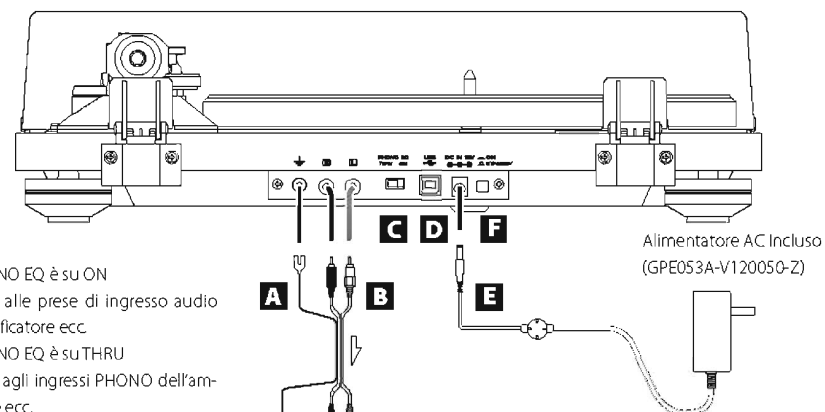
Selezionare la velocità di rotazione indicata sul disco da riprodurre.

i Manopola rotante START/STOP

j Conchiglia

Questa è di tipo universale e permette di sostituire la cartuccia facilmente.

Collegamenti



Quando PHONO EQ è su ON

Collegare alle prese di ingresso audio dell'amplificatore ecc.

Quando PHONO EQ è su THRU

Collegare agli ingressi PHONO dell'amplificatore ecc.

Alimentatore AC Incluso
(GPE053A-V1 20050-Z)

⚠ Precauzioni durante i collegamenti

- Collegare l'unità solo dopo aver effettuato tutti gli altri i collegamenti.
- Leggere attentamente i manuali dei dispositivi che si vogliono collegare e seguire le relative istruzioni quando si effettuano i collegamenti.

A Connettore a massa (⏏)

Utilizzare il filo di massa del cavo audio RCA in dotazione per collegare questo connettore al connettore di massa dell'amplificatore.

- Questo NON è un connettore di messa a terra elettrica.

Se il rumore dagli altoparlanti è notevole

Se collegando il cavo di massa del cavo audio al terminale di massa di questa unità il rumore non diminuisce, scollegare il filo di massa e controllare di nuovo l'audio. Scegliere la combinazione (cavo connesso/disconnesso) che offre un risultato migliore.

B Connettori di uscita audio analogica (L/R)

Queste sono uscite audio analogiche. L'impostazione del commutatore PHONO EQ cambia il tipo di segnale in uscita. Utilizzare il cavo audio incluso (o quelli disponibili in commercio) per collegare altri dispositivi ai connettori di uscita di questa unità.

C PHONO EQ (interruttore di impostazione di uscita audio)

ON

I segnali amplificati dall'equalizzatore phono incorporato vengono emessi dai connettori di uscita audio analogici (L/R).

THRU

Il segnale della cartuccia MC o MM viene emesso direttamente attraverso i connettori di uscita audio analogica (L/R).

Collegare a un dispositivo con ingressi phono, come ad esempio un preamplificatore con equalizzazione phono o un amplificatore con connettori di ingresso phono.

- Al momento della spedizione dalla fabbrica, questo è impostato su ON.
- Attivare questa funzione (ON) se un dispositivo è collegato alla porta USB.

CAUTELA

Quando è impostato su ON, se viene collegato agli ingressi PHONO di un amplificatore, per esempio, l'uscita dagli altoparlanti o dalle cuffie sarà molto forte, per cui potrebbe danneggiare le apparecchiature o l'udito.

D Porta USB (USB tipo B)

Il suono del disco viene convertito in digitale (risoluzione fino a 48 kHz/16 bit) e mandato in uscita. La registrazione su un computer è possibile collegando questa a una porta USB del computer tramite un cavo USB (pagina 48).

E Connettore di ingresso DC

Dopo aver completato tutti gli altri collegamenti, collegare l'alimentatore AC incluso (GPE053A-V120050-Z) a questa presa.

Verificare che la spina di alimentazione dell'alimentatore AC sia inserita in una presa di corrente.

- Scollegare il cavo di alimentazione dalla presa di corrente quando non si prevede di utilizzare l'unità per un lungo periodo di tempo.
- Non utilizzare un alimentatore AC diverso da quello in dotazione (GPE053A-V120050-Z).

⚠ Assicurarsi di collegare il cavo di alimentazione a una presa AC che fornisca la giusta tensione. Il collegamento a una presa che fornisce una tensione non corretta può provocare incendi o scosse elettriche.

⚠ Tenere la spina quando la si collega o scollega da una presa. Non tirare o stratonare il cavo di alimentazione.

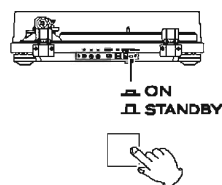
⚠ Scollegare il cavo di alimentazione dalla presa di corrente quando non si prevede di utilizzare l'unità per un lungo periodo di tempo.

F Pulsante STANDBY/ON

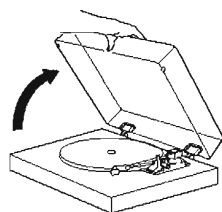
Premere il pulsante STANDBY/ON per accendere l'unità o metterla in standby.

Riproduzione di dischi

1 Premere il pulsante STANDBY/ON sul retro dell'unità per accenderla.

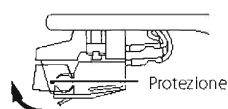


2 Aprire lentamente il coperchio del giradischi.



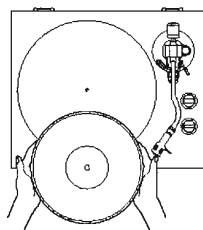
⚠ Fare attenzione alle dita durante l'apertura e la chiusura del coperchio antipolvere.

3 Sollevare la protezione della cartuccia.



4 Posizionare un disco sul piatto.

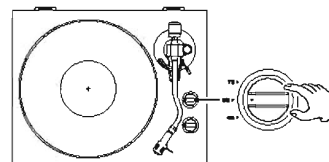
Durante la riproduzione di un 45 giri con il foro grande, utilizzare l'adattatore incluso.



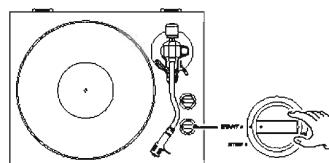
Operazioni di base

5 Impostare il numero di giri in base al disco.

La velocità di rotazione può essere impostata a 33 1/3 o 45 RPM.

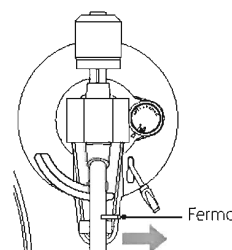


6 Ruotare la manopola START/STOP su Start per avviare il piatto.

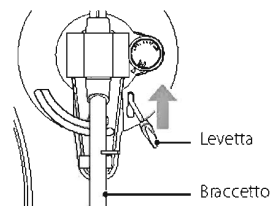


- Quando la manopola START/STOP è impostata su START, il piatto inizierà a ruotare e la spia START si accenderà in blu.

7 Spostare il braccetto dal fermo verso destra per sbloccarlo.

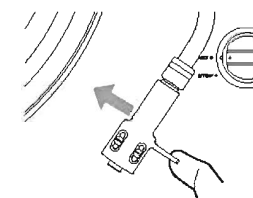


8 Sollevare la levetta del braccetto.



- È possibile lasciare la levetta abbassata e spostare manualmente il braccetto sopra il disco e poi abbassare lentamente il braccetto per avviare la riproduzione.

9 Spostare il braccetto sul brano da cui si desidera avviare la riproduzione.



10 Abbassare la levetta del braccetto.

Abbassare il braccetto lentamente fino a quando la puntina tocca il disco e inizia la riproduzione.

- Chiudere il coperchio antipolvere durante la riproduzione. In questo modo si riduce il rumore schermato la pressione sonora esterna e si impediscono salti causati dal contatto involontario.

⚠ Non collocare nulla sopra il coperchio antipolvere.

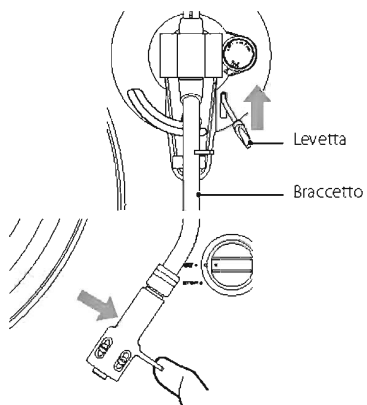
ATTENZIONE

- Durante la riproduzione, non toccare il braccetto o il disco. In caso contrario, si potrebbe danneggiare la puntina o graffiare il disco.
- Non interrompere con una mano la rotazione del piatto durante la riproduzione. Dal momento che questo prodotto non è un giradischi progettato per i DJ (trazione diretta), fare qualcosa di simile potrebbe causare malfunzionamenti.

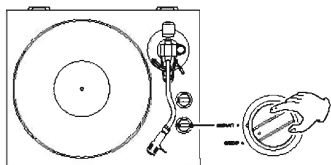
Durante la riproduzione di dischi, potrebbe verificarsi un feedback se il volume è troppo alto. Se questo accade, abbassare il volume dell'amplificatore.

Quando la riproduzione termina

- 1 Sollevare la levetta del braccetto per alzare la puntina dal disco e riportare il braccetto nella posizione di riposo.**



- 2 Ruotare la manopola START/STOP su STOP per arrestare il piatto.**



- La spia START blu si spegnerà e il piatto si fermerà.

Il suono di un disco può essere registrato in digitale su un computer utilizzando un cavo USB disponibile in commercio per collegare l'unità a una porta USB del computer.

Sistemi operativi supportati

I computer che eseguono i seguenti sistemi operativi possono essere collegati tramite USB a questa unità (da ottobre 2016).

Windows

- Windows 7 (32 bit, 64 bit)
- Windows 8 (32 bit, 64 bit)
- Windows 8.1 (32 bit, 64 bit)
- Windows 10 (32 bit, 64 bit)

Mac

- OS X Lion (10.7)
- OS X Mountain Lion (10.8)
- OS X Mavericks (10.9)
- OS X Yosemite (10.10)
- OS X El Capitan (10.11)
- macOS Sierra (10.12)

Il funzionamento con sistemi operativi diversi da questi non è garantito.

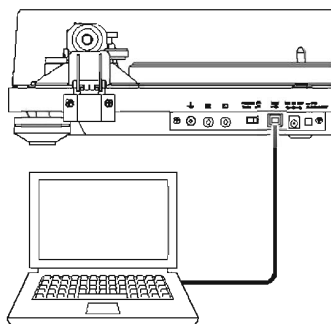
- Questa unità funzionerà con il driver standard di Windows o Mac. Quindi non è necessario installare un driver specifico.

Collegamento a un computer

- 1 Accendere il computer.**

Verificare che il sistema operativo venga avviato correttamente.

- 2 Usare il cavo USB per collegare il computer e questa unità.**



- Utilizzare un cavo USB disponibile in commercio dotato di anello in ferrite.

- 3 Premere il pulsante STANDBY/ON di questa unità per accenderla.**

Dopo il collegamento, il computer rileverà automaticamente la porta USB di questa unità e la identificherà come "USB Audio CODEC".

- Per registrare l'audio da questo giradischi utilizzando un computer, è necessario installare un software per la registrazione audio nel computer. È possibile acquistare separatamente il software di registrazione audio preferito o scaricare da Internet il software gratuito come, per esempio, Audacity (<http://www.audacityteam.org>). Il software gratuito Audacity non è supportato da TEAC.
- Quando si collega a un computer tramite USB e si effettua una registrazione audio, non eseguire una delle seguenti operazioni. Ciò potrebbe causare malfunzionamenti del computer. Chiudere sempre il software di registrazione nel computer prima di procedere con queste operazioni.
 - Scollegare il cavo USB
 - Mettere l'unità in standby

Impostazioni del computer

L'esempio seguente spiega le impostazioni per l'utilizzo con Windows 7.

- 1 Dal menu Start, selezionare il Pannello di controllo.**
- 2 Fare clic su "Audio".**
- 3 Fare clic su "Registrazione" e verificare che "USB Audio CODEC" sia impostato come "Dispositivo predefinito".**
- 4 Selezionare "Microphone USB Audio CODEC" e fare clic sul pulsante Proprietà.**
- 5 Fare clic su "Avanzate".**

- 6 Dal menu a discesa "Formato predefinito" selezionare la qualità di registrazione desiderata (formato).**

SUGGERIMENTO

"canali: 2, 16 bit, 48000 Hz (qualità DVD)" offre un'alta qualità audio ma richiede anche più spazio per i file. La registrazione con una frequenza di campionamento più bassa riduce la qualità dell'audio ma utilizza anche meno spazio per i file.

- 7 Fare clic su "OK".**

Se si sperimentano problemi con questa unità, si prega di controllare i seguenti punti prima di richiedere assistenza. Qualcosa di diverso potrebbe essere la causa del problema. Si prega di verificare che anche i dispositivi collegati vengano utilizzati correttamente.

Se l'unità persiste a non funzionare correttamente, contattare il rivenditore presso il quale è stata acquistata.

Assenza di alimentazione.

- ➔ Verificare che l'alimentatore sia collegato a una presa di corrente. Quindi, premere il pulsante STANDBY/ON per accendere l'unità (pagine 46 e 47).

Nessun suono.

- ➔ Quando si collegano le prese di uscita audio analogiche di questa unità alle prese di ingresso audio di un amplificatore o di un altro apparecchio, impostare l'interruttore PHONO EQ (Impostazione di uscita audio) su ON (pagina 46).

La riproduzione non è possibile; c'è del rumore.

- ➔ Sollevare la protezione (pagina 47).
- ➔ Impronte digitali e polvere sul disco possono causare rumore e salti. Utilizzare un pulisci dischi disponibile in commercio per pulire i dischi (pagina 43).
- ➔ Pulire la puntina (pagina 46).
- ➔ Se la puntina è logora, sostituirla (pagina 46). La durata di una puntina dipende dalle condizioni di utilizzo, ma di solito è di circa 300 ore.
- ➔ Posizionare l'unità il più lontano possibile da televisori, forni a microonde e altri dispositivi che emettono onde elettromagnetiche.

Si verifica del rumore quando un disco è in riproduzione.

- ➔ Potrebbe verificarsi del rumore se la pressione sulla puntina è superiore al valore specificato sulla cartuccia. Regolare la pressione della puntina in modo che sia del valore specificato (pagina 44).

L'intonazione è errata.

- ➔ Impostare la velocità di rotazione (RPM) in modo che corrisponda a quella del disco (pagina 47).

Il suono salta.

- ➔ Le vibrazioni causano salti. Collocare l'unità in un luogo stabile.
- ➔ Pulire il disco.
- ➔ Non utilizzare dischi graffiati.
- ➔ Bilanciare il braccetto e regolare la pressione della puntina (pagina 44). Se la pressione della puntina è inferiore al valore designato per la cartuccia, è più probabile che si verifichino salti.

Giradischi

| | |
|---|--|
| Sistema di trazione..... | Trasmissione a cinghia |
| Motore..... | Motore DC |
| Velocità di rotazione..... | 33 1/3 rpm, 45 rpm, 78 rpm |
| Variazione della velocità di rotazione..... | ±2% |
| Wow & flutter..... | 0.2% |
| Rapporto SN..... | 67 dB o superiore (pesato A, 20 kHz LPF) |
| Piatto..... | Alluminio pressofuso diametro 30 cm |

Braccetto

| | |
|---|--|
| Tipo di braccetto | Braccetto a forma di S bilanciato staticamente |
| Lunghezza effettiva del braccetto..... | 223 mm |
| Campo di variazione di pressione della puntina..... | 0-5 g |
| Peso della cartuccia accettato..... | 4,0-8,0 g |

Cartuccia

| | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| Tipo..... | VM (equivalente MM) |
| Tensione di uscita..... | 4,5 mV (1 kHz, 5 cm/s) |
| Pressione della puntina..... | 1,4 ± 0,4 g |
| Peso della cartuccia..... | 6,5 ± 0,2 g |
| Peso della conchiglia inclusa..... | 10 g (viti, dadi e fili compresi) |

- La durata di una puntina dipende dalle condizioni di utilizzo, ma è solitamente di circa 300 ore.
- La cartuccia installata in questa unità è equivalente alla cartuccia Audio-Technica AT100E VM Type (la puntina di sostituzione per la cartuccia installata è di colore verde. Non ha un marchio Audio-Technica).
Nota: le cartucce di tipo VM hanno le stesse caratteristiche delle cartucce di tipo MM.
- Modello della puntina di ricambio: Audio-Technica ATN100E

Tensione di uscita

| | |
|---------------------------|-------------------------------|
| PHONO EQ THRU..... | 4,5 mV (1 kHz, 5 cm/s) ± 3 dB |
| PHONO EQ ON..... | 230 mV (-13 dBV) |
| Connettori di uscita..... | RCA |

Porta USB

| | |
|--|--|
| LA porta USB può ricevere alimentazione dal bus USB del computer (Full Speed)..... | Connettore USB tipo B |
| Supporto di alimentazione bus USB..... | 5 V, 500 mA |
| Frequenza di campionamento | 8 kHz, 11.025 kHz, 16 kHz, 22.05 kHz, 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz |
| Profondità di bit di quantizzazione..... | 16 bit |

Generali

| | |
|---|-------------------------------|
| Alimentazione AC | |
| Ingresso..... | AC 100 V - AC 240 V, 50-60 Hz |
| Uscita..... | DC 12 V, 500 mA |
| Consumo | |
| Standby..... | 0.5 W o meno |
| On (START)..... | 1.5 W o meno |
| Peso..... | 4.9 kg |
| Temperatura di esercizio..... | da 5°C a 35°C |
| Dimensioni (L x A x P) (incluse le parti sporgenti) | |
| Quando il coperchio antipolvere è chiuso | 420 x 117 x 356 mm |
| Quando il coperchio antipolvere è aperto | 420 x 381 x 402 mm |
| Quando il coperchio antipolvere è rimosso | 420 x 102 x 356 mm |

- Dati relativi al funzionamento a 20 °C.

Accessori in dotazione

| |
|---|
| Tappetino di gomma x 1 |
| Adattatore 45 giri x 1 |
| Contrappeso x 1 |
| Conchiglia x 1 |
| Cartuccia stereo Audio-Technica VM Type (doppio magnete) preinstallata (equivalente a AT100E) |
| Piatto x 1 |
| Coperchio antipolvere x 1 |
| Cerniere coperchio antipolvere x 2 |
| Cavo audio RCA con terminale di massa x 1 |
| Adattatore per corrente alternata (GPE053A-V1 20050-Z) x 1 |
| Manuale di Istruzioni (questo documento) x 1 |

- Le specifiche e l'aspetto sono soggetti a modifiche senza preavviso.
- Peso e dimensioni sono approssimativi.
- Le illustrazioni in questo manuale potrebbero differire leggermente dai modelli di produzione.

CAUTION

RISK OF ELECTRIC SHOCK

DO NOT OPEN

LET OP: LET OP: VERWIJDER HET DEKSEL (OF DE ACHTERKANT) NIET OM EEN ELEKTRISCHE SCHOK TE VOORKOMEN. BEVAT GEEN ONDERDELEN WAAR GEBRUIKERS AAN KUNNEN WERKEN. LAAT ONDERHOUD OVER AAN BEVOEGD ONDERHOUDSPERSONEEL.

Het bliksemsymbool in de driehoek waarschuwt de gebruiker voor gevaarlijke ongeïsoleerde spanning in de behuizing die mogelijk hoog genoeg is om een elektrische schok te veroorzaken.

De gelijkzijdige driehoek met uitroeptekens is bedoeld om de gebruiker te wijzen op belangrijke bedienings- of onderhoudsinstructies in de onderhoudshandleidingen voor dit apparaat.

WAARSCHUWING: STEL DEZE TOEPASSING NIET BLOOT AAN REGEN OF VOCHT OM HET GEVAAR OP VUUR OF ELEKTRISCHE SCHOKKEN TE VOORKOMEN.

LET OP

- Verwijder nooit de externe behuizing of kast om de elektronica bloot te leggen. Bevat geen onderdelen waar gebruikers aan kunnen werken.
- Als u problemen ondervindt met dit product, neem dan contact op met de leverancier waar u het apparaat heeft gekocht voor een serviceverwijzing. Gebruik het product niet voordat het is gerepareerd.
- Als de bedieningselementen, instellingen of prestaties van procedures anders worden gebruikt dan in deze handleiding beschreven, kan dit leiden tot gevaarlijke blootstelling aan straling.

- 1) Lees deze instructies.
- 2) Bewaar deze instructies.
- 3) Let op alle waarschuwingen.
- 4) Volg alle instructies op.
- 5) Gebruik dit apparaat niet in de buurt van water.
- 6) Alleen reinigen met een droge doek.
- 7) Blokkeer geen ventilatieopeningen. Installeren volgens de instructies van de fabrikant.
- 8) Niet installeren naast warmtebronnen, zoals radiatoren, verwarmingsroosters, kachels of andere apparatuur (waar- onder versterkers) die warmte produceren.

9) Omzeil de veiligheidsvoorzieningen van een gepolariseerde of geaarde stekker niet. In sommige landen worden gepolariseerde stekkers gebruikt. Een gepolariseerde stekker heeft twee verschillend gevormde polen, waardoor de stekker niet verkeerd kan worden ingestoken. Een geaarde stekker heeft naast de twee polen een randcontact of extra pin voor aarde. De twee verschillende polen of het aardcontact zijn voor uw veiligheid. Als de meegeleverde stekker niet in het stopcontact past, raadpleeg dan een elektricien om het stopcontact te vervangen.

10) Zorg dat er niet op het netsnoer kan worden getrapt, dat het kan worden bekneld of onder spanning kan komen te staan, vooral bij stekkers, contactdozen en het punt waar het snoer het apparaat verlaat.

11) Gebruik alleen verloopstukken of accessoires die door de fabrikant worden gespecificeerd.

12) Alleen gebruiken met de door de fabrikant gespecificeerde of bij het apparaat verkochte wagen, standaard, statief, beugel of tafel. Verplaats de wagen met het apparaat erop met beleid, om letsel door omvallen te voorkomen.



13) Maak de kabels van het apparaat los tijdens onweer of bij buitengebruikstelling voor langere tijd.

14) Laat al het onderhoud en reparaties over aan gekwalificeerd onderhoudspersoneel. Reparatie is vereist als het apparaat schade heeft opgelopen, bijvoorbeeld als het netsnoer of de stekker is beschadigd, als er vloeistof op is gemorst of als er voorwerpen op het apparaat zijn gevallen, als het apparaat is blootgesteld aan regen of vocht, niet normaal functioneert of is gevallen.

- Ook uitgeschakeld neemt het apparaat een geringe stroom op wanneer de POWER of STANDBY/ON schakelaar niet op ON staat.
- De stekker fungeert als hoofdschakelaar en dient altijd bereikbaar te zijn.
- Wees altijd voorzichtig met het afspeelniveau bij oortelefoons of hoofdtelefoons in combinatie met dit product. Excessieve geluidsdruk (volume) van oortelefoons of hoofdtelefoon kan leiden tot gehoorverlies.

LET OP

- Stel dit apparaat niet bloot aan regen of spatten.
- Plaats geen met vloeistof gevulde voorwerpen zoals vazen op het apparaat.
- Plaats het apparaat niet in een afgesloten ruimte zoals een kast o.l.d.
- Plaats het apparaat dicht genoeg bij een stopcontact om snel de stekker uit te kunnen trekken in geval van nood.

LET OP

Wijzigingen of modificaties die niet uitdrukkelijk zijn goedgekeurd door de voor naleving verantwoordelijke partij kunnen de toestemming om de apparatuur te gebruiken ongeldig maken.

Model voor Europa



Dit product voldoet aan de Europese richtlijnen en andere regelgeving van de Commissie.

Voor Europese Gebruikers

Verwerking van elektrische en elektronische apparatuur en batterijen en/of accu's

- a) Alle elektrische/elektronische apparatuur en lege batterijen/accu's dient te worden gescheiden van het normale huisvuil en te worden ingeleverd bij door de overheid daartoe aangewezen locaties.
- b) Door elektrische/elektronische apparatuur en lege batterijen en/of accu's op de juiste manier af te voeren, draagt u bij aan het juiste gebruik van grondstoffen en voorkomt u een negatief effect op ons milieu en de volksgezondheid.
- c) Onjuiste verwerking van gebruikte elektrische/elektronische apparatuur en batterijen/accu's kan het milieu en de volksgezondheid ernstig schaden door de aanwezigheid van gevaarlijke stoffen in de apparatuur.
- d) De symbolen voor afgedankte elektrische en elektronische apparatuur (AEEA) met doorgekruiste klikocontainers geven aan dat u elektrische/elektronische apparaten en batterijen/accu's dient te scheiden van huishoudelijk afval en apart dient in te leveren. Wanneer een batterij of accu meer dan de gespecificeerde hoeveelheid lood (Pb), kwik (Hg) en/of cadmium (Cd) als aangegeven in de Richtlijn Batterijen (2006/66/EC) dan worden deze symbolen voor chemische elementen aangegeven onder het WEEE symbool.
- e) Inlever- en verzamelplaatsen zijn voor eindgebruikers beschikbaar gesteld. Nadere informatie over het afvoeren van gebruikte elektrische/elektronische apparatuur en lege batterijen/accu's kan uw gemeente u geven en ook de leverancier waar u de apparatuur heeft aangeschaft.



Apple, Mac, OS X and macOS are trademarks of Apple Inc.

Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Andere bedrijfsnamen en productnamen in dit document zijn handelsmerken of geregistreerde handelsmerken van hun respectieve eigenaars.

Inhoud

Dank u voor het gebruik van TEAC.

Lees deze handleiding aandachtig om dit apparaat zo goed mogelijk te kunnen gebruiken.

Berg deze na het lezen op een veilige plek op, zodat u deze later kunt raadplegen.

| | |
|--|----|
| BELANGRIJKE VEILIGHEIDSLINSTRUCTIES..... | 50 |
| Vóór gebruik..... | 51 |
| Omgaan met grammofonplaten..... | 51 |
| De platenspeler voorbereiden..... | 51 |
| Stofkap..... | 53 |
| Het element verwisselen..... | 53 |
| Opmerking over draaitafelhaalden..... | 54 |
| Namen en functies van onderdelen..... | 54 |
| Aansluitingen..... | 54 |
| Basisbediening..... | 55 |
| Opnemen met een computer..... | 56 |
| Problemen oplossen..... | 57 |
| Specificaties..... | 57 |

Vóór gebruik

Meegeleverde onderdelen

Controleer of de verpakking alle hieronder weergegeven accessoires bevat. Neem contact op met de winkel waar u dit apparaat heeft gekocht als een van deze accessoires ontbreekt of tijdens transport is beschadigd.

- Viltmat × 1
- 45 RPM adapter × 1
- Contragewicht × 1
- Elementhouder × 1
 - Geleverd met Audio-Technica VM Type (dual magnet) stereo element (identiek aan AT100E)
- Draaitafelplateau × 1
- Stofkap × 1
- Stofkap scharnieren × 2
- RCA audiokabel met aardaansluiting × 1
- Netadapter (GPE053A-V120050-Z) × 1
- Gebruikershandleiding (dit document) × 1

Voorzorgsmaatregelen vóór gebruik

- Plaats geen objecten op de stofkap. Objecten op de kap kunnen storing veroorzaken als gevolg van trillingen of ze kunnen van de kap vallen, vooral tijdens afspelen.
- Plaats het apparaat niet in direct zonlicht of dicht bij een hittebron of in andere vergelijkbare situaties. Plaats het apparaat niet bovenop een versterker of andere apparatuur die meer warmte produceert dan het bedrijfstemperatuurbereik van dit apparaat. Hierdoor kan verkleuring, vervorming of kunnen defecten ontstaan.

Gebruik van de TEAC Global site

U kunt updates voor dit apparaat downloaden vanaf de TEAC Global site: <http://teac-global.com/>

- Open de TEAC Global site.
- In het gedeelte "TEAC Downloads" klikt u op de gewenste taal om de websitepagina "Downloads" voor de betreffende taal te openen.

OPMERKING

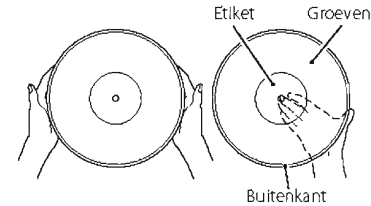
Als de gewenste taal niet verschijnt, klikt u op "Other Languages".

- Klik op het gedeelte "Search by Model Name" om de pagina Downloads van het product te openen. (Gebruikers in Europa klikt u in plaats daarvan op de naam van het product in het gedeelte "Products")
- Selecteer en download updates die nodig zijn.

Omgaan met grammofonplaten

Grammofonplaten vasthouden

Vermijd het aanraken van de groeven als een grammofonplaat uit de hoes wordt gehaald en wordt vastgehouden. Houd de grammofonplaat vast bij het etiket en aan de zijkant of met beide handen aan de zijkanten.



Reinigen

- Vingerafdrukken en vuil op een grammofonplaat kunnen ruis en het haperen van het geluid veroorzaken, maar ook de plaat zelf en de naald beschadigen. Gebruik in de handel verkrijgbare platenreiniger om grammofonplaten te reinigen. Gebruik geen oplosmiddel of andere vloeistoffen dan platenreiniger. Dergelijke chemicaliën kunnen het oppervlak van de plaat beschadigen.
- Veeg over het oppervlak van de grammofonplaat met de platenreiniger in een ronde beweging in de richting van de groeven.



Voorzorgsmaatregelen vóór gebruik

- Bewaar grammofonplaten niet op plaatsen die blootstaan aan direct zonlicht of die uitzonderlijk heet of vochtig zijn. Als een grammofonplaat aan dergelijke condities wordt blootgesteld kan deze vervormen, beschimmelen of op een andere manier schade oplopen.
- Grammofonplaten niet op elkaar stapelen of onder zware objecten plaatsen. Grammofonplaten niet voor langere tijd schuin bewaren. Hierdoor kan vervorming of andere schade ontstaan.
- Zorg dat de groeven niet in direct contact komen met harde objecten. Hierdoor kunnen krassen ontstaan.
- Bewaar een grammofonplaat na afspelen altijd in de hoes. Een onbeschermde grammofonplaat kan vervormen of er kunnen krassen op komen.
- Gebruik geen platen met krassen.

De platenspeler voorbereiden

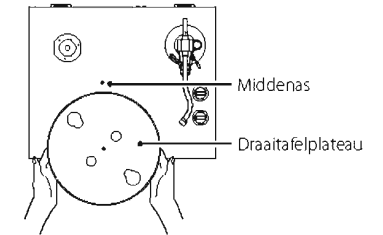
Zet het apparaat op standby tijdens de installatie (F op pagina 55).

1 Plaats het op een vlakke ondergrond.

Plaats het op een vlakke ondergrond, zodat de grammofonplaat correct kan worden afgetast.

2 Installeer het draaitafelplateau.

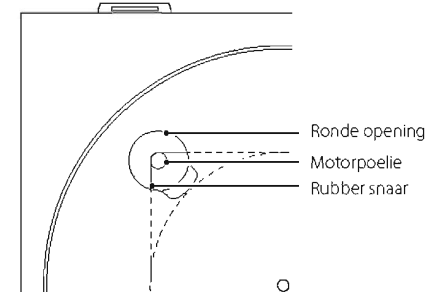
Hou het draaitafelplateau boven de middenas en installeer deze.



3 Sla de snaar om de motorpoelie.

Trek met uw vinger de rubber snaar die zich rond de subschotel bevindt door de ronde opening en lus deze om de motorpoelie.

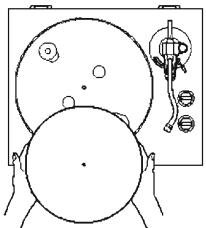
- Zorg dat het rubber niet wordt gedraaid.
- Draai het draaitafelplateau verschillende keren rond om te zorgen dat de snaar goed zit.



Wordt vervolgd op de volgende pagina →

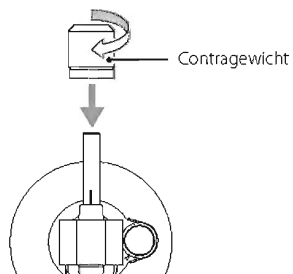
4 Plaats de vilten mat op het draaitafelplateau.

Plaats de vilten mat vóór gebruik op het draaitafelplateau.



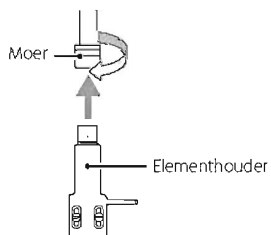
5 Installeer het contragewicht.

Draai het contragewicht met de klok mee op het uiteinde van de draaitafelarm en druk het voorzichtig aan om het draaiend vast te maken.

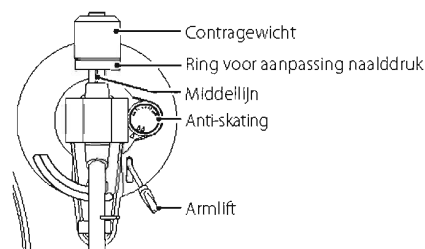


6 Installeer de elementhouder.

Installeer de elementhouder aan het uiteinde van de draaitafelarm en draai de moer aan om de elementhouder vast te maken.

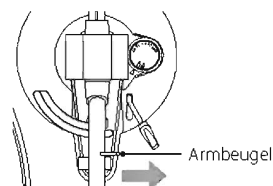


De draaitafelarm balanceren en de naalddruk aanpassen



1 Zet de anti-skatingdraaiknop op nul.

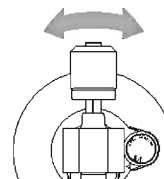
2 Beweeg de armbeugel voorzichtig naar rechts om de draaitafelarm vrij te maken.



3 Breng de armlift omhoog en verplaats de draaitafelarm enigszins naar links.

4 Breng de armlift omlaag.

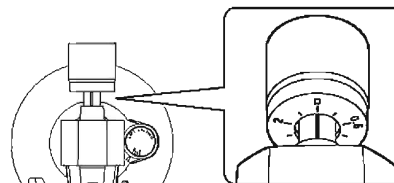
5 Draai aan het contragewicht en stel dit zo in dat de draaitafelarm horizontaal is.



- Alvorens de instelling te maken, draal eerst het beschermkapje omlaag, zodat er geen schade aan het element ontstaat.
- Laat de naald van het element geen contact maken met het apparaat.

6 Breng de draaitafelarm terug in de oorspronkelijke positie en vergrendel de arm met de klem.

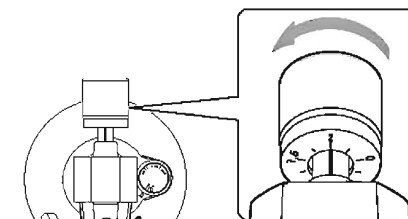
7 Draai aan de ring om de naalddruk aan te passen zodat de middellijn gelijk ligt met 0 op de schaal.



- Draai alleen aan de ring. Zorg dat het contragewicht niet draait.

8 Draai het contragewicht zo dat de ring voor aanpassing van de naalddruk overeenkomt met de naalddruk die voor het element wordt gespecificeerd.

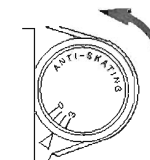
- De naalddruk van het meegeleverde element is 1,4 g. Draai dus tot 1.4 op de schaal van het contragewicht bij gebruik van het meegeleverde element.



- Draai naar rechts van 0 in de richting van 0.5 en 1.0.

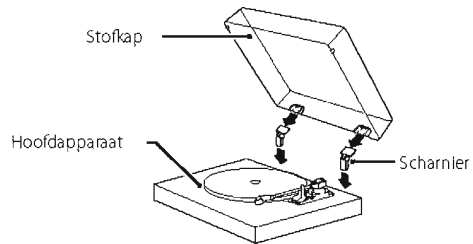
9 Pas de anti-skatingdraaiknop aan.

Start met deze knop op 1.4 en pas dit tijdens het afspelen van een grammofoonplaat (pagina 55) aan tot de positie waar de geluidsvolumes links en rechts in balans zijn.



Stofkap

De stofkap bevestigen



1 Steek de scharnieren volledig in de scharnierhouders aan de linker en rechter achterkant van het hoofdapparaat.

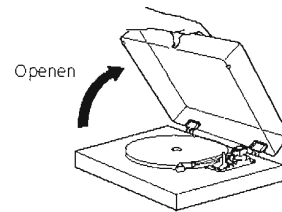
2 Breng de bovenkanten van de scharnieren op één lijn met de scharnierhouders van de stofkap en schuif deze erin.

- Sluit de stofkap tijdens afspelen. Hiermee wordt haperen door onbedoeld contact voorkomen en wordt externe geluidsdruk geblokkeerd, waardoor er minder snel bijgeluiden optreden.
- Niet openen of sluiten als er een grammofoonplaat wordt afgespeeld. Hierdoor kan de naald bijvoorbeeld gaan haperen.
- Houd de kap zoveel mogelijk gesloten om stof te weren.

De stofkap verwijderen

Houd de stofkap aan beide kanten vast en wil deze langzaam omhoog om te verwijderen uit de scharnieren van het apparaat. Verwijder vervolgens de scharnieren van de stofkap.

De stofkap openen en sluiten



Openen

Houd de voorkant van de stofkap vast en heel deze voorzichtig open totdat hij stuit. De stofkap blijft in deze positie openstaan.

Sluiten

Laat de stofkap voorzichtig zakken tot deze is gesloten.

⚠ Voorkom dat uw vinger klem komt te zitten, bijvoorbeeld bij het openen en sluiten van de stofkap.

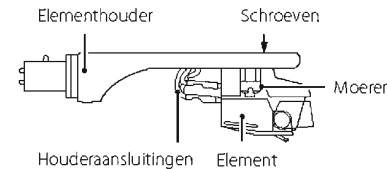
Het element verwisselen

Verwijder voor het verwisselen van het element eerst de elementhouder van de draaitafelarm.

- Het in dit apparaat geïnstalleerde element is een equivalent van het Audio-Technica AT100E VM Type element. (de vervangingsnaald voor het geïnstalleerde element is groen. Deze heeft geen Audio-Technica-merk)

OPMERKING

- Elementen van het type VM hebben dezelfde eigenschappen als type MM elementen.
- We adviseren om het elementbeschermkapje omlaag te draaien voordat u deze taak uitvoert.

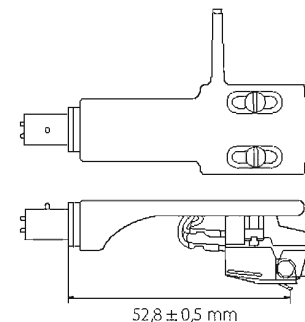


1 Maak de aansluitingen van de elementhouder los van het element.

2 Maak de schroeven los en verwijder het element.

3 Maak het nieuwe element vast en draai de schroeven aan.

Zie de onderstaande illustratie voor de positie van de schroeven als deze worden bevestigd.



4 Sluit de aansluitingen van de elementhouder aan op het element.

- De signalen en kleuren van de elementaansluitingen worden hieronder weergegeven.

| Signaal | Kleur |
|------------------|-------|
| Linker kanaal + | Wit |
| Linker kanaal - | Blauw |
| Rechter kanaal + | Rood |
| Rechter kanaal - | Groen |

5 Balanceer de draaitafelarm en pas de naaldruk aan.

Volg de aanwijzingen in "De draaitafelarm balanceren en de naaldruk aanpassen" op pagina 52.

Opmerking over draaitafelnaalden

- Als de naald vervormd (beschadigd) raakt, kunnen de groeven niet meer correct worden afgetast. Behandel naalden voorzichtig, omdat een vervormde naald grammofoonplaten kan beschadigen en defecten kan veroorzaken.
- Gebruik altijd een in de handel verkrijgbare naaldreiniger om de naald te reinigen. Gebruik van andere reinigingsmiddelen om een naald te reinigen kan de naald beschadigen.

De naald vervangen

Als de punt van de naald versleten raakt, wordt het geluid niet alleen slechter, maar kan dit ook schade aan de grammofoonplaten opleveren. Vervang de naald na ongeveer 300 uur speeltijd door een type dat door ons wordt geadviseerd.

Gebruik een Audio-Technica ATN100E vervangingsnaald.

- Het in dit apparaat geïnstalleerde element is een equivalent van het Audio-Technica AT100E VM Type element. (de vervangingsnaald voor het geïnstalleerde element is groen. Deze heeft geen Audio-Technica-merk)

OPMERKING

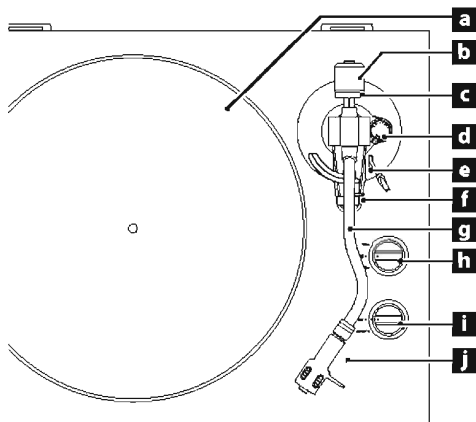
Elementen van het type VM hebben dezelfde eigenschappen als type MM elementen.

- Volg voor vervanging de instructies in de handleiding van de vervangende naald.

LET OP

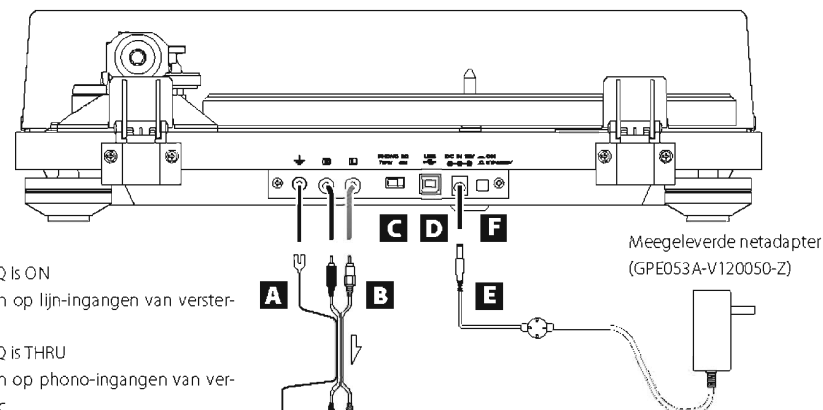
- Schakel het apparaat op standby alvorens de naald te vervangen, omdat er zich hierbij luide geluiden kunnen voordoen.
- Zorg dat u uw hand niet bezeert of het apparaat beschadigt.
- Pas op dat kinderen niet per ongeluk naalden inslikken.
- Bedenk dat vervormde naalden, bijvoorbeeld veroorzaakt door onjuist gebruik of een externe oorzaak, niet onder de garantie vallen.

Namen en functies van onderdelen



- a Draaitafelplateau**
Plaats grammofoonplaten gecentreerd op het draaitafelplateau.
- b Contragewicht**
- c Ring voor aanpassing naalddruk**
- d Anti-skatingknop**
- e Armlifthendel**
Hiermee brengt u de punt van de naald omhoog en omlaag.
We adviseren het gebruik van de armlift om beschadiging van grammofoonplaten en naalden te voorkomen. Dit werkt veiliger en stabielere dan de naald met de hand plaatsen.
- f Armhouder**
Hier rust de draaitafelarm op. Verplaats voor het afspeken van een grammofoonplaat de armbeugel enigszins naar rechts om deze te verwijderen.
- g Draaitafelarm**
- h Toerental instelknop**
Selecteer het toerental dat op de grammofoonplaat wordt aangegeven.
- i Draaiknop START/STOP**
- j Elementhouder**
Dit is een universeel type waarmee het element eenvoudig kan worden vervangen.

Aansluitingen



- Als PHONO EQ is ON
Aansluiten op Lijn-ingangen van versterker, etc.
- Als PHONO EQ is THRU
Aansluiten op phono-ingangen van versterker, etc.

A Aardeaansluiting (⊖)

Gebruik de aardingskabel van de meegeleverde RCA-kabel om deze op de aardeaansluiting van bijvoorbeeld de versterker aan te sluiten.

- Dit is geen elektrische aardbeveiliging.

Als de luidsprekers duidelijk waarneembare ruis laten horen.

Als door het aansluiten van de aardingskabel van de audiokabel op de aardeaansluiting van dit apparaat het ruis niet wordt verminderd, koppel de aardingskabel los en controleer het geluid opnieuw. Gebruik de methode (aangesloten/verwijderd) met de minste ruis.

B Analoge audio-uitgangen (L/R)

Deze verzenden analoge audiosignalen. De instelling van de schakelaar PHONO EQ wijzigt het type uitgangssignaal. Gebruik de meegeleverde audiokabel (of een in de handel verkrijgbare audiokabel) om andere apparatuur op de uitgangen van dit apparaat aan te sluiten.

⚠ Voorzorgsmaatregelen voor het aansluiten

- Steek de stekker van het apparaat niet in het stopcontact voordat u alle aansluitingen heeft voltooid.
- Lees de handleidingen van de apparatuur waarmee u aansluitingen tot stand brengt zorgvuldig en volg de instructies op bij het realiseren van de aansluitingen.

C Schakelaar PHONO EQ (instelling audio-uitgang)

ON

Signalen die zijn versterkt door de ingebouwde toonregelingsversterker worden weergegeven via de analoge audio-uitgangen (L/R).

THRU

Het signaal van het MC- of MM-element wordt direct via de analoge audio-uitgangen (L/R) weergegeven. Sluit op een apparaat aan met phono-ingangen, zoals een voorversterker met toonregeling of een versterker met phono-ingangen.

- Bij aflevering vanaf de fabriek is dit ingesteld op ON.
- Stel dit in op ON als een apparaat is aangesloten op de USB-poort.

LET OP

Indien ingeschakeld en aangesloten op de PHONO-ingangen van bijvoorbeeld een versterker kan de weergave via luidsprekers en hoofdtelefoons zeer luid zijn, wat de apparatuur of uw gehoor kan beschadigen.

D USB-poort (USB B-type)

Het geluid van de grammofoonplaat wordt geconverteerd naar digitaal (resolutie tot 48 kHz / 16 Bit) en verzonden. Opnemen met een computer is mogelijk door deze met een USB-kabel op een USB-poort van de computer aan te sluiten (pagina 56).

E DC-ingang

Voltooi eerst alle andere aansluitingen en sluit dan de meegeleverde netadapter (GPE053A-V120050-Z) op deze ingang aan.

Controleer of de stekker van de netadapter in het stopcontact is gestoken.

- Trek de stekker uit het stopcontact als u het apparaat voor langere tijd niet gaat gebruiken.
- Gebruik geen andere netadapter dan de meegeleverde (GPE053A-V120050-Z).

⚠ Zorg dat het netsnoer wordt aangesloten op een stopcontact dat het juiste voltage levert. Aansluiten op een stopcontact dat het verkeerde voltage levert kan brand of elektrische schokken veroorzaken.

⚠ Houd de stekker vast als het snoer in het stopcontact wordt gestoken of eruit wordt getrokken. Trek nooit met kracht aan het netsnoer.

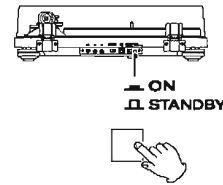
⚠ Trek de stekker uit het stopcontact als u het apparaat voor langere tijd niet gaat gebruiken.

F Toets STANDBY/ON

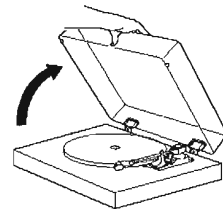
Druk op de toets STANDBY/ON om het apparaat in te schakelen of op standby te zetten.

Grammofoonplaten afspeLEN

1 Druk op de toets STANDBY/ON aan de achterkant van het apparaat om het in te schakelen.

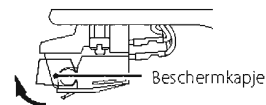


2 Open de stofkap langzaam.



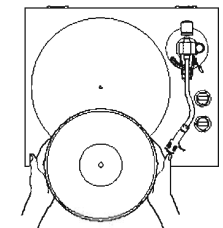
⚠ Voortkom dat uw hand klem komt te zitten, bijvoorbeeld bij het openen en sluiten van de stofkap.

3 Draai het elementbeschermkapje omhoog.



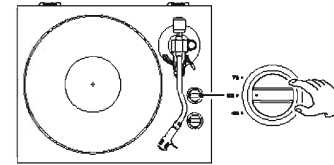
4 Plaats een grammofoonplaat op het draaitafelplateau.

Gebruik bij het afspeLEN van een 45-toeren-single met een groot middengat de meegeleverde adapter.

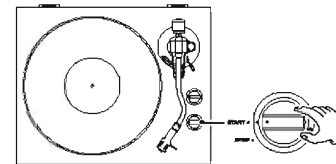


5 Selecteer het toerental aangegeven op de plaat.

Het toerental kan worden ingesteld op 33 1/3, 45 of 78 RPM (omwentelingen per minuut).

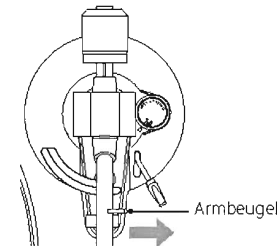


6 Draai de knop START/STOP naar START om de draaitafel te starten.

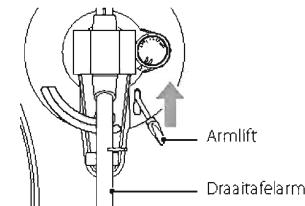


- Als de knop START/STOP naar START wordt gedraaid begint het draaitafelplateau te draaien en de blauwe START lamp gaat branden.

7 Beweeg de armbegel voorzichtig naar rechts om de draaitafelarm vrij te maken.

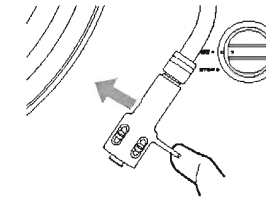


8 Breng de armlift omhoog.



- U kunt zonder de armlift te gebruiken de draaitafelarm ook met de hand boven de grammofoonplaat brengen en de arm langzaam omlaag brengen om het afspeLEN te starten.

9 Breng de draaitafelarm naar de track die u wilt afspeLEN.



10 Breng de armlift omlaag.

Breng de draaitafelarm langzaam omlaag tot de naald op de plaat terechtkomt en het afspeLEN begint.

- Sluit de stofkap tijdens afspeLEN. Hiermee worden bijgeluiden verminderd, wordt haperen door onbedoeld contact voorkomen en wordt externe geluidsdruk geblokkeerd.

⚠ Plaats geen objecten op de stofkap.

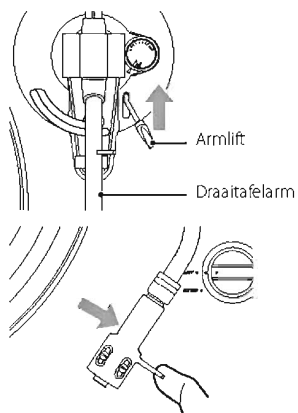
LET OP

- Raak tijdens afspeLEN de draaitafelarm of de grammofoonplaat niet aan. Hierdoor kan de punt van de naald beschadigen en kunnen er krassen op de grammofoonplaat komen.
- Stop het draaien van het draaitafelplateau niet geforceerd tijdens afspeLEN. Omdat dit product geen draaitafel is die ontworpen is voor DJ's (direct drive), kan hierdoor een defect ontstaan.

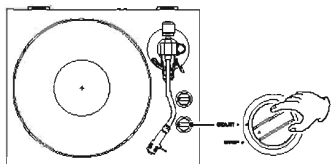
Als het geluidsvolume te hoog is, kan tijdens het afspeLEN van een grammofoonplaat feedback optreden. Als dit gebeurt, verlaag dan het volume van de versterker.

Als het afspelen is voltooid

- 1 Breng de armlift omhoog om de naald van de plaat te tillen en breng de draaitafelarm naar de uitgangspositie.**



- 2 Draai de knop START/STOP naar STOP om de draaitafel te stoppen.**



- De blauwe START-lamp dooft en het draaitafelplateau stopt.

Het geluid van een grammofoonplaat kan digitaal worden opgenomen met een computer door dit apparaat op een USB-poort van een computer aan te sluiten met een in de handel verkrijgbare USB-kabel.

Ondersteunde besturingssystemen

Computers met de volgende besturingssystemen kunnen via USB op dit apparaat worden aangesloten (vanaf oktober 2016).

Windows

Windows 7 (32-bit, 64-bit)
Windows 8 (32-bit, 64-bit)
Windows 8.1 (32-bit, 64-bit)
Windows 10 (32-bit, 64-bit)

Mac

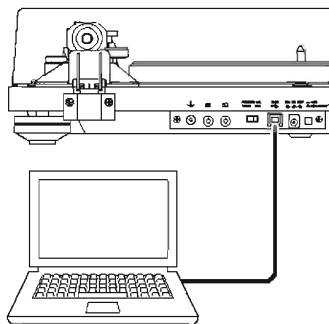
OS X Lion (10.7)
OS X Mountain Lion (10.8)
OS X Mavericks (10.9)
OS X Yosemite (10.10)
OS X El Capitan (10.11)
macOS Sierra (10.12)

Als u niet een van de bovenstaande besturingssystemen gebruikt, is de werking niet gegarandeerd.

- Dit apparaat werkt met het standaard Windows- of Mac-stuurprogramma, dus u hoeft geen speciaal stuurprogramma te installeren.

Aansluiten op een computer

- 1 Schakel de computer in.**
Controleer of het besturingssysteem correct werkt.
- 2 Sluit de computer en dit apparaat op elkaar aan met de USB-kabel.**



- Gebruik een in de handel verkrijgbare USB-kabel met een ferrietkern.

- 3 Druk op de toets STANDBY/ON van dit apparaat om het in te schakelen.**

Als de verbinding tot stand is gebracht, detecteert de computer automatisch de USB-poort van dit apparaat en wordt het geïdentificeerd als "USB Audio CODEC".

- Om audio van deze platenplayer met een computer te kunnen opnemen moet u eerst software installeren waarmee audio op de computer kan worden opgenomen. U kunt de audio-opnamesoftware van uw eigen keus afzonderlijk kopen of gratis software zoals Audacity (<http://www.audacityteam.org/>) van internet downloaden. Audacity is gratis software die niet wordt ondersteund door TEAC.
- Vermijd het volgende als er met de computer wordt opgenomen. Hierdoor kan de computer onjuist gaan functioneren. Sluit de opnamesoftware op de computer altijd af, alvorens de volgende handelingen te verrichten.
 - De USB-kabel losmaken
 - Het apparaat op standby schakelen

Computerinstellingen

Het volgende voorbeeld behandelt de instellingen die moeten worden gemaakt met behulp van Windows 7.

- 1 Selecteer Configuratiescherm in het menu Start.**
- 2 Klik op "Geluid".**
- 3 Klik op het tabblad "Opnemen" en controleer of "USB Audio CODEC" is ingesteld als "Standaardapparaat".**
- 4 Selecteer "Microphone USB Audio CODEC" en klik op de toets Eigenschappen.**
- 5 Klik op het tabblad "Geavanceerd".**

- 6 Kies in het vervolgkeuzemenu "Standaardindeling" de gewenste opnamewaliteit (indeling).**

TIP

Selecteer "2-kanaals, 16-bits, 48000 Hz" om op te nemen op de hoogste geluidskwaliteit die dit apparaat kan produceren. Een lagere instelling voor samplingfrequentie produceert kleinere bestanden, maar vermindert ook de geluidskwaliteit.

- 7 Klik op "OK".**

Als u een probleem met dit apparaat ervaart, controleer dan eerst de volgende onderdelen alvorens service aan te vragen. Er kan ook een andere oorzaak voor het probleem zijn dan dit apparaat. Controleer ook of de aangesloten apparaten op de juiste manier worden gebruikt.

Als er nog steeds niet correct werkt, neem dan contact op met de leverancier waar u het apparaat heeft gekocht.

Geen stroom.

- ➔ Controleer of de netadapter in het stopcontact is gestoken. Druk vervolgens op de toets STANDBY/ON om het apparaat in te schakelen (pagina's 54 en 55).

Er wordt geen geluid voortgebracht.

- ➔ Zet bij aansluiten van de analoge audio-uitgangen van dit apparaat op de analoge audio-ingangen van een versterker of andere apparatuur de schakelaar PHONO EQ (instelling audioringang) op ON (pagina 54).

Afspelen is niet mogelijk; er is ruis te horen.

- ➔ Draai het beschermkapje omhoog (pagina 55).
- ➔ Vingerafdrukken en vuil op een grammofoonplaat kunnen ruis en het haperen van het geluid veroorzaken. Gebruik in de handel verkrijgbare platenreiniger om grammofoonplaten te reinigen (pagina 51).
- ➔ Reinig de naald (pagina 54).
- ➔ Als de naald is versleten, vervang deze dan (pagina 54). De levensduur van een naald is afhankelijk van de gebruiksondities, maar bedraagt meestal ongeveer 300 uur.
- ➔ Plaats dit apparaat zover mogelijk van TV's, magnetrons en andere apparatuur die elektromagnetische golven uitzendt.

Er is ruis te horen als er een opname wordt afgespeeld.

- ➔ Er kan ruis optreden als de naalddruk hoger is dan voor het element wordt opgegeven. Pas de naalddruk opnieuw aan naar de opgegeven waarde (pagina 52).

De toonhoogte is niet correct.

- ➔ Selecteer het toerental aangegeven op de plaat (pagina 55).

Het geluid hapt.

- ➔ Trillingen kunnen haperingen veroorzaken. Plaats dit apparaat op een stabiele locatie.
- ➔ Reinig de plaat.
- ➔ Gebruik geen grammofoonplaten met krassen.
- ➔ Balanceer de draaitafelarm en pas de naalddruk opnieuw aan (pagina 52). Als de naalddruk lager is dan voor het element aanbevolen, kunnen de naald en het geluid gaan haperen.

Draaitafelplateau

| | |
|------------------------|---|
| Aandrijving | Snaaraandrijving |
| Motor | Gelijkstroommotor |
| Toerental | 33 1/3 rpm, 45 rpm, 78 rpm |
| Toerental variatie | ±2 % |
| Wow en flutter | 0,2 % |
| Signaal/ruisverhouding | 67 dB of hoger (A-gewogen, 20 kHz LPF) |
| Draaitafelplateau | Gegoten aluminium 30 cm diameter (12 inch) |

Draaitafelarm

| | |
|----------------------------|--|
| Type | Draaitafelarm met S-vorm en vaste balans |
| Effectieve armlengte | 223 mm |
| Variatiebereik naalddruk | 0–5 g |
| Toegestaan gewicht element | 4,0–8,0 g |

Element

| | |
|---------------------------------|---|
| Type | VM (equivalent van MM) |
| Uitgangsvoltage | 4,5 mV (1 kHz, 5 cm/s) |
| Naalddruk | 1,4 ±0,4 g |
| Gewicht element | 6,5 ±0,2 g |
| Inclusief gewicht elementhouder | 10 g (inclusief schroeven, moeren en bedrading) |

- De levensduur van een naald is afhankelijk van de gebruikscondities, maar bedraagt meestal ongeveer 300 uur.
- Het in dit apparaat geïnstalleerde element is een equivalent van het Audio-Technica AT100E VM Type element. (de vervangingsnaald voor het geïnstalleerde element is groen. Deze heeft geen Audio-Technica-merk)
Opmerking: Elementen van het type VM hebben dezelfde eigenschappen als type MM elementen.
- Type vervangende naald: Audio-Technica ATN100E

Uitgangsvoltage

| | |
|---------------|------------------------------------|
| PHONO EQ THRU | 4,5 mV (1 kHz, 5 cm/s) ±3 dB |
| PHONO EQ ON | 230 mV (–13 dBV) |
| Uitgangen | RCA |

USB-poort

| | |
|---|---|
| USB-poort die voeding kan ontvangen van computer USB-poorten (volledige snelheid) | USB-aansluiting type B |
| Ondersteuning USB-voeding | 5 V, 500 mA |
| Samplingfrequentie | 8 kHz, 11,025 kHz, 16 kHz, 22,05 kHz, 32 kHz, 44,1 kHz, 48 kHz |
| Kwantisatie bitdiepte | 16-bit |

Algemeen

| | |
|---|--------------------------------|
| Vermogen netadapter | |
| Ingang | 100–240 V AC, 50–60 Hz |
| Vermogen | 12 V DC, 500 mA |
| Opgenomen vermogen | |
| Standby | 0,5 W of minder |
| On (START) | 1,5 W of minder |
| Gewicht | 4,9 kg |
| Temperatuurbereik voor gebruik | 5 °C tot 35 °C |
| Afmetingen (B × H × D, inclusief uitstekende delen) | |
| Stofkap gesloten | 420 mm × 117 mm × 356 mm |
| Stofkap open | 420 mm × 381 mm × 402 mm |
| Stofkap verwijderd | 420 mm × 102 mm × 356 mm |

- Prestatiegegevens zijn gespecificeerd bij 20 °C.

Meegedeleverde onderdelen

| | |
|--|-----|
| Viltmat | × 1 |
| 45 RPM adapter | × 1 |
| Contragewicht | × 1 |
| Elementhouder | × 1 |
| Geleverd met Audio-Technica VM Type (dual magnet) stereo element (identiek aan AT100E) | |
| Draaitafelplateau | × 1 |
| Stofkap | × 1 |
| Stofkap scharnieren | × 2 |
| RCA audiokabel met aardaansluiting | × 1 |
| Netadapter (GPE053 A-V120050-Z) | × 1 |
| Gebruikershandleiding (dit document) | × 1 |

- Specificaties en uiterlijk kunnen worden gewijzigd zonder voorafgaande kennisgeving.
- Gewicht en afmetingen zijn benaderingen.
- Afbeeldingen in deze gebruikershandleiding kunnen enigszins afwijken van de productiemodellen.

CAUTION

RISK OF ELECTRIC SHOCK

DO NOT OPEN

OBS: FÖR ATT MINSKA RISKEN FÖR ELSTÖTAR TA INTE BORT SKYDDET (ELLER BAKSIDAN). INGA DELAR INUTI SOM ANVÄNDAREN KAN REPARERA. LÅT KVALIFICERADE SERVICETEKNIKER UTFÖRA ALLT SERVICEARBETE.

Den lysande lampan med pilsymbol inom en liksidig triangel är avsedd för att varna användaren för närvaro av oisolerad "farlig spänning" inom produktens hölje som kan ha en betydande storlek för att skapa risk för elstötar för personer.



Utropstecknet inom den liksidiga triangeln är avsedd till att varna användaren för närvaro av viktiga drift- och underhållsanvisningar (service) i handboken som medföljer enheten.



VARNING: FÖR ATT MINSKA RISKEN FÖR BRAND ELLER ELSTÖTAR, UTSÄTT INTE ENHETEN FÖR REGN ELLER FUKT.

FÖRSIKTIGHET

- Ta inte bort det externa höljet eller skåpet för att sätta elektroniken. Det finns inga delar inuti som användaren kan reparera.
- Om du upplever problem med denna produkt skall du kontakta butiken där du köpte enheten för service. Använd inte produkten tills den har reparerats.
- Användning av kontroller eller justering eller prestanda av procedurer annat än som specificeras här kan leda till farlig utsättning för strålning.

- 1) Läs dessa anvisningar.
- 2) Behåll dessa anvisningar.
- 3) Följ alla varningar.
- 4) Följ alla anvisningar.
- 5) Använd inte enheten nära vattnet.
- 6) Rengör den endast med en torr trasa.
- 7) Blockera Inga ventilationsöppningar. Installera i enlighet med tillverkarens anvisningar.
- 8) Installera den inte i närheten av värmekällor som element, värmeblock, kaminer eller andra enheter (inklusive förstärkare) som producerar värme.

- 9) Gör inte emot säkerhetsanordningen med polariserad kontakt eller jordningskontakt. En polariserad kontakt har två blad, en bredare än den andra. En jordningskontakt har två blad och en tredje jordningspinne. Den breda bladen eller den tredje pinnen r där för din säkerhet. Om den medföljande kontakten inte passar till ditt uttag, prata med en elektriker för att byta det gamla uttaget.
- 10) Skydda strömkablar från att böjas eller spricka främst i närheten av kontakter, vanliga fästen i punkten där de kommer ut från enheten.
- 11) Använd endast tillbehör/accessoarer som specificeras av tillverkaren.
- 12) Använd endast tillsammans med vagnen, ståndet, trefoten, bricka eller bordet som specificeras av tillverkaren eller som säljs med enheten. Om det används en vagn, var försiktig när du flyttar vagnen/enheten i kombination för att undvika skador vid vältning.
- 13) Koppla från denna enhet med åskan eller om du inte använder den över en längre tid.
- 14) Låt service utföra av kvalificerad servicepersonal. Service behövs när enheten har på något sätt skadats som till exempel att strömsladden- eller kontakten är skadad, att det har spillts ut vätska eller om det har fallit i föremål i enheten, enheten har varit utsatt för regn eller fukt, fungerar inte normalt eller har tappats.



- Apparaten drar nominella icke-operativ ström från vägguttaget med dess POWER eller STANDBY/ON-knappen inte i ON-läge.
- Nätkontakten används som fränkopplingsenhet och fränkopplingsenheten ska vara driftsduglig.
- Försiktighet bör iaktas vid användning av öronsnäckor eller hörlurar med produkten eftersom överdrivet ljudtryck (volym) från öronsnäckor eller hörlurar kan orsaka hörselskador.

FÖRSIKTIGHET

- Utsätt inte denna apparat för dropp eller stänk.
- Ställ inga föremål som innehåller vätska, t.ex. vaser, på apparaten.
- Installera inte apparaten i ett slutet utrymme såsom en bokhylla eller liknande.
- Apparaten ska placeras tillräckligt nära vägguttaget så att du lätt kan nå nätsladden när som helst.

FÖRSIKTIGHET

Ändringar eller modifieringar som inte uttryckligen är godkända av parten som har ansvaret för överensstämmelsen skulle kunna ogiltiggöra användarens behörighet att bedriva utrustningen.

För kunder i Europa

Kassering av elektrisk och elektronisk utrustning och batterier och/eller ackumulatorer

- a) Alla elektriska/elektroniska produkter och förbrukade batterier/ackumulatorer bör kasseras separat från hushållsavfall, helst via insamlingsanläggningar som bestäms av regeringen eller lokala myndigheter.
- b) Genom att kassera elektriska/elektroniska produkter och förbrukade batterier/ackumulatorer på rätt sätt hjälper du till att spara värdefulla resurser och förhindrar eventuella negativa effekter på människors hälsa och på miljön.
- c) Felaktig kassering av avfall från elektriska/elektroniska produkter och batterier/ackumulatorer kan få allvariga effekter på miljön och människors hälsa. Detta på grund av förekomsten av farliga ämnen i utrustningen.
- d) Symboler som visar en överstruken soptunna indikerar att elektrisk/elektronisk utrustning och batterier/ackumulatorer måste samlas och kasseras separat från hushållsavfallet.

Om ett batteri eller ackumulatör innehåller mer än de specificerade värdena av bly (Pb), kvicksilver (Hg) och/eller kadmium (Cd) enligt definitionen i batteridirektivet (2006/66/EC), kommer de kemiska symbolerna för dessa element visas under WEEE symbolen.
- e) Återlämnings- och insamlingsssystem finns tillgängliga för slutanvändare. För mer detaljerad information om avfallshandling av gammal elektrisk/elektronisk utrustning och förbrukade batterier/ackumulatorer, var god kontakta din kommun, renhållningsverket eller den butik där du köpte utrustningen.



Pb, Hg, Cd

Modell för Europa



Produkten uppfyller kraven i EU-direktiv och andra regleringar från Kommissionen.

Apple, Mac, OS X and macOS are trademarks of Apple Inc.

Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Andra företagsnamn och produktnamn i detta dokument är varumärken eller registrerade varumärken som tillhör sina respektive ägare.

Innehåll

Tack för att du har valt TEAC.

Läs noggrant denna bruksanvisning, för att få ut enhetens bästa prestanda.

Efter att du har läst den, vänligen spara den på en säker plats för framtida bruk.

| | |
|---|----|
| VIKTIGA SÄKERHETSINSTRUKTIONER | 58 |
| Före användning | 59 |
| Hantera skivor | 59 |
| Förbereda skivspelaren | 59 |
| Dammskydd | 61 |
| Byta patron | 61 |
| Anmärkning om skivnålar | 62 |
| Namn och funktion på enhetens delar | 62 |
| Anslutningar | 62 |
| Grundläggande användning | 63 |
| Spela in med datorn | 64 |
| Felsökning | 65 |
| Specifikationer | 65 |

Före användning

Medföljande delar

Kontrollera lådan för att vara säker på att den innehåller all medföljande tillbehör nedan. Vänligen kontakta butiken där du köpte enheten om något av dessa tillbehör saknas eller har skadats under transporten.

- Filtmat × 1
- 45 RPM-adapter × 1
- Motivikt × 1
- Headshell × 1
 - Förinstallerad Audio-Technica VM-stereopatron (dubbel magnet, ekvivalent med AT100E)
- Skivtallrik × 1
- Dammskydd × 1
- Dammskydd gångjärn × 2
- RCA-ljudkabel med jordterminal × 1
- Nätadapter (GPE053A-V120050-2) × 1
- Bruksanvisning (detta dokument) × 1

Försiktighetsåtgärder för användning

- Placera inget på dammskyddet. Föremål på locket skulle kunna orsaka buller på grund av vibrationer eller falla ner, framför allt vid uppspelning.
- Undvik att placera enheten i direkt solljus, nära till värmekällor eller i liknande förhållanden. Placera inte enheten på en förstärkare eller annan utrustning som kan generera värme som överskrider driftstemperaturnivån av denna enhet. Om du gör så, kan det komma till missfärgningar, deformation och fel funktion.

Använda TEAC Global Site

Du kan ladda uppdateringar för denna enhet från TEAC Global Site: <http://teac-global.com/>

- Öppna TEAC Global Site.
- Under TEACs "Downloads"-avsnitt, klicka på det önskade språket för att öppna nedladdningssidan för det språket.

ANMÄRKNING

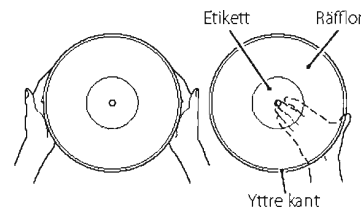
Om det önskade språket inte visas, klicka på "Other Languages".

- Välj din produkt under "Search by Model Name"-avsnittet för att öppna nedladdningssidan för denna produkt. (Användare i Europa klickar på produktnamnet i "Products"-avsnittet för att öppna nedladdningssidan för denna produkt.)
- Välj och hämta de uppdateringar som behövs.

Hantera skivor

Hålla skivor

När du håller en skiva eller tar ut den från sitt omslag, undvik att röra räfflorna genom att hålla skivan vid dess etikett och kanten med en hand eller genom att hålla den vid dess kant med båda händer.



Rengöring

- Fingeravtryck eller damm på en skiva kan orsaka buller och ljudet kan hoppa samt kan skivan skadas och även nålen. Använd en separat inköpt skivrennare för att rengöra skivor. Använd inte en förtunnare eller något annat än en skivrennare. Sådana kemikalier kan skada skivans yta.
- Om du använder en skivrennare, torka av skivans yta i krets rörelse, genom att följa räfflorna.



Försiktighetsåtgärder för användning

- Lämna inte skivorna på platser där de utsätts för direkt solljus eller på väldigt varma och fuktiga platser. Om du lämnar en skiva under sådana omständigheter under en längre tid, kan leda till böjning av skivan, mögeltillväxt eller andra skador.
- Lägg inte flera skivor på varandra eller placera inte tunga objekt på dem. Lämna inte heller skivor i ett hörn för en längre tidsperiod. De skulle kunna bli skeva eller skadade på ett annat sätt.
- Låt inte hårda objekt direkt röra vid ljudräfflorna. Det skulle kunna orsaka repor.
- När du har spelat klart en skiva, placera den alltid tillbaka i sitt omslag för lagring. Om du lämnar skivor oskyddade, kan de bli skeva eller repiga.
- Använd inte spruckna skivor.

Förbereda skivspelaren

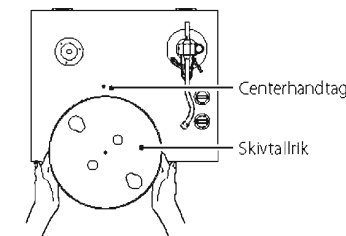
Håll enheten i vänteläge medan du konfigurerar (F på sida 63).

1 Placera den på en flat yta.

Placera den på en platta yta, så att skivan kan spåras korrekt.

2 Installera skivtallriken.

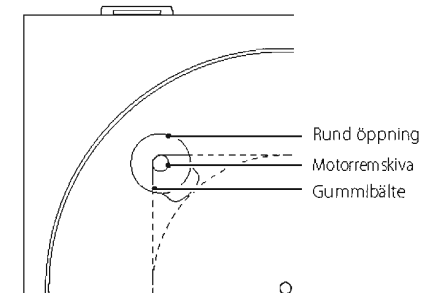
Justera skivtallriken till mellanhandtaget och installera den.



3 Linda bältet runt motorremskivan.

Använd ett finger för att dra gummibältet så att den är lindad runt subdisken genom den runda öppningen och linda den runt motorremskivan.

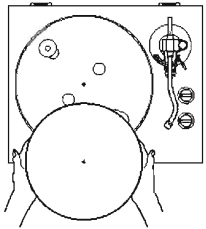
- Var försiktig att gummit inte vrids.
- Vrid med skivtallriken flera gånger för att kontrollera att den är säkrad.



Fortsättning på nästa sida →

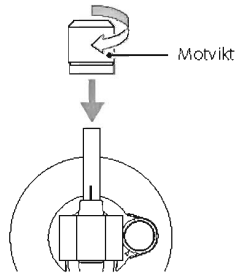
4 Placera den filtmattn på skivtallriken.

Placera den medföljande filtmat på skivtallriken innan du använder den.



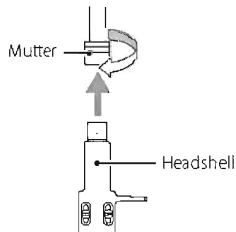
5 Installera motvikten.

Placera motvikten över änden av tonarmen och tryck in den försiktig när du vrider med den för att bifoga den.

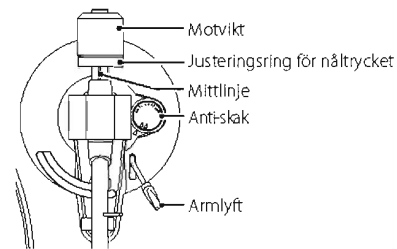


6 Installera headshellen.

Placera headshellen på änden av tonarmen och vrid med muttern för att säkra den på plats.

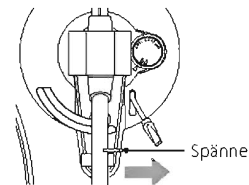


Balansera ut tonarmen och justera nåltrycket



1 Ställ in anti-skak-ratten till noll.

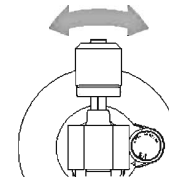
2 Skjut tonarmens spänne till höger för att ta bort den.



3 Lyft armlyften och flytta tonarmen lite till vänster.

4 Sänk tonarmen.

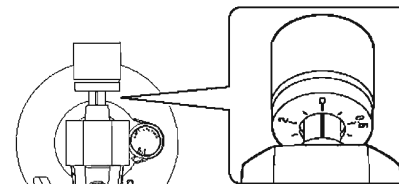
5 Vrid med motvikten och justera den så att tonarmen är vågrät.



- Innan du justerar, sänka skyddet för att inte skada patronstylusen.
- Var försiktig att nålen inte kommer i kontakt med enheten.

6 Sätt tillbaka tonarmen till dess originalposition och använd klämman för att låsa fast den.

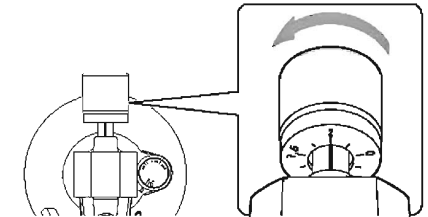
7 Vrid med justeringsringen för nåltrycket, så att mittlinjen står på 0 på skalan.



- Vrid endast med ringen. Var försiktig att motvikten inte vrids.

8 Vrid med motvikten, så att justeringsringens skala för nåltrycket matchar nåltrycket som specificeras för patronen.

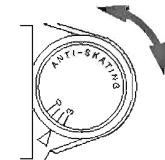
- Nåltrycket av den medföljande patronen är 1,4 g. Vrid den till 1,4 på motviktsskalan, när du använder den medföljande patronen.



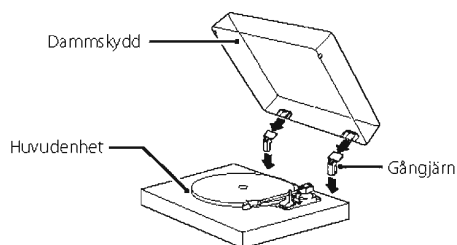
- Vrid den från 0 i riktning av 0,5 och 1,0.

9 Justera anti-skak-ratten.

Starta med den inställd till 1,4 och justera medan du spelar upp skivan (sida 63) till positionen där den vänstra och högra volymen är balanserad.



Fästa dammskyddet



1 Sätt gångjärn komplett i gångjärnhållarna på vänster och höger slut av huvudenhetens baksida.

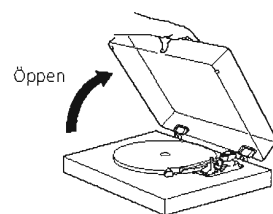
2 Rätta upp toppen av gångjärn med dammskyddets gångjärnhållare och sätt in dem.

- Stäng dammskyddet under uppspelningen. Detta förhindrar att skivan hoppar på grund av oavsiktlig kontakt och blockerar det externa ljudtrycket, vilket för att buller inte uppstår så ofta.
- Öppna inte eller stäng inte den när en skiva spelas upp. Om du gör så, kan det orsaka att nålen hoppar.
- Håll den alltid stängd då det är möjligt, för att förhindra att damm tränger in.

Ta bort dammskyddet

Håll båda kanter av dammskyddet och lyft den sakta för att ta bort den tillsammans med gångjärn från enheten. Sedan ta bort gångjärn från dammskyddet.

Öppna och stänga dammskyddet



Öppna

Håll framkanten av dammskyddet och lyft den försiktigt för att öppna den helt tills den stoppas. Dammskyddet kan vara öppet i denna position.

Stänga

Sänk mjukt dammskyddet tills den stängs.

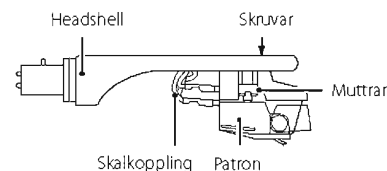
⚠ Var försiktig att du inte klämmer dina fingrar när du t. ex. öppnar och stänger dammskyddet.

För att byta patron, ta först bort headshellen från tonarmen.

- Patronen som finns installerad i denna enhet är den samma som Audio-Technica AT100E VM-patron typ. (Ersättningsnålen för den installerade patronen är grön. Den har inte ett Audio-Technica-märke.)

ANMÄRKNING

- VM-patroner har samma karakteristik som MM-patroner.
- Vi rekommenderar att du sänka patronstylusens skyddet innan du gör denna uppgift.

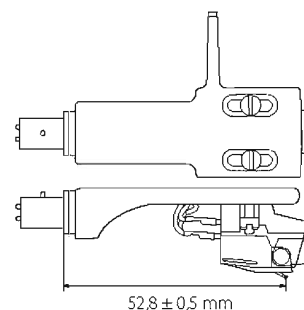


1 Koppla från skalkopplingens terminal från patronen.

2 Lossna skruvar och ta bort patronen.

3 Sätt in ny patron och dra åt skruvarna.

Se bilderna nedan, vilken position skruvarna skall ha när de är monterade.



4 Anslut skalkopplingens styrterminal till patronen.

- Signalen och färgen på skalkopplingen visas nedan.

| Signal | Färg |
|-----------------|------|
| Vänster kanal + | Vit |
| Vänster kanal - | Blå |
| Höger kanal + | Röd |
| Höger kanal - | Grön |

5 Balansera ut tonarmen och justera nåltrycket.

Följ anvisningarna i "Balansera ut tonarmen och justera nåltrycket" på sida 60.

Anmärkning om skivnålar

- Om nålen böjs (blir skadad), kommer den inte längre exakt kunna spåra räfflat. Eftersom en böjd nål kan också skada skivor och orsaka felfunktion, hantera med nålar försiktigt.
- Använd en kommersiellt tillgänglig nålrengörare för att rengöra en nål. Om du använder något annat än en nålrengörare, kan de skada nålen.

Byta ut nålen

Om nålens spets blir sliten, kommer inte den inte bara försämra ljudkvaliteten, utan kan också skada skivor. Efter cirka 300 timmars uppspelningstid skal nålen ersättas med den vi specificerar.

Använd en Audio-Technica ATN100E-ersättningsnål.

- Patronen som finns installerad i denna enhet är den samma som Audio-Technica AT100EVM-patrontyp. (Ersättningsnålen för den installerade patronen är grön. Den har inte ett Audio-Technica-märke.)

ANMÄRKNING

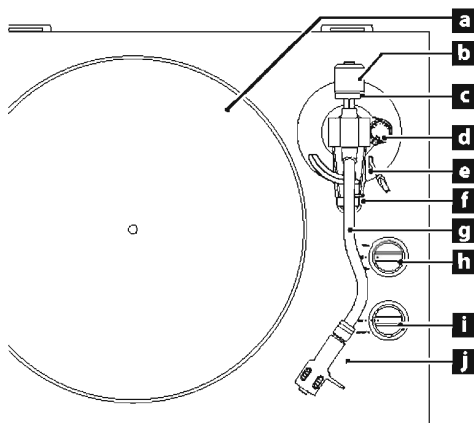
VM-patrontyper har samma karakteristik som MM-patrontyper.

- Följ anvisningarna för byte i manualen för ersättningsnål.

VIKTIG ANMÄRKNING

- Eftersom starka ljud kan förekomma, sätt enheten i vänteläge innan du byter nålen.
- Var försiktigt att du inte skadar din hand eller utrustningen.
- Tillåt inte att små barn oavsiktligt sväljer nålar.
- Observera att till exempel börja nålar som orsakas av att kunder inte är tillräckligt försiktig eller av en yttre påverkan, inte täcks av garantin.

Namn och funktion på enhetens delar



a Skivtallrik

Lägg skivor i mitten på skivtallriken.

b Motvikt

c Justeringsring för nåltrycket

d Anti-skak-ratt

e Armlyft-spak

Använd den för att lyfta och sänka nålens spets. Vi rekommenderar att använda armlyften för att förhindra att skivor och nålar skadas, och för att det är säkrare och mer exakt än att göra det med fingret.

f Tonarmhållare

Detta är vilopositionen för tonarmen. Innan du spelar upp en skivan, skjut spärren till höger för att ta bort den.

g Tonarm

h Ratt för inställning av rotationshastighet

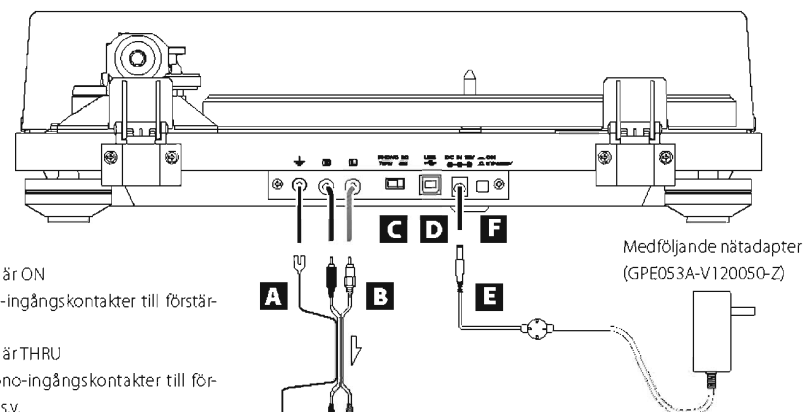
Välj rotationshastigheten som indikeras på skivan som skall spelas upp.

i START/STOP-ratt för rotation

j Headshell

Detta är en universell typ som tillåter att patronen ändras enkelt.

Anslutningar



När PHONO EQ är ON

Anslut linje-ingångskontakter till förstärkaren osv.

När PHONO EQ är THRU

Anslut phono-ingångskontakter till förstärkaren osv.

Medföljande nätadapter (GPE053A-V120050-Z)

⚠ Försiktighetsåtgärder när du gör anslutningar

- Anslut inte enheten tills du har gjort alla anslutningar.
- Läs nogga igenom bruksanvisningarna för de enheter som du ansluter och följ deras instruktioner när du gör anslutningar.

A Jordkontakt (⏏)

Använd jordkabel av den medföljande RCA-ljudkabeln för att till exempel ansluta denna kontakt till Jordkontakten på förstärkaren.

- Denna är INTE elsäkert Jordad.

Om bullret från högtalarna är misstänksamt

Om ansluta jordkabeln av ljudkabeln till Jordkontakten på denna enhet inte minskar buller, koppla från jordkabeln och kontrollera ljudet igen. Använd metoden (ansluten/inte ansluten) som har det minsta bullret.

B Analog ljudutgångskontakter (L/R)

Dessa matar ut analoga ljudsignaler. Inställningen för PHONO EQ-brytare ändrar typen av utmatningssignalen. Använd den medföljande ljudkabel (eller kommersiellt tillgängliga kablar) för att ansluta den andra utrustningen till utgångskontakter på denna enhet.

C PHONO EQ-brytare (inställning för ljudutmatning)

ON

Signaler som har förstärkts av den inbyggda frekvenskorrigeringen matar ut från det analoga ljudutgångskontakter (L/R).

THRU

MC- eller MM-patronsignalen matas ut direkt genom det analoga ljudutgångskontakter (L/R). Anslut till en enhet med phono-ingångar som phono-frekvenskorrigerings förstärkare eller en förstärkare med phono-ingångskontakter.

- Vid leverans från fabriken, är detta inställt på ON.
- Ställ detta till PÅ, om en enhet är ansluten till USB-porten.

FÖRSIKTIGHET

När inställt på ON, om du ansluter PHONO-ingången till till exempel en förstärkare, kommer utmatningen från högtalarna och hörlurarna vara väldigt hög. Det skulle kunna skada utrustningen eller din hörsel.

D USB-port (USB B-typ)

Ljudet från skivan konverteras till digitalt (upplösning upp till 48 kHz/16-bit) och matas ut. Inspelning på en dator är möjligt genom att ansluta denna till en USB-port på datorn med en USB-kabel (sida 64).

E DC-ingångskontakt

Efter att du har slutfört alla andra anslutningar, anslut den medföljande nätadaptern (GPE053A-V120050-Z) till denna kontakt.

Bekräfta att strömkontakten av nätadaptern är ansluten till strömuttaget.

- Koppla från nätsladden från uttaget om du inte skall använda enheten över en längre tidsperiod.
- Använd inte en annan nätadapter än den som medföljde (GPE053A-V120050-Z).

⚠ Var noga med att ansluta nätsladden till ett eluttag som levererar rätt spänning. Anslutning till ett uttag som levererar fel spänning skulle kunna orsaka brand eller elektrisk chock.

⚠ Håll stickkontakten när du ansluter den till ett eluttag eller drar ut den. Dra eller ryck aldrig i nätsladden.

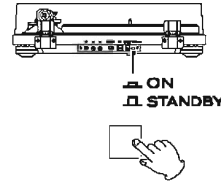
⚠ Koppla från nätsladden från uttaget om du inte skall använda enheten över en längre tidsperiod.

F STANDBY/ON-knapp

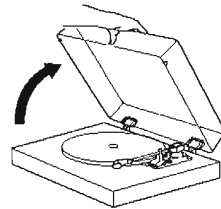
Tryck på STANDBY/ON-knappen för att sätta på enheten eller sätta den i vänteläge.

Spela upp skivor

1 Tryck på STANDBY/ON-knappen på baksidan av enheten för att sätta på den.

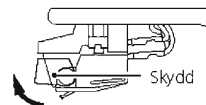


2 Öppna försiktigt dammskyddet.



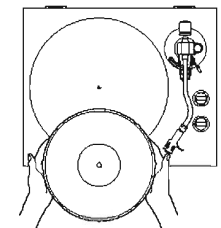
⚠ Var försiktig att du inte klämmer din hand när du t. ex. öppnar och stänger dammskyddet.

3 Lyft patronskyddet.



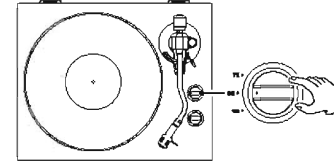
4 Lägg en skiva på skivtallriken.

När du spelar 45 RPM enskilda skivor med stora hål, använd den medföljande adaptorn.

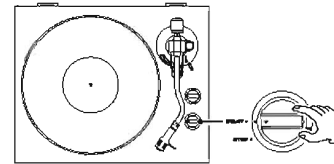


5 Välj rotationshastighet som anges på skiva.

Rotationshastigheten kan ställas in på 33 1/3, 45 eller 78 RPM.

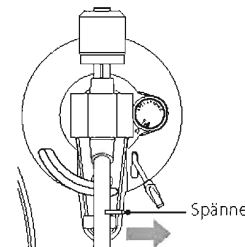


6 Vrid med START/STOP-ratten till START för att starta skivspelaren.

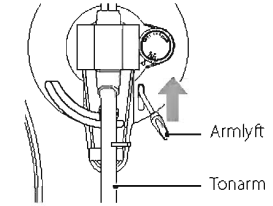


- När START/STOP-ratten är inställd på START, kommer skivtallriken att börja rotera och den blå START-lampan kommer att lysa.

7 Skjut tonarmens spänne till höger för att ta bort den.

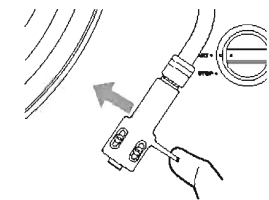


8 Lyft armlyften.



- Du kan också flytta tonarmen till ovanför skivan utan att lyfta armlyften och sedan långsamt sänka tonarmen för att starta uppspelningen.

9 Flytta tonarmen till spåret där du vill starta uppspelningen.



10 Sänk tonarmen.

Sänk tonarmen långsamt till nålen rör vid skivan och uppspelningen börjar.

- Stäng dammskyddet under uppspelningen. Att göra så minskar uppkomsten av buller genom att förhindra att skivan hoppar på grund av oavsiktlig kontakt, och blockerar det externa ljudtrycket.

⚠ Placera inget på dammskyddet.

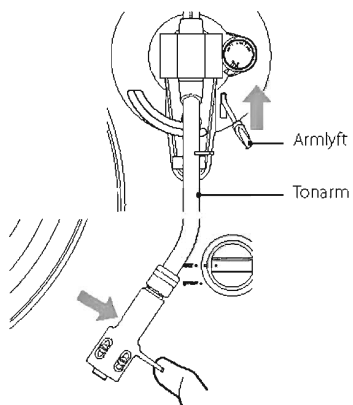
GIV AKT!

- Medan uppspelning, rör inte vid tonarmen eller den skivan. Om du gör så, kan det skada nålspetsen och orsaka repor på skivan.
- Stoppa inte skivtallriken rotation under uppspelning med våld. Eftersom denna produkt inte är en skivspelare som är designad för DJs (direkt drivning), skulle något som detta orsaka felfunktion.

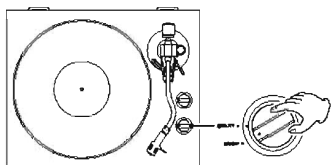
Medan skivan spelas upp, kan det komma till återkoppling, om volymen är för hög. Om detta händer, sänk förstärkarens volymen.

När uppspelningen avslutas

- 1 Lyft armlyften för att ta bort nålen från skivan och sätt tillbaka tonarmen till dess ursprungliga position.**



- 2 Vrid med START/STOP-ratten till STOP för att stoppa skivspelaren.**



- Den blå START-lampan släcks och skivtallriken stoppas.

Skivans ljud kan spelas in digitalt på en dator genom att använda en kommersiell USB-kabel för att ansluta denna enhet till en USB-port på datorn.

Operativsystem som stöds

Datorer som kör med de följande operativsystem kan anslutas med USB till denna enhet (sedan oktober 2016).

Windows

Windows 7 (32 bitars, 64 bitars)
Windows 8 (32 bitars, 64 bitars)
Windows 8.1 (32 bitars, 64 bitars)
Windows 10 (32 bitars, 64 bitars)

Mac

OS X Lion (10.7)
OS X Mountain Lion (10.8)
OS X Mavericks (10.9)
OS X Yosemite (10.10)
OS X El Capitan (10.11)
macOS Sierra (10.12)

Användning med andra operativsystem än de ovan garanteras inte.

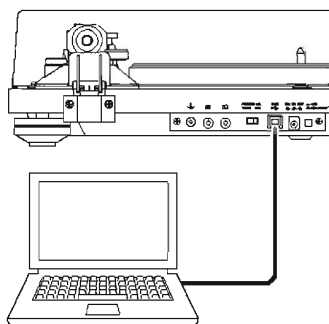
- Denna enhet kommer att fungera med standard Windows- eller Mac-drivrutin, så det finns inga behov att installera en speciell drivrutin.

Ansluta till datorn

- 1 Sätt på datorn.**

Kontrollera att operativsystemet fungerar korrekt.

- 2 Använd USB-kabeln för att ansluta datorn till denna enhet.**



- Använd en separat inköpt USB-kabel med ferritkärna.

- 3 Tryck på enhetens STANDBY/ON-knapp för att slå på den.**

Datorn kommer automatiskt att identifiera enhetens USB-port och identifiera enheten som "USB Audio CODEC".

- För att spela in ljud från skivspelaren med en dator, måste du först installera programvaran som kan användas för ljudinspelning på datorn.

Du kan köpa programvaran för ljudinspelning som du föredrar separat eller ladda ned en gratis programvara som Audacity (<http://www.audacityteam.org/>) från Internet. Som gratis programvara, stöds Audacity inte av TEAC.

- När du spelar in med datorn, gör inte något av det följande. Det kan få datorn att sluta fungera. Stäng alltid datorn programvara för inspelning innan du gör följande.
 - Koppla bort USB-kabeln.
 - Sätt enheten i vänteläge.

Datorinställningar

Följande exempel förklarar inställningar som skall göras med Windows 7.

- 1 Från Startmenyn, välj Kontrollpanel.**

- 2 Klicka på "Ljud".**

- 3 Klicka på fliken "Inspelning" och kontrollera att "USB Audio CODEC" är inställd som "Standardenhet".**

- 4 Välj "Microphone USB Audio CODEC" och klicka på knappen "Egenskaper".**

- 5 Klicka på fliken "Avancerad".**

- 6 Från listmenyn "Standardformat", välj önskad inspelningskvaliteten (format).**

TIPS

För att spela in med högsta ljudkvalitet som denna enhet kan mata ut, välj "Kanal 2, 16 bitar, 48000 Hz".

Om du sänker inställningsvärdet för samplingsfrekvensen, kommer det relativt minska filernas storlek, med också försämra ljudkvaliteten.

- 7 Klicka "OK".**

Om du får problem med enheten, kontrollera följande innan du begär service. Något annat än denna enhet kan också orsaka problemet. Vänligen kontrollera att anslutna enheter också används korrekt.

Om denna enhet fortfarande inte fungerar korrekt, kontakta återförsäljaren, där du köpte enheten.

Allmänt

- ➔ Bekräfta att nätadaptern är ansluten till uttaget. Tryck sedan på STANDBY/ON-knappen för att slå på enheten (sidorna 62 och 63).

Inget ljud.

- ➔ När du ansluter denna enhetens analoga ljudutgångskontakter till ljudingångskontakter på en förstärkare eller annan utrustning, ställ PHONO EQ-brytaren (inställning för ljudutmatning) till ON (sida 62).

Uppspelning är inte möjlig; det finns buller.

- ➔ Lyft skyddet (sida 63).
- ➔ Fingeravtryck och damm på en skiva kan orsaka buller och att ljudet hoppar. Använd en separat inköpt skivren-görare för att rengöra skivor (sida 59).
- ➔ Rengör nålen (sida 62).
- ➔ Om nålen är slitna, byt ut den (sida 62). Nålens livslängd beror på användningsvillkor, men är vanligtvis runt 300 timmar.
- ➔ Placera enheten så lång borta från teven, mikron och andra apparat som utstrålar elektromagnetiska vågor som det går.

Det uppstår buller när en skiva spelas.

- ➔ Det kan uppstå buller om nåltrycket är högre än patronens specificerade värde. Justera nåltrycket igen till det specificerade värdet (sida 60).

Tonhöjden är fel.

- ➔ Välj rotationshastighet som anges på skiva (sida 63).

Ljudet hoppar.

- ➔ Vibrationer kan orsaka hoppande. Placera denna enhet på en stabil plats.
- ➔ Ren skivan.
- ➔ Använd inte repiga skivor.
- ➔ Balansera ut tonarmen och justera om nåltrycket (sida 60). Nålen och ljudet kan hoppa om nåltrycket är lägre än pickupens specificerade värde.

Skivtallrik

| | |
|--------------------------------------|--|
| Drivrutinsystem | Banddrivrutin |
| Motor | DC-motor |
| Rotationshastighet | 33 1/3 rpm, 45 rpm, 78 rpm |
| Variation i rotationshastighet | ±2 % |
| Svav | 0,2 % |
| Signal-till-brus-förhållande | 67 dB(A) eller högre (A-vikt, 20 kHz LPF) |
| Skivtallrik | Aluminiumgjutjärn 30 cm diameter (12 tum) |

Tonarm

| | |
|---|-------------------------------------|
| Typ | Statiskt balanserad S-formad tonarm |
| Effektiv armlängd | 223 mm |
| Variationsintervall av nåltrycket | 0–5 g |
| Acceptabel patronvikt | 4,0–8,0 g |

Patron

| | |
|------------------------------|--|
| Typ | VM (ekvivalent med MM) |
| Utmatningsspänning | 4,5 mV (1 kHz, 5 cm/s) |
| Stylstryck | 1,4 ± 0,4 g |
| Patronvikt | 6,5 ± 0,2 g |
| Vikt av inkluderad headshell | 10 g (inklusive skruvar, muttrar och kablar) |

- Nålens livslängd beror på användarvillkor, men är vanligtvis runt 300 timmar.
- Patronen som finns installerad i denna enhet är den samma som Audio-Technica AT100E VM-patroner. (Ersättningsnålen för den installerade patronen är grön. Den har inte ett Audio-Technica-märke.)
Anmärkning: VM-patroner har samma karakteristiska som MM-patroner.
- Ersättningsnål: Audio-Technica ATN100E

Utmatningsspänning

| | |
|------------------------|-------------------------------|
| PHONO EQ THRU | 4,5 mV (1 kHz, 5 cm/s) ± 3 dB |
| PHONO EQ ON | 230 mV (–13 dBV) |
| Utgångskontakter | RCA |

USB-port

| | |
|---|---|
| USB-porten kan ta emot ström från datorns USB-bussar (full hastighet) | USB-kontakt typ B |
| Stöds strömförsörjning via USB-bussen | 5 V, 500 mA |
| Samplingsfrekvens | 8 kHz, 11,025 kHz, 16 kHz, 22,05 kHz, 32 kHz, 44,1 kHz, 48 kHz |
| Kvantisering bitdjup | 16 bitars |

Allmänt

| | |
|---|--------------------------|
| Ström från nätadaptern | |
| Ingång | 100–240 V AC, 50–60 Hz |
| Utgång | 12 V DC, 500 mA |
| Strömförbrukning | |
| Viloläge | 0,5 W eller mindre |
| På (START) | 1,5 W eller mindre |
| Vikt | 4,9 kg |
| Intervall för drifttemperatur | 5–35 °C |
| Mått (B × H × D, inklusive utskjutande delar) | |
| Med dammskyddet stängt ... | 420 mm × 117 mm × 356 mm |
| Med dammskyddet öppet ... | 420 mm × 381 mm × 402 mm |
| Med dammskyddet bort ... | 420 mm × 102 mm × 356 mm |

- Prestandadata är specificerade vid 20 °C.

Medföljande delar

| |
|---|
| Filtmat × 1 |
| 45 RPM-adapter × 1 |
| Motvikt × 1 |
| Headshell × 1 |
| Förinstallerad Audio-Technica VM-stereopatron (dubbel magnet, ekvivalent med AT100E) |
| Skivtallrik × 1 |
| Dammskydd × 1 |
| Dammskydd gångjärn × 2 |
| RCA-ljudkabel med jordterminal × 1 |
| Nätadapter (GPE053A-V120050-Z) × 1 |
| Bruksanvisning (detta dokument) × 1 |

- Specifikationer och utseende kan ändras utan föregående meddelande.
- Vikt och mått är ungefärliga.
- Illustrationer i denna bruksanvisning kan skilja sig något från produktionsmodellerna.

Warranty provisions (United States and Canada only)

Length of Warranty

The parts and labor warranty will be effective for one (1) year from the date of the original purchase for products not used for commercial purposes. For products used commercially, the warranty is ninety (90) days for magnetic heads and optical pickups, one (1) year for all other parts and ninety (90) days for labor.

Who Is Covered Under This Warranty

This warranty is valid only in the United States or Canada, dependent upon the country in which original purchase was made, and enforceable only by the original purchaser within the country in which the purchase was made. This warranty is not valid if the product was purchased through an unauthorized dealer.

What Is Not Covered Under This Warranty

- Damage to or deterioration of the external cabinet.
- Damage resulting from accident, misuse, abuse, or neglect.
- Damage resulting from failure to follow instructions contained in the products owners' manual or otherwise provided with the product.
- Damage occurring during shipment of the product (Claims must be presented to the carrier).
- Damage resulting from the repair or attempted repair by anyone other than TEAC or an authorized TEAC service station.
- Damage resulting from modification or attempted modification of product not authorized by TEAC.
- Damage resulting from causes other than product defects, including lack of technical skills, competence, or experience of the user.
- Damage to any unit that has been altered or which the serial number has been defaced, modified or removed.

What TEAC Will Pay For

TEAC will pay all labor and material expenses for items covered by the warranty. Payment of shipping charges is covered in the next section.

How To Obtain Warranty Service

Your unit must be serviced by an authorized TEAC service station within the country in which the product was purchased. If you are unable to locate an authorized service station in your area, please contact TEAC at the applicable address shown at the end of this warranty statement. PLEASE DO NOT RETURN YOUR UNIT TO TEAC WITHOUT OUR PRIOR AUTHORIZATION. You must pay shipping charges if it is necessary to ship the product for service. However, if the necessary repairs are covered by warranty, we will pay the return shipping charges to any destination within the country in which the product was purchased. Whenever warranty service is required, you must present the original dated sales receipt, or other proof indicating the purchase place and date, as proof of warranty coverage.

LIMITATION OF IMPLIED WARRANTIES

ALL IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ARE LIMITED IN DURATION TO THE LENGTH OF THIS WARRANTY.

EXCLUSION OF DAMAGES

TEAC'S LIABILITY FOR ANY DEFECTIVE PRODUCT IS LIMITED TO REPAIR OR REPLACEMENT OF THE PRODUCT, AT TEAC'S OPTION. TEAC SHALL NOT BE LIABLE FOR DAMAGE BASED UPON INCONVENIENCE, LOSS OF USE OF THE PRODUCT, INTERRUPTED OPERATION, COMMERCIAL LOSS OR LOST PROFITS, OR ANY OTHER DAMAGES, WHETHER INCIDENTAL, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE OR OTHERWISE. SOME STATES OR PROVINCES DO NOT ALLOW LIMITATIONS ON HOW LONG AN IMPLIED WARRANTY LASTS AND/OR DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THE ABOVE LIMITATIONS AND EXCLUSIONS MAY NOT APPLY TO YOU. THIS WARRANTY GIVES YOU SPECIFIC RIGHTS, AND MAY VARY FROM SOME OF THE RIGHTS PROVIDED BY LAW. THESE RIGHTS MAY VARY FROM STATE TO STATE OR PROVINCE TO PROVINCE.

Conditions de garantie (États-Unis et Canada uniquement)

Durée de la garantie

La garantie pièces et main d'œuvre sera valable un (1) an à compter de la date d'achat initial des produits non utilisés dans un but commercial. Pour les produits à utilisation commerciale, la garantie des têtes magnétiques et capteurs optiques est de quatre-vingt dix (90) jours, elle est d'un (1) an pour les autres pièces et quatre-vingt dix (90) jours pour la main d'œuvre.

Bénéficiaire de la garantie

Cette garantie n'est valable qu'aux États-Unis et au Canada, selon le pays d'achat initial, et ne s'applique qu'à l'acquéreur initial dans le pays d'achat. Cette garantie n'est pas valable si le produit a été acheté auprès d'un revendeur non autorisé.

Ce qui n'est pas couvert par cette garantie

- Les dommages ou détériorations du boîtier externe.
- Les dommages résultant d'un accident, d'une mauvaise utilisation, d'un abus ou d'une négligence.
- Les dommages résultant du non-respect des instructions contenues dans le mode d'emploi du produit ou fournies avec le produit.
- Les dommages survenus durant le transport du produit (les réclamations doivent être adressées au transporteur).
- Les dommages résultant d'une réparation ou tentative de réparation effectuée par toute personne extérieure au service après-vente TEAC ou agréé par TEAC.
- Les dommages résultant d'une modification ou tentative de modification de produit non autorisée par TEAC.
- Les dommages résultant de causes autres que des défauts de produit, y compris le manque d'aptitude technique, de compétence ou d'expérience de l'utilisateur.
- Les dommages de toute unité ayant été modifiée ou dont le numéro de série a été effacé, modifié ou retiré.

Frais pris en charge par TEAC

TEAC prendra en charge tous les frais de pièces et main d'œuvre pour les articles couverts par la garantie. Les frais d'expédition sont évoqués dans la section suivante.

Comment obtenir une intervention sous garantie

Votre unité doit être réparée par un service après-vente agréé par TEAC dans le pays d'achat du produit. Si vous ne trouvez pas de service après-vente agréé dans votre région, veuillez contacter TEAC à l'adresse appropriée donnée à la fin de cette garantie. VEUILLEZ NE PAS RENVOYER VOTRE UNITÉ CHEZ TEAC SANS NOTRE AUTORISATION PRÉALABLE. Si le produit doit être renvoyé pour réparation, les frais d'expédition sont à votre charge. Toutefois, si les réparations nécessaires sont couvertes par la garantie, nous prendrons à notre charge les frais de retour vers toute destination dans le pays d'achat du produit. Lorsqu'une réparation sous garantie est requise, vous devez présenter comme preuve de couverture par la garantie la facture d'achat originale datée ou une autre preuve d'achat mentionnant le lieu et la date d'achat.

LIMITATION DES GARANTIES IMPLICITES

TOUTES LES GARANTIES IMPLICITES, Y COMPRIS LES GARANTIES DE QUALITÉ MARCHANDE ET D'ADÉQUATION À UN USAGE PARTICULIER, SONT LIMITÉES À LA DURÉE DE CETTE GARANTIE.

EXCLUSION DE DOMMAGES

LA RESPONSABILITÉ DE TEAC VIS-À-VIS DE TOUT PRODUIT DÉFECTUEUX EST LIMITÉE À LA RÉPARATION OU AU REMPLACEMENT DU PRODUIT, AU GRÉ DE TEAC. TEAC NE POURRA ÊTRE TENU POUR RESPONSABLE DE QUELCONQUES DOMMAGES SE RAPPORTANT AU DÉRANGEMENT, À LA PERTE D'USAGE DU PRODUIT, À L'INTERRUPTION DE L'UTILISATION, AUX PERTES COMMERCIALES OU DE PROFITS, NI D'AUCUN AUTRE DOMMAGE, QU'IL SOIT ACCESSOIRE, INDIRECT, PUNITIF OU AUTRE. CERTAINS ÉTATS OU PROVINCES N'AUTORISENT PAS DE LIMITATIONS DE DURÉE D'UNE GARANTIE IMPLICITE ET/OU N'AUTORISENT PAS L'EXCLUSION OU LA LIMITATION DES DOMMAGES ACCESSOIRES OU INDIRECTS, AUQUEL CAS LES LIMITATIONS ET EXCLUSIONS CI-DESSUS PEUVENT NE PAS VOUS ÊTRE APPLICABLES. CETTE GARANTIE VOUS DONNE DES DROITS SPÉCIFIQUES QUI PEUVENT ÊTRE DIFFÉRENTS DE CERTAINS DROITS OCTROYÉS PAR LA LOI. CES DROITS PEUVENT VARIER D'UN ÉTAT À L'AUTRE OU D'UNE PROVINCE À L'AUTRE.

Europe/Europa

This product is subject to the legal warranty regulations of the country of purchase. In case of a defect or a problem, please contact the dealer where you bought the product.

Ce produit est sujet aux réglementations concernant la garantie légale dans le pays d'achat. En cas de défaut ou de problème, veuillez contacter le revendeur chez qui vous avez acheté le produit.

Las condiciones de garantía de este aparato están sujetas a las disposiciones legales sobre garantía del país en el que ha sido adquirido. En caso de garantía, debe dirigirse al establecimiento donde adquirió el aparato.

Dieses Gerät unterliegt den gesetzlichen Gewährleistungsbestimmungen des Landes, in dem es erworben wurde. Bitte wenden Sie sich im Gewährleistungsfall an den Händler, bei dem sie das Gerät erworben haben.

Questo apparecchio è conforme alle norme sulla garanzia vigenti nel rispettivo Paese in cui esso è stato acquistato. Si prega di rivolgersi al proprio commerciante, presso il quale è stato acquistato l'apparecchio, nel caso in cui si voglia richiedere una prestazione in garanzia.

Dit product valt onder de wettelijke garantievoorschriften van het land waar het is aangeschaft. Neem bij een defect of probleem contact op met de leverancier waar u het product heeft gekocht.

För denna produkt gäller det lagliga garantireglerna av landet där köpet gjordes. Vid fel eller problem kontakta vänligen återförsäljaren, där du köpte produkten.

In countries/regions other than the USA, Canada and Europe

This warranty gives you specific legal rights, and you may also have other rights that vary by country, state or province. If you have a warranty claim or request, please contact the dealer where you bought the product.

该保证书赋予了顾客特定的合法权利，并且因国家、州或省等地区的不同，顾客可能拥有其他权利。如需申请或要求保修，请与购买本产品的销售店进行联系。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

■保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。保証期間はご購入日より1年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

8ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他：製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：アナログターンテーブル
TN-400S
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況（できるだけ詳しく）

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

| | | | |
|-----------|-------------|-----|---|
| 品名 | アナログターンテーブル | | |
| および 形名 | TN-400S | | |
| 機番 | | | |
| 保証期間 | 本 体 | 1年 | |
| お買上げ日 | 年 | 月 | 日 |
| お客様 | お名前 | 様 | |
| | ご住所 | | |
| | 電話 | () | |

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全検査活動のために記載内容を利用していただく場合がございますので、ご了承ください。

| | | |
|-----|----|-----|
| 販売店 | 電話 | () |
|-----|----|-----|

見

本

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合は、ティアック修理センターが無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
- ご転居、ご贈答品等でお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
- メンテナンス
- 本書の提示がない場合
- 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

WARRANTY/GARANTIE (United States and Canada only/États-Unis et Canada uniquement)

Model/Modèle: **TN-400S**

Serial No./N° de série _____ Owner's address/Adresse du propriétaire _____

Date of purchase/Date de l'achat _____ Dealer's name/Nom du détaillant _____

Owner's name/Nom du propriétaire _____ Dealer's address/Adresse du détaillant _____



TEAC

ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47 <https://teac.jp/jp/>

この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせ

AV お客様相談室
〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30 ~ 12:00/13:00 ~ 17:00 です。
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● ナビダイヤルがご利用頂けない場合
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター
〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858

0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30 ~ 17:00 です。
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● ナビダイヤルがご利用頂けない場合
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

TEAC CORPORATION 1-47 Ochiai, Tama-shi, Tokyo 206-8530, Japan Phone: +81-42-356-9156

TEAC AMERICA, INC. 1834 Gage Road, Montebello, California 90640 U.S.A. Phone: +1-323-726-0303

TEAC AUDIO EUROPE Gutenbergstr. 3, 82178 Puchheim, Germany Phone: +49-8142-4208-141

This device has a serial number located on its back panel. Please record the serial number and retain it for your records.

Model name: TN-400S Serial number _____ 1016 MA-2342B